令和７年度版

流山市まちづくり報告書

（流山市総合計画進捗状況報告）

目次

Ⅰ　本報告書の考え方について …… 1
（１）流山市総合計画について …… 1
（２）総合計画の進行管理 …… 2
（３）まちづくり報告書とは …… 2
Ⅱ　施策体系 …… 3
Ⅲ　まちの経営動向 …… 5
（１）基本政策全体の達成動向 …… 5
（２）まちの状態指標 …… 6
Ⅳ　施策分野別評価表 …… 10

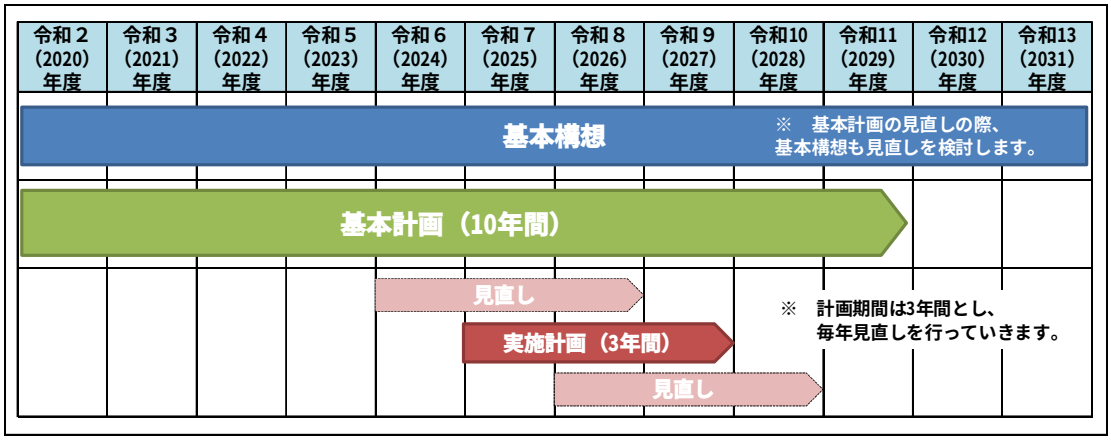
Ⅰ　本報告書の考え方について

（１）流山市総合計画について

流山市総合計画（以下「総合計画」といいます。）は、本市が目指すまちのイメージである「都心から一番近い森のまち」に向けて、計画的に市政経営を進めていくための指針として、令和２年３月に策定しました。

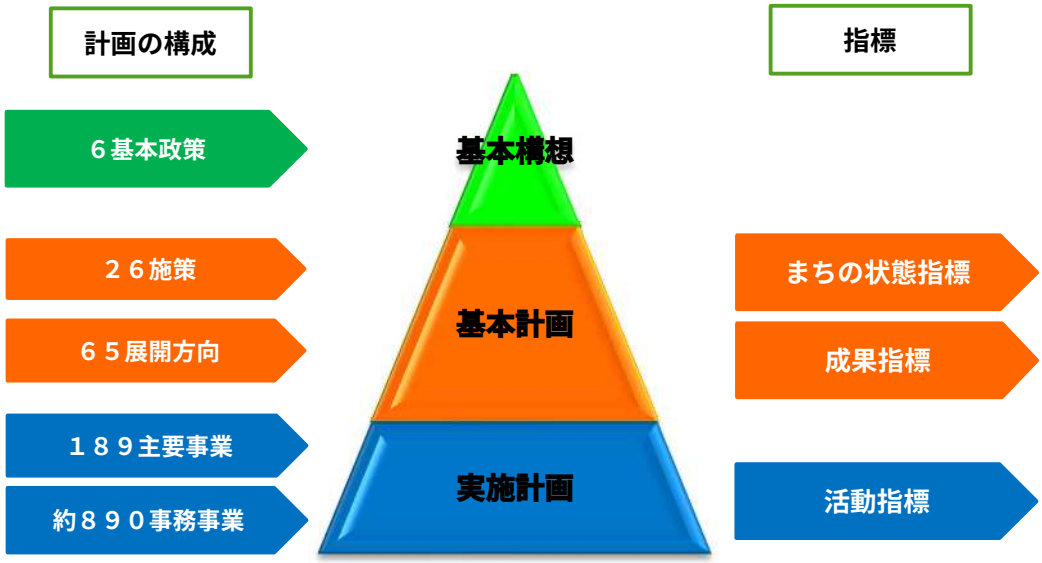
この総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画で構成され、基本計画では、１０年間の市政経営の方向性を定めています。

■総合計画の計画期間



基本計画においては、２６の施策と６５の展開方向からなり、施策ごとに「まちの状態指標」を設定し、施策の進み具合について、定期的にその数値を測定することで、本市のまちづくりがどの程度達成されたかを検証しています。

■計画の構成と指標の関係



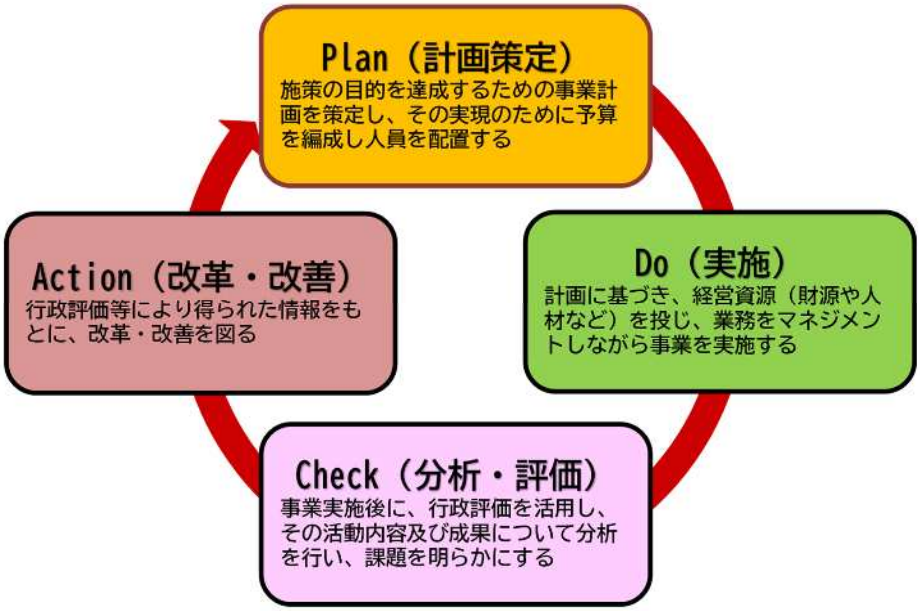
基本政策…目指すまちのイメージ実現のための政策と方針
施策…基本政策実現のために取り組むべき行政分野
展開方向…施策の課題解決に向けた取り組みの方向性
事務事業…施策の取り組みを実現するための具体的手段

「Ⅱ施策体系」（Ｐ３）を参照

（２）総合計画の進行管理

基本計画に掲げる施策や、実施計画に掲げる事業の推進を図るため、その進捗状況を管理し、社会経済情勢の変化や国の制度改正などの状況変化に応じて、事業内容などを毎年度見直すことが必要となります。

そのため、成果を見極めるための成果指標などを設定し、「Ｐｌａｎ（計画策定）―Ｄｏ（実施）―Ｃｈｅｃｋ（分析・評価）―Ａｃｔｉｏｎ（改革・改善）」といった、ＰＤＣＡサイクルの手法を取り入れた進行管理を行い、施策や事業の成果を定期的に測定し、改善・効率化を図ります。



流山市総合計画実施計画より「計画の進行管理のイメージ」

（３）まちづくり報告書とは

本報告書は、総合計画の目指すまちのイメージの実現に向けて、まちづくりがどの程度進んでいるか、事業の成果は上がっているのかといったことを示すため、令和６年度の決算見込みを踏まえて、総合計画の進捗状況の報告書として作成しています。

本市の行政評価は、施策や主要事業における成果指標の推移を踏まえたまちの状態指標の状況などを「施策別評価」として示すことで、総合計画の進捗状況を明らかにしています。

そうした行政評価を分析し、総合計画実施計画による中長期的な事業計画の見直しにより、総合計画の目標達成に向けた施策の推進と成果の向上を図ります。

また、経年変化を確認することにより、社会経済情勢の変化によるものかを見る目安となり、限られた経営資源の「選択と集中」及び事業活動の「改革と改善」への活用が期待できます。

「令和７年度版まちづくり報告書」については、令和２年度から計画期間がスタートした総合計画の進行管理の中で、令和６年度の実績に基づく分析・評価を総合計画の施策体系に紐づけて作成しています。

II　施策体系

＜まちづくりの基本政策＞	＜施　策＞【関連するSDGs】	＜施策の展開方向＞
1 安心・安全で快適に暮らせるまち	1 防災	1. 自助・共助・公助が一体となった地域防災力の強化
		2. 災害に強い危機管理体制の整備
		3. 建築物の耐震化の促進
	2 消防・救急	1. 消防体制の強化
		2. 救急救助体制の強化
		3. 消防・救急意識の向上
	3 交通安全・防犯・消費生活	1. 交通安全対策の充実
		2. 防犯対策の充実
		3. 消費生活センターの充実
	4 地域コミュニティ・市民協働	1. 地域コミュニティの活性化
		2. 地域コミュニティとの協働・連携
2 生きがいを持って健康・長寿に暮らせるまち	1 健康・医療	1. ライフステージに応じた市民の健康づくり
		2. 疾病の早期発見
		3. 地域医療体制や健康危機管理体制づくり
	2 生涯学習	1. 多様な生涯学習機会の充実
		2. 生涯学習の環境整備
	3 文化芸術・歴史	1. 市民主体の文化芸術活動の促進
		2. 優れた文化芸術に親しめる機会の充実
		3. 歴史的文化的遺産の保存・活用
	4 スポーツ	1. スポーツ活動の促進
		2. スポーツ環境の整備
3 良質な住環境のなかで暮らせるまち	1 みどり・生物多様性	1. みどりの保全
		2. みどりの創出
		3. 生物多様性の保全・回復
	2 市街地整備・景観	1. つくばエクスプレス沿線整備の促進
		2. 市街地のまちづくり
		3. 景観形成の促進
	3 道路	1. 円滑に移動できる道路整備
		2. 安全で快適な道路環境の確保
	4 河川・排水	1. 雨水排水施設の整備
		2. 河川環境の整備
	5 上下水道	1. 安全な水道水の安定供給
		2. 計画的な下水道事業の推進
	6 交通	1. 広域交通ネットワークの充実
		2. 地域公共交通ネットワークの充実
	7 住宅	1. 住生活の安定と向上
		2. 空き家対策の推進
	8 生活環境	1. 地球温暖化対策の推進
		2. 生活環境の保全
	9 廃棄物	1. ごみの減量化・資源化の推進
		2. 一般廃棄物の適正処理

＜まちづくりの基本政策＞	＜施　策＞【関連するSDGs】	＜施策の展開方向＞
4　賑わいと魅力のあるまち	1　地域経済	1．魅力ある事業者の育成・誘致
		2．就労の支援
	2　農業	1．農業経営改善の充実
		2．農業への理解の促進
	3　ツーリズム	1．地域資源を活かしたツーリズムの振興
		2．来訪者の受入体制の充実
5　誰もが自分らしく暮らせるまち	1　高齢者福祉	1．多様な生きがいづくり
		2．地域ぐるみ支え合い体制づくり
		3．介護体制づくり
	2　障害福祉	1．障害福祉サービスの充実
		2．自立と社会参加の促進
	3　地域福祉	1．地域福祉の推進
		2．生活困窮者支援
	4　共生社会	1．人権尊重・男女共同参画の社会づくり
		2．多文化共生社会づくり
		3．平和施策の推進
6　子どもをみんなで育むまち	1　子ども・子育て	1．子どもを産み育てやすい環境づくり
		2．保育サービスの充実
		3．学童クラブの充実
		4．養育環境への配慮
		5．青少年の健全育成の促進
	2　学校教育	1．確かな学力の育成
		2．教育環境の整備
		3．児童・生徒の安全確保と健康増進
計画を推進するために	1　財政運営	1．財源の確保
		2．安定性・継続性の確保
	2　資産活用	1．施設の機能の維持・向上
		2．施設運営の効率化
		3．ファシリティマネジメントの推進
	3　組織・人材	1．効率的な組織の構築
		2．良質な行政サービスを創り出す人材の育成
		3．人材の確保・育成
		4．働きやすい職場環境の充実
	4　行政経営	1．効果的・効率的な行政サービスの提供
		2．行政サービスの品質の向上
		3．市政への市民参画の促進
		4．多様な主体との協働によるまちづくり
		5．広聴・広報活動の充実
		6．広域行政の充実
	5　マーケティング	1．ブランドづくり

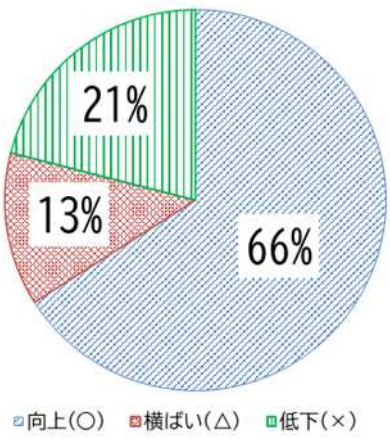
Ⅲ　まちの経営動向

（１）基本政策全体の達成動向

総合計画に基づく６つの基本政策の達成度について、２６の施策の達成状況の指標となる６０の「まちの状態指標」の実績値の推移を基に評価を行っています。総合計画策定時と令和６年度を比較し、目指す方向への達成状況を「向上(〇)」「横ばい(△)」「低下(×)」の３段階で区分し、比較できない場合や、目指す方向を示さない場合などは「その他(－)」と表記しています。

全政策では「向上(〇)」が全体の６６％となっており、総合計画は概ね目標に向けて進んでいるといえます。

全政策の達成状況の割合
※「その他(-)」を除く。



各政策の達成状況については下表のとおりとなっています。

「安心・安全で快適に暮らせるまち」では、防災設備や防犯灯などの整備といった安心・安全に関する事業を推進しました。「生きがいを持って健康・長寿に暮らせるまち」では、災害時の医療救護体制の整備や文化施設の改修など生涯学習環境の整備といった健康や生きがいづくりに取り組みました。「良質な住環境のなかで暮らせるまち」では、自転車通行空間の整備や公園等の整備によるみどりの保全や創出といった良質な住環境の整備を図りました。これらの政策では、指標の向上している割合が多く、各事業の成果が表れているものと考えます。

一方で、指標の向上している割合が少ない政策では、新型コロナウイルス感染症等の社会情勢の変化により達成状況が低下している指標もありますが、「賑わいと魅力のあるまち」では、物価高騰対策への支援や地域資源を生かした地域活性化、「誰もが自分らしく暮らせるまち」では、相談支援体制や地域福祉関係者間連携の強化、「子どもをみんなで育むまち」では、妊産婦や学校現場での児童生徒とその保護者の支援を推進し、達成状況の回復が見られた指標もありました。引き続き、各基本政策の達成状況の向上を目指して各事業を推進します。

各施策の達成状況　　（）内は前年度の達成状況

基　本　政　策	向上 (〇)	横ばい (△)	低下 (×)	その他 (－)	計
安心・安全で快適に暮らせるまち	４（３）	２（１）	１（３）	２（２）	９
生きがいを持って健康・長寿に暮らせるまち	６（５）	２（０）	１（４）	０（０）	９
良質な住環境のなかで暮らせるまち	１７（１６）	２（３）	１（１）	０（０）	２０
賑わいと魅力のあるまち	３（３）	０（０）	３（３）	０（０）	６
誰もが自分らしく暮らせるまち	２（１）	１（３）	３（２）	４（４）	１０
子どもをみんなで育むまち	２（２）	０（０）	２（２）	２（２）	６
計	３４（３０）	７（７）	１１（１５）	８（８）	６０
全体に占める割合（%）	６６（５８）	１３（１３）	２１（２９）		１００

※　令和７年度版流山市まちづくり報告書より「横ばい（△）」を基本計画策定時値より±2.5%以内として区分しています。

（２）まちの状態指標

目指す方向への達成状況　〇…向上　△…横ばい　×…低下　―…その他

※　基本計画策定時点値より±2.5%以内の場合に「△…横ばい」としています。

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画策定時点値	令和６年度実績	達成状況
1-1 防災	自助・共助・公助による防災体制の整備を進め、災害時の被害を最小限に抑える	地震などの災害に対する備えが十分だと思う市民の割合	%	↑	52.5（2018年度）	51.8	△
		自主防災組織の組織率	%	↑	61.7（2018年10月1日）	62.2	△
1-2 消防・救急	火災や事故などの災害から、市民の生命と財産を守る	人口１万人当たりの出火件数	件	↓	1.4（2018年）	1.2	〇
		救急出動件数	件	-	8,289（2018年）	10,831	―
1-3 交通安全・防犯・消費生活	交通事故や犯罪、消費者トラブルなどから市民生活を守る	人口１万人当たりの交通事故発生件数	件	↓	27.3（2018年）	17.3	〇
		人口１万人当たりの犯罪発生件数	件	↓	61.2（2018年）	40.7	〇
		消費生活相談件数	件	-	2,009（2018年度）	1,827	―
1-4 地域コミュニティ・市民協働	地域コミュニティの活性化を図り、協働・連携を通して地域課題に取り組む	自治会への加入率	%	↑	66.2（2018年10月１日）	58.9	×
		市民活動団体の数	団体	↑	203（2019年4月１日）	275	〇

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画策定時点値	令和６年度実績	達成状況
2-1 健康・医療	生涯を通じて心身ともに健やかに暮らせる市民の健康をつくる	健康寿命（平均自立期間） ※2020（R2）年	年	↑	65歳男性：18.55 65歳女性：20.46 （2015年）	18.71 21.18	〇
		生活習慣病による死亡者数の割合 ※千葉県衛生統計年報2022（R4）年	%	↓	56.3（2017年）	51.2	〇
		一般診療所の数 ※千葉県衛生統計年報2022（R4）年	―	↑	95（2017年）	128	〇
2-2 生涯学習	市民一人ひとりが生涯学習活動を通して人生を豊かにできる	日頃から何らかの生涯学習活動を行っている市民の割合	%	↑	46.1（2018年度）	38.7	×
		学びたい時に学べる環境（生涯学習のプログラムや施設）が整っていると思う市民の割合	%	↑	31.8（2018年度）	61.5	〇
2-3 文化芸術・歴史	文化芸術や歴史に親しむ機会を創出するとともに、歴史的文化的遺産を次世代へ伝える	過去１年間に文化芸術活動を行ったことがある市民の割合	%	↑	53.5（2018年度）	57.1	〇
		市内の指定文化財等の数	件	↑	50（2019年4月１日）	52	〇
2-4 スポーツ	スポーツを通じた市民の健康と体力の維持・増進を図る	スポーツで健康体力の維持・増進を行っている市民の割合	%	↑	35.4（2018年度）	34.9	△
		スポーツ施設の利用者数	人	↑	1,610,133（2018年度）	1,586,121	△

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画策定時点値	令和６年度実績	達成状況
3-1 みどり・生物多様性	市民に潤いと安らぎを与えるみどりの保全・創出に取り組む	人口１人当たりの都市公園面積	㎡	↑	5.17 (2019年4月１日)	5.13	△
		市内は緑が豊かで潤いがあり、緑とのふれあいに満足していると思う市民の割合	%	↑	78.8 (2018年度)	82.7	○
3-2 市街地整備・景観	地域の特性を活かした魅力ある街並みを創出する	これからも流山市に住み続けたいと思う市民の割合	%	↑	83.0 (2018年度)	90.5	○
		利用している駅及び駅周辺の整備や利便性に満足している市民の割合	%	↑	42.5 (2018年度)	71.7	○
		自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合	%	↑	58.6 (2018年度)	64.1	○
3-3 道路	安全で円滑に移動できる道路網と道路環境を整備する	快適に移動できる道路網が整備されていると思う市民の割合	%	↑	62.4 (2017年度)	69.9	○
		都市計画道路の整備率	%	↑	70.6 (2018年度末)	73.9	○
3-4 河川・排水	大雨時の洪水氾濫・内水氾濫による被害を最小限に抑える	雨水幹線の整備延長	Km	↑	14.8 (2018年度再設定値)	15.5	○
		水害による住家被害の棟数（過去３年間）	棟	→	0 (2016～2018年度)	0	○
3-5 上下水道	安全な水道水を安定的に供給するとともに、衛生的な下水道サービスを提供する	安全で良質な水道水が安定的に供給されていると思う市民の割合	%	↑	90.7 (2018年度)	93.7	○
		公共下水道普及率	%	↑	89.3 (2018年度末)	94.3	○
3-6 交通	交通ネットワークの充実と利便性の向上を図る	公共交通に満足している市民の割合	%	↑	75.0 (2018年度)	79.7	○
		市内鉄道駅の１日当たりの乗客数 ※2022（R4）年度	人	↑	175,574 (2017年度)	184,851	○
		流山ぐりーんバスの１日当たりの利用者数	人	↑	2,499 (2018年度)	2,490	△
3-7 住宅	多様な世代・世帯が安心して住み続けられる住まいを確保する	住宅の耐震化率	%	↑	83.6 (2018年1月１日)	93.2	○
		住宅の空き家率 ※2018（H30）年度	%	↓	3.2 (2018年10月１日)	2.7	○
3-8 生活環境	地球環境にやさしい、快適な生活環境をつくる	二酸化炭素排出量の基準年度比 ※2021（R3）年度再算定値	－	↓	民生家庭124 民生業務159 (2017年度再算定値)	96 118	○
		身近な生活環境について不満に感じている市民の割合	%	↓	26.1 (2018年度)	28.0	×
3-9 廃棄物	ごみの発生量を減らし、資源を有効に利用する循環型のまちをつくる	１人１日当たりのごみ発生量 ※2022（R4）年度	g	↓	848 (2018年度)	742	○
		資源化率 ※2022（R4）年度	%	↑	21.8 (2018年度)	28.5	○

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画策定時点値	令和６年度実績	達成状況
4-1 地域経済	消費者と働き手にとって魅力のある事業者や店舗を充実させる	小売吸引力指数 ※2021（R3）年経済センサス	―	↑	0.765 （2016年）	0.661	×
		１事業所当たりの製造品出荷額等 ※2021（R3）年経済センサス	百万円	↑	532 （2016年）	670	○
		法人市民税 ※2022（R4）年	万円	↑	75,479 （2018年度）	72,631	×
4-2 農業	都市農業の多面的機能を活かし、生産性や収益性を高める農業の振興を図る	認定農業者数	経営体	↑	41 （2018年4月１日）	61	○
		農業産出額（推計） ※2021（R3）～2022（R4）年	千万円	↑	230 （2017年）	85	×
4-3 ツーリズム	地域資源を活用し、交流人口の拡大を図る	入込客数	人	↑	290,137 （2017年度）	303,709	○

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画策定時点値	令和６年度実績	達成状況
5-1 高齢者福祉	高齢者が住み慣れた地域のなかで、いつまでも自分らしく生き生きと暮らせるまちをつくる	高齢者の人口	人	-	45,411 （2019年4月1日）	47,390	―
		生きがいを感じる高齢者の割合	%	↑	82.8 （2018年度）	80.0	×
		要介護・要支援認定率	%	↓	16.7 （2019年4月1日）	20.2	×
5-2 障害福祉	障害者等が、地域や家庭のなかで、自分らしく自立した生活を送ることができるまちをつくる	障害のある方が各種支援を受けるために必要な手帳の所持者数 ※R4年4月1日時点	人	-	身体障害者：4,216 知的障害者：1,011 精神障害者：1,332 （2019年4月1日）	4,237 1,290 1,956	―
		障害者就労支援センターの利用者数 ※R4年4月1日時点	人	↑	207 （2019年4月1日）	188	×
		相談支援事業の利用者数 ※R4年4月1日時点	人	↑	2,190 （2019年4月1日）	3,242	○
5-3 地域福祉	自助・共助・公助の役割分担のもと地域の“チカラ”を高める	福祉のサービス等に市民が参加できる（協力できる）まちぐるみの福祉ができていると思う市民の割合	%	↑	57.3 （2018年度）	61.1	○
		生活保護受給者数	人	-	1,708 （2019年4月１日）	1,905	―
5-4 共生社会	すべての市民が国籍や性別などにかかわらず、互いの人権を尊重し合える社会をつくる	国籍や性別等にかかわらず平等に扱われていると思う市民の割合	%	↑	85.2 （2020年から新規取得）	84.6	△
		外国人の人口	人	-	2,737 （2019年4月１日）	4,225	―

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画策定時点値	令和６年度実績	達成状況
6-1 子ども・子育て	すべての子どもが健やかに育ち、地域全体で子育てできるまちをつくる	18歳未満の人口	人	-	34,375 (2019年4月1日)	39,947	－
		合計特殊出生率 ※2022（R4）年	―	↑	1.67 (2018年)	1.46	×
		流山市は子育てがしやすいまちだと思う市民の割合	%	↑	51.6 (2018年度)	66.8	○
6-2 学校教育	学びに向かう力と自立する子どもを育む	全国学力・学習調査平均正答率	%	全国平均、県平均を上回る	小学校：62.6 中学校：66.2 (2018年度)	69.0 (全65.6県65.0) 59.0 (全55.3県54.0)	○
		児童・生徒数 ※R5年5月1日時点	人	-	児童10,863 生徒4,344 (2018年5月１日)	13,909 5,285	－
		いじめの認知件数	件	↓	小学校1,246 中学校503 (2018年度)	4,381 353	×

Ⅳ　施策分野別評価表

[評価表の見方]

施策　防災　　基本政策　安心・安全で快適に暮らせるまち　　Ⅳ　施策分野別評価表

主管部局　市民生活部　　施策の目的　自助・共助・公助による防災体制の整備を進め、災害時の被害を最小限に抑える

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
地震などの災害に対する備えが十分だと思う市民の割合	水・食糧3日分を備蓄している市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	51.0	51.0	48.2	%	↑
自主防災組織の組織率	自主防災組織世帯数÷常住人口世帯数×100　（10月1日時点）	65.1	64.2	62.4	%	↑

令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み
・取組内容 「自助」「共助」の観点から、自主防災組織の活動、設立のための広報啓発活動を進めるほか、公助の視点として指定避難所への防災設備の整備を行い、「自助」「共助」「公助」が一体となった地域防災力の向上を図りました。	・現状 能登半島地震や千葉東方沖地震など、各地でも地震が頻発していることから、日頃からの災害に対する備えを行うようさらなる啓発を行います。また、自主防災組織の活動、啓発を進め、「自助」「共助」「公助」が一体となった地域防災力のさらなる強化・向上を図ります。
・評価 令和3年度からマンション管理組合を主体とした自主防災組織の設立が可能となったこと、また、啓発活動を継続して実施したことで令和5年度についても新規設立団体数は増加しました。一方で人口増加による影響で団体組織率は減少しているため、引き続き啓発活動等を実施していきます。	・課題 地域防災計画の見直しに伴い、市民の皆さんに地震と風水害の備えの違いや各地域の特性に合わせ、備える重要性を認識していただく必要があります。そのため、地道な啓発活動を継続していきます。
・改善点 大規模災害による被害を最小限に抑えるため、平時から自分の身は自分で守る「自助」、自分たちの地域は自分たちで守る「共助」に根差した地域防災力の強化を図るために啓発活動を実施しました。	・取組内容 引続き「自助」「共助」の観点から、自主防災組織の拡充を図るため、広報や啓発活動を進めるほか、「公助」の観点からの指定避難所等への防災設備の整備、公的備蓄の拡充を図り、「自助」「共助」「公助」が一体となった地域防災力の強化を図ります。

自助・共助・公助が一体となった地域防災力の強化

自主防災組織活動促進事業	自治会やマンション管理組合が組織する自主防災組織の活動を支援するため、資機材整備や防災訓練の実施、講演会の実施、研修会への参加など防災に要する経費の一部を補助します。

担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
防災危機管理課	4,250	4,064	4,727	4,250	2,125	2,125

主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標
自主防災組織数（組織）	139	142	144	補助金を活用している自主防災組織数（組織）	72	73	79

令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み
・取組 各団体への呼び掛け回数を増やすとともに、自主防災組織を設立していないマンション管理組合に対しても継続的な呼び掛けを行い、新規設立に繋げました。	・現状 人口割合で見た場合に、自主防災組織の組織率が前年度より低下したことから、引続きマンション管理組合を中心に新規設立の啓発活動を行ってまいります。
・評価 新たに3団体の設立があったほか、補助金の活用に関しても件数、金額とも前年度を上回る実績となりました。	・課題 マンション管理組合の新規設立が依然として少ないため、今後も設立に向けた働きかけが必要です。
・課題に対する改善点 補助金の活用を促進するため、補助金の申請を行っていない団体や自主防災組織を設立していない団体に対し、再度の呼びかけを行いました。	・取組 設立団体の約半数が補助金を活用していないため、こうした団体にも補助金の活用を行うよう働きかけます。

①　総合計画の体系に基づき、該当の基本政策、施策、目的、主管部局及び関連するＳＤＧｓ（※）を示しています。

※「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の略称。将来の世代が安心して暮らすことのできる持続可能な世界を実現するために、達成すべき１７の目標（ゴール）が定められました。

②　総合計画に定められた「まちの状態指標」を示すとともに、施策全体としての前年度の取組み、評価、改善点と、当年度の現状、課題、取組みについての総括を記載しています。

③　前年度及び当年度の実施計画における主要な事業を中心に、総合計画の体系に基づき、「施策の展開方向」ごとに、各事業の概要に加え、前年度の取組みや評価、改善点、今年度の現状や課題、取組みについて記載しています。

注：予算等の金額の単位は千円です。

★指標について

行政評価は、個々の施策や事業の目的が何なのか、その目的を実現するために、どのような手段が妥当であり、成果に結びつくのかを評価し、市の未来につなげることが目的です。

これを可視化するために、指標を定め、その実績値や目標値を記載しています。施策レベルの指標は「まちの状態指標」、事業レベルの指標は、「活動指標」と「成果指標」に分類しており、それぞれ以下のような関係になっています。

活動指標

- 行政などの活動によって提供されたモノやサービスの量を指標にしたもの。
- 例①：流山ぐりーんバスの利用促進啓発活動回数
- 例②：ヘルスアップ教室開催回数

成果指標

- 対象となる住民や地域における状態の変化や出来事を指標にしたもの。
- 例①：流山ぐりーんバスの年間利用者数
- 例②：ヘルスアップ教室参加者数

まちの状態指標

- 市の活動や成果のみならず、社会経済情勢なども含めて現れる影響や状況を指標にしたもの
- 例①：まちづくり達成度アンケートにおける、「市内の公共交通に満足している市民」の割合
- 例②：市民の健康寿命

主管部局　市民生活部　　施策の目的　自助・共助・公助による防災体制の整備を進め、災害時の被害を最小限に抑える

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
地震などの災害に対する備えが十分だと思う市民の割合	水・食糧3日分を備蓄している市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	51.0	48.2	51.8	%	↑
自主防災組織の組織率	自主防災組織世帯数÷常住人口世帯数×100　（10月1日時点）	64.2	62.4	62.2	%	↑

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 引き続き「自助」「共助」の観点から、自主防災組織の拡充を図るため、広報や啓発活動を進めました。また、「公助」の観点から、指定避難所等への防災設備の整備として中央公民館（文化会館）へのマンホールトイレ等の設置工事、公的備蓄の拡充として各種備蓄品の購入を行い、「自助」「共助」「公助」が一体となった地域防災力の強化を図りました。	・現状 日本各地では、いつ地震等の災害が発生してもおかしくない状況です。災害に対する備えとして、「自助」「共助」「公助」が一体となった地域防災力の強化・向上が必要です。
・評価 「地震などの災害に対する備えが十分だと思う市民の割合」は前年度より増加していることから、広報や啓発活動の効果が現れていると考えます。自主防災組織の組織率については、向上するよう、引き続き取組む必要があります。	・課題 「自助」「共助」「公助」による防災体制の整備を進めていくためには、防災施設等の整備だけでなく、市民の皆様にも日頃から災害に対して備えていただく必要があります。
・改善点 まちづくり達成度アンケートの結果から、地震などの災害に対する備えが十分だと思う市民の割合は前年度より増加しました。	・取組内容 「自助」「共助」の観点から、自主防災組織の拡充を図るため、広報や啓発活動を進めます。また、「公助」の観点からは、公的備蓄の拡充として引き続き各種備蓄品の購入を行うと共に、指定避難所等への防災施設整備を進めてまいります。

自助・共助・公助が一体となった地域防災力の強化

自主防災組織活動促進事業

自治会やマンション管理組合が組織する自主防災組織の活動を支援するため、資機材整備や防災訓練の実施、講演会の実施、研修会への参加など防災に要する経費の一部を補助します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
防災危機管理課	4,250	3,748	4,521	4,500	2,250	2,250

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
自主防災組織数（組織）	142	142	147	補助金を活用している自主防災組織数（組織）	73	71	73

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 市の広報やホームページにて自主防災組織の設立や補助金制度の記事を掲載し周知を図りました。また、自治会長向け説明会等でも制度の説明等を行いました。	・現状 自主防災組織数、補助金活用した自主防災組織数とも伸びが鈍化している状況です。
・評価 自主防災組織数、補助金活用した自主防災組織数とも目標に達しなかったため、さらなる啓発等が必要です。	・課題 自主防災組織の新規設立についてはマンション管理組合での組織を進めていく必要があります。また、補助金活用については既存の自主防災組織に対しての働きかけが必要です。
・課題に対する改善点 補助金の活用を促進するため、補助金申請を行っていない自主防災組織について、案内文書の送付等、継続的な呼びかけを行いました。	・取組 市の広報やホームページにて自主防災組織の設立や補助金制度の記事を掲載しての周知や自治会長向け説明会等でも制度の説明を継続して行います。また、新規設立にむけてマンション管理組合へ働きかけを進めます。

災害に強い危機管理体制の整備

災害時情報伝達手段整備事業

災害時に、市民等へ迅速かつ的確に災害情報等を伝えるため、防災行政無線や市公式LINEアカウント、SNSなど複数の情報伝達手段に一斉に送信できるシステムを導入し、災害時の正確かつ円滑な情報伝達を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
防災危機管理課	1,973	13,783	3,299	0	0	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
防災行政無線同報系子局設置数（基）	79	79	-	防災行政無線同報系子局更新数（基）	-	-	-

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 千葉県防災行政無線機器の更新を行いました。	・現状 災害時に、市民等に迅速かつ的確に災害情報を伝えるため、各種情報伝達に係る機器やシステムを導入しています。
・評価 機器の更新により、災害時の正確かつ円滑な情報伝達に寄与します。	・課題 機器やシステムについては、導入後の状況により改修や更新等が必要になります。また、国や県の施策により新たな設備等を導入することとなる場合があります。
・課題に対する改善点 機器の更新を行ったため、通信の高速化や荒天時でも安定した通信が確保されます。	・取組 本年度については事業実施の予定はありません。

災害に強い危機管理体制の整備

公的備蓄整備事業	公的備蓄の整備を進めるため、計画的に防災備蓄倉庫、食糧や防災資機材を整備します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
防災危機管理課	25,500	23,636	7,820	27,334	2,724	24,610

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
食料備蓄率（%）	100.7	107.0	-				
飲料水備蓄率（%）	91.4	95.6	-				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 備蓄計画の目標設定に合わせ、備蓄品の購入を進めました。	・現状 備蓄計画の目標に向けて、備蓄品の購入を進めている状況です。
・評価 備蓄率については目標値に近づきつつあります。	・課題 地域防災計画の見直しに合わせて、新たな被害想定に沿った備蓄計画に基づき、備蓄する必要があります。
・課題に対する改善点 食糧や飲料水の購入を進め備蓄率を高めました。また、その他の資機材についても購入しました。	・取組 備蓄計画に基づき、備蓄を進めてまいります。

災害に強い危機管理体制の整備

地域防災計画策定事業	関係法令等の改正や各種状況の変化に伴い、適宜見直しを行います。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
防災危機管理課	649	982	9,896	983	0	983

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 令和7年3月に地域防災計画の一部見直し（修正）を行いました。	・現状 現時点での状況に応じた計画に修正した状態です。
・評価 現時点での状況に応じた計画に修正しましたが、状況変化に応じて今後も時点修正が必要です。	・課題 法改正等の状況に応じて、随時見直しや修正を検討する必要があります。
・課題に対する改善点 関係各課への意見照会や協議を基に、現時点での状況に応じた計画に修正しました。	・取組 法改正等に合わせ、逐次見直しを行ってまいります。

災害に強い危機管理体制の整備

防災施設整備事業	指定避難場所及び指定避難所に被災者のための防災施設や防災備蓄倉庫を整備します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
防災危機管理課	13,552	25,138	9,896	8,338	7,700	638

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
かまどベンチ設置数累計（基）	31	32	32	倉庫設置件数（件）	43	44	44
太陽光照明設置数（基）	18	20	20	マンホールトイレ設置箇所数（箇所）	13	14	14

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 都市防災計画に基づき、文化会館（中央公民館）に防災施設（マンホールトイレ等）を整備しました。また、繰越となっていた市野谷小学校に防災施設（マンホールトイレ等）を整備しました。	・現状 指定避難所となる公共施設に必要な防災施設が不足している状況です。
・評価 「公助」の観点から、指定避難所となる公共施設に防災施設の整備が少しずつ進んでいます。	・課題 既存の公共施設内に新たに防災施設を整備するにあたり、設置場所の問題や、工事施工時の安全面や施設利用者への配慮が必要なため、すぐには増設できない状況です。
・課題に対する改善点 指定避難所となる公共施設にマンホールトイレ等が増えました。	・取組 新たな防災施設の設置に向け、実施設計を行います。

建築物の耐震化の促進

耐震改修促進事業	住宅の耐震化の促進を図るため、平成12年以前に建築された一戸建ての木造住宅に対し、耐震診断・耐震改修費、又は昭和56年以前に建築された分譲マンションに対し、耐震診断費の一部を補助します。地震災害による、コンクリートブロック塀等の倒壊を防止するため、市内小学校の通学路沿いの危険なコンクリートブロック塀等に対し、除却費の一部を補助します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
建築住宅課	20,100	20,077	13,194	19,600	13,889	5,711

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)
無料耐震診断及び出張耐震相談件数（件）	14	24	20
ブロック塀等所有者への啓発件数（件）	254	232	250

主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
耐震診断及び耐震改修補助件数（件）	17	68	46
ブロック塀等除却補助件数（件）	11	4	10

令和6年度の取組みと評価・改善点

・取組

耐震診断、改修補助事業については、戸別訪問を引き続き実施すると共に、広報誌による啓発を行いました。ブロック塀等除却事業については、所有者等に対し、補助制度の内容と共に、診断結果についてより丁寧な説明を実施しながら、学校関係者へ情報共有を行い、連携を図りました。

・評価

流山市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム2024に基づき、戸別訪問と共に、耐震化のための啓発活動を行いました。ブロック塀等の除却については、補助制度の内容と共に個別説明を行い、除却説明を行いました。

・課題に対する改善点

耐震診断、改修補助事業については、広報誌を中心とした啓発と共に戸別訪問を行いました。ブロック塀等除却事業については、補助制度の内容と診断結果の丁寧な説明による啓発を行うと共に、学校関係者とも連携を図り、それぞれの方面から除却の必要性について丁寧に説明しました。

令和7年度の現状・課題・取組み

・現状

耐震診断、改修補助事業については、ここ数年同程度の補助件数で推移していましたが、能登半島地震等の影響により、相談及び申請が増えています。ブロック塀等除却事業については、啓発活動を充実させ、除却推進を図りましたが、目標達成には至っていません。

・課題

市民の住宅に対する耐震意識は向上したものの、小学校通学路沿いの危険コンクリートブロック塀除却等の除却に関して申請が減少しています。戸別訪問の際に簡易的な診断を行い、その結果をブロック塀等の所有者に丁寧に説明していく必要があります。

・取組

耐震診断、改修補助事業については、これまでの広報誌を中心とした啓発と共に戸別訪問を行っていきます。ブロック塀等除却事業については、所有者等に補助制度の内容と診断結果の丁寧な説明を実施しながら、学校関係者へ情報共有を行い、連携を図っていきます。

主管部局　消防本部　　施策の目的　火災や事故などの災害から、市民の生命と財産を守る

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
人口１万人当たりの出火件数	火災件数（1月～12月）÷人口（1月1日時点）×10,000	1.3	1.5	1.2	件	↓
救急出動件数	1月～12月（消防本部）	10,405	10,843	10,831	件	-

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 令和6年度は、災害時における迅速かつ的確な対応力を強化するため、消防本部・中央消防署庁舎の移転事業に取り組み、あわせて、老朽化した消防車両の更新や、救急体制の見直しを進め、救急活動のさらなる迅速化と質の向上に努めました。	**・現状** 近年、自然災害は激甚化・頻発化しているため、防災体制の一層の強化が重要な課題となっています。また、救急出動件数も増加傾向にあることから、迅速かつ的確な対応を実現するためには、救急体制の充実が不可欠です。さらに、人口の増加に伴い住宅が増えているため、住宅火災への備えが重要性を増しており、あわせて多様化する防火対象物への対応も必要となっています。
・評価 消防本部・中央消防署庁舎の移転については、「消防本部中央消防署移転検討委員会」を設置し検討を進めることで、着実に移転に向けた準備を進めました。また、救急出動件数の増加に対応するため、計画的に職員を研修等に派遣することで救急搬送業務の迅速な対応と質の向上を図りました。さらに、「流山市消防計画」の改訂と「流山消防受援計画」の改正を実施し、防災体制の強化を図りました。	**・課題** 消防本部・中央消防署庁舎の運用開始に向けて、建設工事を着実に進めるとともに、指令機器の移設に際して災害出動に支障が生じないよう、関係機関との調整が求められています。また、救急出動件数が増加傾向にあるため、救急隊員の計画的な養成、体制の強化が必要です。さらに、自然災害の激甚化、頻発化に対応するため、地域住民の防災リーダーとして消防団員の確保も課題となっています。
・改善点 令和6年度は、消防本部・中央消防署庁舎の移転に伴い、指令機器の移設が災害出動に影響を及ぼさないよう、「消防本部中央消防署移転検討委員会」を設置し検討を行いました。また、救急出動件数の増加に対応するため、救急体制の見直しや計画的に人材育成を進めました。加えて「流山市消防計画」の改訂と「流山消防受援計画」の改正を実施し、より実効性の高い防災体制の構築に取り組みました。	**・取組内容** 消防本部・中央消防署庁舎の運用開始に向けて、適切な工事監理のもとで建設工事を進め、指令機器の移設についても災害出動に支障が生じないよう関係機関と調整を行います。また、増加傾向にある救急出動に対応するため、救急隊員の養成を行い、加えて最新の車両や資機材を導入し救急業務の効率化を図ると共に救命率の向上を図ります。さらに、火災発生と被害軽減を目的として、広報パトロールや自治会への文書回覧を通じ市民の防火意識向上を図ります。

消防体制の強化

消防車両整備事業

常備消防が運用する車両を「流山市の消防車両等更新基準」に基づき、更新整備します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
警防救急課	40,513	37,139	13,194	207,110	196,062	11,048

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
消防車両等配備台数（台）	26	28	28	消防車両等更新台数（台）	1	5	3

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 令和5年度事業でリース契約した中央消防署救助工作車及び南消防署消防ポンプ自動車（水800リットル積載）の運用を開始しました。また、購入から15年が経過する中央消防署消防ポンプ自動車（水800リットル積載）及び南消防署水槽付消防ポンプ自動車と本市7隊目となる高規格救急車1台をリースにより導入しました。	**・現状** 市民の安心安全に寄与するため、東消防署高規格救急車及び南消防署高規格救急車2台の更新整備を図っています。
・評価 本市7隊目の高規格救急車については、令和7年4月から運用を開始し、市民の安心安全に寄与します。また、中央消防署ポンプ車には新たに800リットルの水を積載し、災害初動に対する強化を図りました。	**・課題** 物価高騰を受け、各種救急資機材の価格も上昇傾向にあり、高規格救急車も高額となっています。
・課題に対する改善点 中央消防署消防ポンプ自動車は、火災へ柔軟に対応すべく800リットルの水を積載するとともに、南消防署水槽付消防ポンプ自動車は地域の実情に合わせ、積載水1500リットルや装備品を削減することなく車両を小型化し導入を図りました。	**・取組** 同等の性能でより安価な資機材の選定をすることにより、経費削減に努めています。

消防体制の強化

中央消防署移転事業

昭和49年に建設された現消防本部・中央消防署の庁舎移転を行い、防災拠点の強化及び庁舎の適正配置を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
消防総務課	2,679,534	1,275,354	9,042	73,111	73,111	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
建築工事進捗状況（%）	17.06	83.27	100	施設利用者の満足度（%）	-	-	80
造成工事進捗状況（%）	100	-	-				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 令和5年度より本格的に開始した建築工事も大詰めを迎え、指令機器の移設時に災害出動に支障が発生しないよう、関係機関や消防本部内での連絡調整を行いました。	**・現状** 建物の躯体工事が完了し、1階から4階までの内装工事や付随する電気、機械設備工事に着手しています。また、指令機器の移設を行うため、関係機関と連絡調整を行っています。
・評価 建築工事及び指令機器の移設に際して、関係機関との連絡調整を的確に行い、消防本部・中央消防署移転事業を進めました。	**・課題** 令和7年6月23日の運用開始に向けて建設工事を完了させ、指令機器の移設を適切に行う必要があるため、関係機関と連絡調整を行い綿密な計画を練る必要があります。
・課題に対する改善点 消防本部・中央消防署庁舎の移転に伴い、指令機器の移設が災害出動に影響を及ぼさないよう、「消防本部中央消防署移転検討委員会」を設置し検討を行いました。	**・取組** 消防本部・中央消防署庁舎の運用開始に向けて、適切な工事監理のもと建築工事を着実に進めるとともに、災害出動の要となる指令装置の移設についても、出動に支障をきたすことのないよう関係機関と調整を行います。

消防体制の強化

消防指令業務運用事業	消防指令業務の効率化や円滑な広域応援体制を図るため、ちば北西部消防指令センター（松戸市）の指令業務、Ｊアラート（予備機）及び指令システムの維持管理業務などを行います。						
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源	
警防救急課	118,798	110,335	13,194	164,465	0	164,465	
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
救急車の現場到着時間（平均現場到着時間）（分）	10.48	10.50	10.00	通信機器の故障対応回数（回）	15	40	-

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 災害に対して迅速かつ確実な対応が可能となるよう遠制勤務職員の育成を図ります。また、消防救急無線機の更新を見据えた情報収集を行いました。	・現状 組織改編により災害における情報収集や無線交信を行う専任職員を配置し、災害出動に対応しています。
・評価 遠制マニュアルの改訂及び遠制勤務職員への研修並びに機器運用訓練を実施したことにより、災害時における迅速性及び確実性を一定水準まで引き上げました。	・課題 遠制勤務職員の専任化により、通信指令業務を過年度以上に迅速性・確実性を高めることが可能となったため、訓練方法の見直しやマニュアルの細分化等が必要となります。
・課題に対する改善点 人事異動に左右されず一定水準の通信指令業務を実施できるよう、マニュアルの改訂及び拡充を図る必要があります。また、当該年度の職員への育成方法の検討を継続し実施しました。	・取組 専任遠制勤務職員への高度な訓練方法の確立を図るとともに、マニュアルの細分化等を行い、多様化、激甚化する災害に対応可能なマニュアルへの改訂を行います。

消防体制の強化

消防団機械器具置場建設事業	地域の防災拠点施設である消防団機械器具置場を建築から30年を目安に順次建替えや大規模改修を行い、地域消防力の強化を図ります。						
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源	
消防総務課	26,303	28	13,194	33,270	25,306	7,964	
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
消防団機械器具置場建設予定（件）	1	-	1	災害対応効率向上率（%）	-	-	80

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 第14分団機械器具置場の建設工事を実施するため、建設業者選定のための入札を実施しました。	・現状 第14分団機械器具置場の建設に向けて、建築設計を依頼するとともに、千葉県が実施している「消防防災施設強化事業補助金制度」に申請を行っております。
・評価 第14分団機械器具置場の建設業者選定に係る入札が不調に終わったため、令和6年度の建設を取り止めました。	・課題 第14分団機械器具置場の建設が完了するまでの間、地域の防災力が低下しないよう、必要な取組を行う必要があります。
・課題に対する改善点 第14分団機械器具置場の建設が完了するまでの間、地域の防災力が低下しないよう、広報パトロール等を実施しました。	・取組 第14分団機械器具置場の建設工事に遅れが生じることがないよう、関係機関と連絡調整を図りながら、円滑に事業を進めます。

消防体制の強化

消防団車両整備事業	消防団に配備する車両を更新整備することにより地域防災力の中核を担う消防団の機動力を向上させます。						
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源	
警防救急課	1,785	1,651	6,597	6,000	0	6,000	
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
消防団車両等配備台数（台）	24	24	24	消防団車両更新台数（台）	1	3	2

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 購入から20年が経過する流山市消防団第3・11・18分団車両をリース契約により更新整備しました。	・現状 各種災害対応への充実強化を図るため、「流山市の消防車両等更新基準」に基づき、計画的に流山市消防団車両をリース契約にて更新整備します。
・評価 保安基準の改正適合車であり、バックカメラ等が標準装備となった。今まで以上に安全で環境に優しい車両です。	・課題 消防団員の高齢化等に伴い、各種資機材の軽量小型化が必要です。
・課題に対する改善点 更新車両の積載品について、小型化・省力化の資機材を積載するよう検討しました。	・取組 購入から20年経過する流山市消防団第2・21分団車両をリース契約にて更新整備します。

救急救助体制の強化

救急業務事業	東葛飾北部地域救急業務メディカルコントロール協議会で定められている救急活動事後検証会を行い、救急隊の現場活動の質の向上を図るほか、日勤救急隊が円滑に活動するための資器材及び消耗品の購入整備に努めています。						
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源	
警防救急課	1,257	1,117	13,194	9,073	0	9,073	
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
救急活動事後検証	50	32	60	救急活動事後検証	50	32	60

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 事後検証を行い、救急活動の評価、フィードバックを行いました。	・現状 令和6年度は32件の症例について検証を行い、救急活動の質の向上に努めています。
・評価 医師による事後検証を32件行い、医学的観点からの指導・助言を救急隊で共有することができました。	・課題 検証によるフィードバックを救急活動に繋げていくため、PDCAサイクルの構築が必要です。
・課題に対する改善点 事後検証数を増やすことで、救急活動の質の向上を図ります。	・取組 事後検証の結果を踏まえ、迅速かつ的確な救急活動に努めます。

救急救助体制の強化

救急救命士養成事業	救命率の向上を図るため、より高度な救命処置が施せる救急救命士の養成や救急救命士の前段となる救急隊員を養成します。						
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源	
消防総務課	5,197	4,939	19,791	5,131	0	5,131	
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
救急救命士資格取得人数（人）	1	1	1	救急救命士人数（人）	32	36	40
千葉県消防学校救急科受講人数（人）	8	8	8				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 救急救命東京研修所及び九州研修所に各1名、就業前病院研修に4名及び千葉県消防学校救急科に8名の職員を計画的に派遣しました。	・現状 令和7年度現在、運用救急救命士は36名であり、令和7年度から運用開始となった日勤救急隊を含めた計画的な育成強化が必要となります。
・評価 令和6年度は、新たに救急救命士を4名増員しました。また、指導救命士と救急救命士の有資格者が1名ずつ誕生し、千葉県消防学校（救急科）には8名を派遣しました。	・課題 救急活動の需要が見込まれる中、指導救命士、救急救命士、救急隊員の計画的な養成が必要となります。
・課題に対する改善点 令和7年度からの日勤救急隊の運用に向け計画的な育成を実施しました。	・取組 令和7年度から運用となる日勤救急隊を含めた強化育成を確立させるため、計画的な研修及び入校等に参加し計画的に救急救命士及び救急隊員の養成を行うと共に、救命率の向上を図ります。

消防・救急意識の向上

火災予防運動啓発事業	火災による被害の軽減を図るため、住宅用火災警報器の設置促進や消防団による火災予防の広報、出火防止及び防火思想の普及啓発を行います。						
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源	
予防課	5,028	3,998	5,278	5,028	0	5,028	
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
防火診断実施件数（件）	16	5	20	年間火災発生件数（件）	32	25	20

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 火災予防運動及び歳末火災予防特別警戒の期間中に市内を巡視し、広報や啓発活動を実施しました。また、通年において単身高齢者世帯防火診断を実施し、住宅防火対策の指導を行いました。	・現状 人口増加による住宅防火対策と、多種多様化する防火対象物への防火対策が求められています。
・評価 火災予防の取り組みとして、火災予防フェアの開催をはじめ、広報、巡視及び指導を実施し、広く防火意識を浸透させることができました。	・課題 一般住宅や各事業所への防火思想の普及啓発のため、多種多様な火災予防啓発活動が必要となります。
・課題に対する改善点 実効性のある火災予防啓発活動として、火災予防フェア、単身高齢者世帯防火診断、火事の写真集の展示などを実施しました。	・取組 火災の発生と被害の軽減を図るため、広報パトロールや自治会への文書回覧など積極的な広報を実施していきます。

主管部局　土木部　　施策の目的　交通事故や犯罪、消費者トラブルなどから市民生活を守る

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
人口１万人当たりの交通事故発生件数	交通事故統計ちば（千葉県警察本部）	16.7	16.7	17.3	件	↓
人口１万人当たりの犯罪発生件数	人口1万人当たりの犯罪発生件数（1月～12月）（千葉県警察本部）	38.6	44.0	40.7	件	↓
消費生活相談件数	消費生活センターに寄せられた相談件数（消費生活センター）	1,627	1,607	1,827	件	-

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 交通安全の件数、場所、原因を関係機関と共有し適切な交通安全対策を実施するとともに、市内の２つの地区でゾーン30プラスを取り入れることで生活道路の安全確保に努めた他、防犯灯及び防犯カメラの整備の推進や市公式LINEアカウントや市ホームページ、広報ながれやま等による防犯啓発情報や消費啓発情報を発信し、安心・安全で快適に暮らせるまちづくりを推進しました。	**・現状** 市の人口は増加が見込まれることから、交通事故、防犯、消費者間トラブルは増加することが想定されており、交通安全対策、防犯対策、消費者保護等の取り組みを推進するとともに、地域ごとに諸課題を把握し、それぞれに適した交通安全対策を関係者と協力して安心して生活できる環境づくりに努めます。
・評価 市内の交通事故について、前年比で重傷者数は減少しているものの、発生件数は微増しました。一方で事故内訳として、高齢者関連事故と自転車関連事故件数は減少しました。 また、防犯灯や防犯カメラの整備や関係機関との連携等により、刑法犯認知件数は前年比で減少しました。多様化、複雑・巧妙化する悪質商法のトラブルに対応するため対策等を情報発信し注意喚起及び啓発に努めました。	**・課題** 人口の増加や区画整理事業による道路整備等の環境状況の変化に対応した、安全対策が求められます。また、刑法犯認知件数の減少を図るため警察署等の各関係機関との連携をはかり包括的な対策を検討していくことが必要です。また、消費者トラブルについて、引き続き多様化、複雑・巧妙化する悪質商法の手口にいち早く対応することが求められます。
・改善点 スケアード・ストレイトをはじめとする交通安全教育を行うことにより、市民一人ひとりの交通安全に対する意識の醸成をはかったことや、区画整理事業等により、住宅環境が整備された地域に防犯灯を整備したことや、防犯情報等について、市公式ＬＩＮＥアカウント、ホームページや広報等で周知しました。また、成年引下げに伴う若年者トラブルについて、注意喚起及び啓発に努めました。	**・取組内容** 市内における交通事故の傾向について、関係機関と情報を改めて共有し、適切な対策を講じるように努めます。また、防犯灯及び防犯カメラの整備を推進するとともに、警察等との連携を強化できるよう検討します。また、犯罪発生情報や消費関連情報等の迅速な発信の取り組み、市民の防犯意識の向上及び消費者啓発に努めます。

交通安全対策の充実

交通安全施設整備事業

交通事故が多発している道路、その他緊急に交通の安全を確保する必要がある道路について、交通安全施設を整備して環境の改善を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
道路管理課	50,000	61,698	28,833	52,318	0	52,318

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
情報処理件数（件）	253	271	260	人身事故発生件数（件）	351	370	300

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 地元自治会や学校関係者等と交通安全に関する諸課題を協議し、各箇所に応じた安全対策を実施します。	**・現状** 対策実施済みの箇所においても、継続して現状把握を行います。
・評価 地元自治会や学校関係者と協議を重ね、ゾーン30プラスなどの生活道路における交通安全対策や、通学路の安全対策を実施することができました。	**・課題** 既に実施済みの交通安全対策について、その後の効果検証が必要です。
・課題に対する改善点 日々変化する交通状況や交通安全に関する課題を把握することが必要です。	**・取組** 地元自治会や学校関係者の意見と共に交通量の推移などのデータを踏まえ、適切な交通安全対策に努めます。

防犯対策の充実

安心安全支援事業

安心・安全な市民生活を推進するため、防犯カメラの設置や防犯灯の新設、流山市民安全パトロール隊や自主防犯パトロール隊の防犯活動を支援します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
コミュニティ課	46,504	31,623	13,194	49,444	8,700	40,744

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
自主防犯パトロール隊の組織数（団体）	77	79	80	刑法犯認知件数（件）	930	869	840
流山市民安全パトロール隊隊員数（人）	33	33	28	犯罪に関して市内（自宅周辺）は安全だと感じる市民の割合（%）	62.7	64.1	65.0

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 警察をはじめとした、関係機関との更なる連携を図り防犯に関する啓発や情報発信を行うほか、防犯灯や防犯カメラの設置個所の増加を図り、犯罪を抑止できる環境の整備に努めました。	**・現状** 全国的な防犯意識の向上が求められている情勢であるため、警察と連携し刑法犯認知件数の推移を分析するとともに、市内の防犯対策の推進をはかり、犯罪を抑止できる環境の整備に努めています。
・評価 関係機関との連携、防犯情報等の発信、防犯灯や防犯カメラの整備をすすめたことで、刑法犯認知件数は前年比で減少となり、安心・安全で快適に暮らせるまちづくりに寄与できました。	**・課題** 高齢化が進む流山市民パトロール隊の安全運転対策や、ESCO終了後の防犯灯管理方法の検討が必要です。
・課題に対する改善点 警察署との連携や流山市民安全パトロール隊や自主防犯パトロール隊の支援を実施したほか、市公式LINEアカウント等で情報発信を図り地域の防犯力の向上に努めました。	**・取組** 警察と連携し防犯情報の配信を実施するなど、市民の防犯意識の向上を図るほか、防犯灯や防犯カメラの設置箇所の増設を行い安心・安全で快適に暮らせるまちづくりに取り組みます。

消費生活センターの充実

消費者情報提供事業	被害に遭った消費者の救済や、トラブルを未然に防ぐため、専門の相談員を配置し、相談対応、情報提供を行います。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
コミュニティ課	20,039	19,213	3,959	22,077	1,898	20,179

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
相談件数(件)	1,607	1,827	1,827	相談処理が完結している割合(年度末時点)(%)	97.39	97.76	97.76

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 専門相談員が環境変化に応じた助言等が適切にできるよう、スキルアップ研修に積極的に参加するとともに、啓発講座やホームページ・SNS等を通じて最新の消費関連情報の発信に取り組みました。	・現状 副業や点検商法のトラブル増加、その他悪質商法の手口の多様化・複雑巧妙化など、消費者を取り巻く環境が変化しています。
・評価 相談者に対する適切な助言やあっせん、消費関連情報の啓発を行うことで、消費者トラブルの解決や消費者被害回復及び被害未然防止に寄与しました。	・課題 消費者を取り巻く環境変化にいち早く対応する必要があります。
・課題に対する改善点 消費者を取り巻く環境変化にいち早く対応し適切な助言等ができるように、専門相談員がスキルアップ研修に積極的に参加しました。	・取組 専門相談員が環境変化に応じた助言等が適切にできるよう、スキルアップ研修に積極的に参加するとともに、啓発講座やホームページ・SNS等を通じて最新の消費関連情報の発信に取り組んでいきます。また、令和8年10月からの相談支援システムの本格稼働に向けて、その導入及び移行準備を進めます。

主管部局　市民生活部　　施策の目的　地域コミュニティの活性化を図り、協働・連携を通して地域課題に取り組む

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
自治会への加入率	自治会加入世帯数÷常住人口世帯数×100　※10月1日時点（コミュニティ課）	61.40	59.95	58.89	%	↑
市民活動団体の数	市民活動推進センター登録団体数＋ NPO 法人数－重複団体数（コミュニティ課）	236	263	275	団体	↑

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 自治会の事務負担軽減のために、申請事務の簡略化やICT化を推進するとともに、自治会懇談会等や自治会アンケートにおいて、各自治会が抱える固有の悩みや問題を意見聴取し、課題解決のために必要な制度やツールの研究を実施しました。	・現状 会長、役員のなり手不足に悩む自治会が多く、役員になるのを避けるために自治会を退会する方が少なくない状況です。特に若い世代は子育てに忙しく共働き世帯が多いこともあり、その傾向が多く見られます。
・評価 自治会の申請事務について可能なものは全て電子申請できる体制を整えることができました。また、自治会フォーラムやアンケートにおいて、各自治会が抱える固有の悩みや問題を意見聴取することができました。	・課題 リモート会議やソフトウェアの導入などICTの活用によって課題や問題を自己解決する自治会も増えてきていますが、全ての自治会が、解決する力を持ち合わせているわけではないため、必要な支援を行い、自治会自身の力を向上させる取り組みが必要です。
・改善点 定年延長、共働き世代の増加、現会員の高齢化により、自治会活動をはじめること、続けることが難しい状況となっています。活動を無理なく継続的に進めていけるように、自治会の事務負担軽減に努めました。	・取組内容 自治会役員の負担軽減の一つとして、会長だけでなく役員向けのセミナーを開催し自治会運営に係る悩みや解決事例の共有を行うとともに、ICT導入に係る支援員の派遣を行うことで、自治会自身で課題解決するための支援を行います。また、無作為抽出によるセミナーを開催し自治会活動の重要性や課題について年齢や自治会加入の有無を問わず幅広い層への周知や意見聴取を行うことで、自治会活動の発展に繋げていきます。

地域コミュニティの活性化

自治会活動助成事業

自治会の円滑な運営のために、活動の拠点となる自治会館の維持管理に要する経費の一部に対し補助金を交付します。また、コミュニティ活動活性化に資する講座を開催するなどし、自治会活動を支援します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
コミュニティ課	27,361	24,641	11,289	31,759	7,282	24,477

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
自治会懇談会開催回数（回）	2	2	2	自治会加入率（%）	59.95	58.89	67.00

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 市民活動団体等と連携し、近隣市を含む広域的な意見交換の場を提供しました。	・現状 自治会によって、自治会活動の負担軽減に関する取り組み状況には差が出ており、役員のなり手不足に悩む自治会は少なくない状況です。
・評価 TOKATSU自治会フォーラムを開催し、約100名の自治会関係者（近隣市を含む）で、自治会活動に関する意見交換を行いました。課題の共有や情報交換ができる貴重な機会とすることができました。	・課題 役員の負担軽減をしたいと考えても、具体的な手法が思いつかない、手法は思いついても実現の仕方がわからないといった課題を抱える自治会を支援することが必要です。
・課題に対する改善点 市内の自治会のみの意見交換だけでは出ない意見や事例なども積極的に収集する必要があるため、近隣市の自治会からの参加や、外部講師の講演を行いました。	・取組 自治会長だけでなく役員も対象とした小規模セミナーの開催やICT導入支援の個別相談を実施し、自治会の負担軽減に繋がる考え方や手法を提供していきます。

地域コミュニティの活性化

自治会館建設費補助事業

自治会の円滑な運営のために、活動の拠点となる自治会館の建設（新築・増築）に要する経費の一部に対し補助金を交付し、活動を支援します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
コミュニティ課	0	0	2,224	5,000	2,840	2,160

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
自治会館建設補助申請件数（件）	0	0	1	自治会加入率（%）	59.95	58.89	67.00

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 自治会アンケートにより各自治会の意向確認を行い、特定の年度に建て替えが集中することのないよう、現状の把握及び調整を努めました。	・現状 意向調査により、複数の自治会が、新築ではなく大規模リフォームを行うことで、新築よりも安価に事業を行うことを考えていることがわかりました。
・評価 意向調査を実施し、建て替えを検討している自治会数を把握できました。	・課題 現在の補助制度は新築のみが補助対象であり、大規模リフォームは対象外となっているため、補助制度の改正が必要です。
・課題に対する改善点 特定の年度に集中することなく適切な予算措置に基づく財政支援を図るため、自治会の意向把握に努めました。	・取組 自治会の負担軽減の観点から補助制度の改正を行います。

地域コミュニティの活性化

コミュニティホーム改修事業	地域住民が連帯感を持ち快適で健全な生活環境のもとで健康的生活の向上を図るために設置されたコミュニティホームについて、老朽化に伴う補修など適正な維持管理を継続し、地域コミュニティの利用に供します。						
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源	
コミュニティ課	6,000	5,775	1,320	88,069	79,600	8,469	

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
第3コミュニティ・ホーム移転建て替え進捗状況（%）	-	30	80				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 流山区画整理事務所と連携を密にし、計画的な事業執行を行いました。	・現状 実施設計と施工スケジュールに沿った事業執行が求められています。
・評価 実施設計と施工スケジュールの調整が完了しました。	・課題 建築工事の着手時期は運動公園周辺地区土地区画整理事業の進捗状況に左右されるため、流山区画整理事務所との細やかな調整が必要です。
・課題に対する改善点 区画整理区域内での移転再築のため、土地区画整理事業の事業進捗との調整に努めました。	・取組 国の補助を活用し移転再築を進めるとともに、流山区画整理事務所と連携を密にし、計画的な事業執行を行います。

地域コミュニティとの協働・連携

市民活動推進事業	市民活動団体による公益的な活動を支援するため、活動・支援拠点である市民活動推進センターの運営や各団体が行う公益事業に対し補助金を交付し、協働によるまちづくりを推進します。						
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源	
コミュニティ課	19,279	17,207	7,917	21,994	411	21,583	

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
流山市民活動推進センター施設利用者数（人）	13,255	13,932	14,000	市民活動推進センター登録団体数（団体）	234	247	250
				市民活動団体公益事業補助金交付事業件数（件）	5	4	10

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 地域での活動の幅を広げるために、市民活動推進センターで市民活動団体と自治会がマッチングする機会を設けました。	・現状 交流会の参加者からは、更に多くマッチングする機会があると、活動の幅が広がるとの声が多く、自治会や企業を含む他団体と更なる交流促進が求められています。
・評価 市民活動団体、自治会、企業の交流会を実施し、新たな繋がりを作ることができました。	・課題 市民活動を更に活発にしていくためには、各団体の交流促進に加え、一般市民にも広く市民活動を知ってもらう必要があります。
・課題に対する改善点 市民活動団体と自治会の関連性が弱いことで活動の機会損失に繋がるため、関係性の強化に努めました。	・取組 これまで開催していた各種イベントは引き続き実施しつつ、市民まつりへの大規模な出展など、更なる市民活動の周知に努めます。

主管部局　健康福祉部　　施策の目的　生涯を通じて心身ともに健やかに暮らせる市民の健康をつくる

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
健康寿命(平均自立期間)	日常生活動作が自立している期間の平均 （千葉県健康福祉部資料）※1数値は2019年（R1)の統計、※2数値は2020年（R2)の統計、※3数値は2021年（R3）の統計。上段：65歳男性、下段：65歳女性	18.84 21.17(※1)	18.87 21.13(※2)	18.71 21.18(※3)	年	↑
生活習慣病による死亡者数の割合	死亡者数全体のうち、悪性新生物（がん）、心疾患 （高血圧性を除く）、脳血管疾患、高血圧性疾患、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、糖尿病による死亡者数の占める割合（千葉県衛生統計年報）※4数値はR3年、※5数値はR4年、※6数値はR5年。	52.8(※4)	54.0(※5)	51.2(※6)	%	↓
一般診療所の数	千葉県衛生統計年報 ※7数値はR3年、※8数値はR4年、※9数値はR5年。	118(※7)	125(※8)	128(※9)	-	↑

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 新型コロナウイルスワクチン接種が円滑に接種できる体制の構築に努めました。また、限られた医療資源を守るために、上手な医療のかかり方等の周知を行うとともに、こどもの緊急時の対応とホームケアについてをテーマに講座を実施した他、市民が安心して医療を受診できる医療体制の確保及び災害時の医療救護体制の整備に努めました。その他、がん検診の利便性向上のため、子宮がん及び乳がんのセット検診を実施する日を設けました。	**・現状** 予防接種事業については、高齢者の帯状疱疹予防接種の定期接種が始まりました。また、母子健康診査事業における3歳児健康診査については、これまで保健センターで実施する集団健診のほか、小児科診察を医療機関で行う個別健診で実施しており、受診率が低下しています。
・評価 新型コロナウイルスワクチン接種を希望する方が円滑に接種できる体制を構築することができました。また、夜間小児救急医療の診療時間を変更する等、市内の医療体制の確保に寄与することができました。また、災害対策会議を開催し、関係機関と協議を進めるとともに、「医療救護活動マニュアル」を現状に合わせた内容に整備しました。がん検診については、子宮がん及び乳がんのセット検診を4日間実施し、予約枠はすべて埋まる状況でした。	**・課題** 高齢者の帯状疱疹予防接種は、接種を希望する方が接種機会を逃すことがないよう、対象者へ個別通知を行い、円滑に接種できるよう体制を構築する必要があります。また、3歳児健康診査については、現在、保健センター及び医療機関の2か所で受診する必要があることから、保護者の負担軽減を図り、受診率の向上を目指す必要があります。
・改善点 令和6年度から新型コロナウイルスワクチン接種が予防接種法のB類疾病に位置付けられ、定期接種として実施することから円滑に接種できる体制の構築に努めました。また、医師の働き方改革も始まり、さらに医師の確保が難しくなることから、現在ある医療資源を守るための取り組みとして、夜間小児救急医療の診療時間を19時から23時の4時間に変更し、2次救急のひっ迫を防ぐとともに、市民へ医療のかかり方や、急病時の対応などの周知を行いました。	**・取組内容** 対象者の方が安心して接種できるよう、ホームページや広報、流山市LINE公式アカウント、個別通知等で対象期間や接種方法等、十分な周知を行うとともに、医療機関と連携し、安全に予防接種を受けられるよう努めます。また、3歳児健康診査の小児科診察を医療機関で行う個別健診から、保健センターで実施する集団健診の中で実施し、保護者の負担軽減につなげます。

ライフステージに応じた市民の健康づくり

健康づくり支援事業

誰もが、生涯を通じ生き生きと自分らしく充実した人生を送る社会を実現するため、第2次健康づくり支援計画（令和2～11年度）に基づき、乳幼児期から高齢期までのすべての市民を対象とした健康づくりを推進します。ヘルスアップ教室や健康づくり推進員活動、市民健康まつり、健康チェックコーナー等を通じて、健康的な生活習慣を身につけるための機会の提供や健康情報の普及啓発、受動喫煙防止等のたばこ対策、保育所や学校等と連携した食育の推進などを行います。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
健康増進課	6,411	5,225	19,791	3,338	0	3,338

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
ヘルスアップ教室開催回数（回）	100	100	100	ヘルスアップ教室参加者（人）	259	251	260
				市民健康まつり参加者数（人）	615	613	1,000

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 健康まつりや流山市健康づくり推進員活動等により、市民の健康づくりを支援する取組や健康的な生活習慣のきっかけづくりに努めました。	**・現状** ヘルスアップ事業(教室)では、体を動かす楽しさを実感しながら、運動習慣を身につけるきっかけづくりに重点を置いて活動しています。市が委嘱する流山市健康づくり推進員は、市民向けの運動講座や栄養講座の地域での活動を計画しています。
・評価 市民健康まつりでは、613名の市民に参加いただきました。また、令和5年度に委嘱した流山市健康づくり推進員による活動として、地域で運動講座や栄養講座を開催し、188名の市民に参加いただき、市民の健康への意識向上に貢献することができました。	**・課題** 市民と協働し、健康づくりのための意識を向上させるため、今後各活動を活発化させ、活動をきっかけに、運動習慣が身につくような働きかけを行っていく必要があります。
・課題に対する改善点 新型コロナウイルス感染症の5類移行後、屋内外で趣向をこらした活動を開催し、地域住民が参加しやすい環境を提供することができました。	**・取組** ヘルスアップ事業や健康まつりなど、市民の健康づくりを支援する取組や健康習慣のきっかけづくりに努めていくとともに、流山市健康づくり推進員の活動を支援していきます。

ライフステージに応じた市民の健康づくり

母子健康診査事業

母子保健法に基づき、母子の健康の保持増進を目的とし、妊婦、新生児聴覚スクリーニング検査、3～6か月児、9～11か月児、3か月児、1歳6か月児、3歳児を対象に、妊婦・乳児一般健康診査、新生児聴覚スクリーニング検査、3か月児・1歳6か月児・3歳児健康診査を実施します。3歳児健康診査を除き、個別委託を実施します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
健康増進課	189,172	166,045	39,582	177,546	7,558	169,988

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
妊娠届出数及び転入妊婦数（人）	2,179	2,139	2,000	妊婦一般健康診査受診率（%）	93.11	89.76	95.00
3か月児、1歳6か月児、3歳児健診発送数（通）	6,994	6,640	6,900	3か月児、1歳6か月児、3歳児健診受診率（%）	94.47	95.37	95.00

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 1歳6か月児健康診査については、保護者への連絡手段として、新たにメールアドレスの設定を行い、メールを用いた相談支援を行いました。各種健康診査後のフォローアップ相談の体制について医療機関へ周知を行い、連携を強化しました。また、未受診者への通知、訪問の時期等を見直し、電子カルテの情報を活用しながら、受診率向上及び全数把握に努めました。	**・現状** 各種健康診査を医療機関と連携して実施し、受診後の相談支援を適切な時期に実施しています。3歳児健康診査の受診率及び眼科健診における自宅で行う視力検査の実施率が低い状態が続いています。また、東部地区の相談先が少ないという市民からのご意見があります。
・評価 メールアドレスを利用したことで、電話以外で連絡が確実に取れるようになり、フォロー体制の強化を図ることができました。未受診者への通知、訪問の時期を見直したことで、対象年齢までに健康診査を受診できるようになりました。	**・課題** 3歳児健康診査の受診率及び眼科健診における自宅で行う視力検査の実施率を向上させる必要があります。また、東部地区の相談支援をさらに強化する必要があります。
・課題に対する改善点 医療機関と連携し、各種健康診査後に相談できる体制を整備するため、市内小児科医師と対面で母子保健事業検討会を行い、3歳児健康診査の小児科診察の集団化や精密健康診査に関するフォロー体制の検討を行うことができました。引き続き各種母子保健事業後の継続支援体制の構築に努めます。	**・取組** 3歳児健康診査については、保護者の負担を軽減するため、小児科診察を個別健診から、集団健診に変更します。また、眼科健診における自宅で行う視力検査を実施しやすいよう動画で案内するなど周知内容を工夫します。東部地区の相談支援の強化については、東部公民館で実施するすくすく相談を予約不要とし、相談しやすい体制に変更します。

疾病の早期発見

予防接種事業	感染症の発生及びまん延を予防するための予防接種を行い、感染症による疾病の予防及び公衆衛生の向上を図ります。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
健康増進課	812,711		834,494	26,388	778,109	1,343	776,766
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
麻しん風しん1期個別勧奨数（通）	2,200	2,125	2,200	麻しん風しん1期接種率（%）	95.46	96.55	95.00
麻しん風しん2期個別勧奨数（通）	2,504	2,545	2,650	麻しん風しん2期接種率（%）	96.67	95.67	95.00

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 対象者の方が安心して接種できるよう、ホームページや広報、流山市LINE公式アカウント、個別通知等で対象期間や接種方法、副反応が出た場合の相談先について十分な周知を行いました。また、医療機関と連携し、安全に予防接種を受けられるよう努めました。	・現状 高齢者の帯状疱疹予防接種の定期接種が始まり、麻しん風しん1期・2期、風しん5期は、令和6年度の対象者に限り接種期間が2年間延長されます。また、ヒトパピローマウイルス感染症予防接種は、令和6年度中に1回以上接種した方は令和7年度末まで残りの回数を接種することができます。
・評価 5種混合、小児の肺炎球菌15価及び20価、高齢者の新型コロナウイルス感染症予防接種の定期接種が開始されたため、ホームページや流山市LINE公式アカウント、広報、個別通知等で十分に周知を図ることができました。ヒトパピローマウイルス感染症予防接種は、キャッチアップ接種対象者へ期間延長が決まり次第、個別通知を速やかに行うことができました。	・課題 高齢者の帯状疱疹予防接種は、対象者へ個別通知を行い、接種を希望する方が円滑に接種できるよう体制を構築する必要があります。また、麻しん風しん混合ワクチンの流通状況を注視しながら、令和6年度の対象者で接種を逃した方が対象期間内に接種が完了するよう、周知を行う必要があります。
・課題に対する改善点 新しく定期接種化されたワクチンや接種期間が延長となる経過措置等の事業変更があったことから、対象者の方が安心して接種できるよう、また、対象期間までに接種が完了するよう周知を徹底しました。	・取組 対象者の方が安心して接種できるよう、ホームページや広報、流山市LINE公式アカウント、個別通知等で対象期間や接種方法、副反応が出た場合の相談先について十分な周知を行います。また、医療機関と連携し、安全に予防接種を受けられるよう努めます。

疾病の早期発見

健康増進事業	健康増進法に基づき、健康に関する知識の向上、生活習慣の改善を図り、疾病の早期発見・早期治療のための健康診査や各種がん検診を実施します。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
健康増進課	349,790		314,179	29,762	350,131	29,298	320,833
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
がん検診精密検査受診率(精検受診者/要精検者)(%)	81.33	84.51	85.00	がん検診精密検査未把握率(%)	6.35	8.88	5.00

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 がん検診受診率向上のため、20歳、30歳、40歳、50歳に到達される方に受診券を個別送付し受診勧奨を行いました。また、がん検診の利便性の向上のため集団検診の子宮頸がん検診と乳がん検診（マンモグラフィ検査）を同日に受けられる日を設けました。精密検査については個別に受診勧奨を行いました。	・現状 多くの方にがん検診を受けていただくために、広報やポスターでの周知を行っています。また、令和6年度に実施し効果がみられたことから、引き続き節目年齢の対象者への個別通知による受診勧奨や、精密検査対象となった方が確実に医療につながるように個別通知や電話による受診勧奨を行っています。
・評価 20歳、30歳、40歳、50歳に到達される方に受診券を個別送付した結果、受診者数が増加した検診もありましたが、がん検診全体の受診率向上とはなりませんでした。子宮頸がん検診と乳がん検診（マンモグラフィ検査）を同日に受けられる日は、受診の予約枠が全て埋まりました。精密検査については、個別受診勧奨を行ったことで精密検査の受診率は向上しました。	・課題 節目年齢の対象者へ個別通知による受診勧奨の実施や、集団検診の子宮頸がん検診と乳がん検診（マンモグラフィ検査）を同日に受けられるセット検診を実施するなど、がん検診を受診しやすい体制づくりに努めましたが、受診率は依然として低い状況です。
・課題に対する改善点 引き続き、個別通知や広報、事業実施時などの様々な機会を捉えて受診勧奨を行い、精密検査については、対象者に個別受診勧奨を実施するとともに、加えて20歳、30歳、40歳、50歳に到達される方に個別受診勧奨を行い、集団検診の子宮頸がん検診と乳がん検診（マンモグラフィ検査）を同日に受けられるセット検診を実施しました。	・取組 がん検診受診率向上のため、引き続き検診受診年齢到達者に対し、受診券の個別送付による受診勧奨を行う他、集団検診の子宮頸がん検診と乳がん検診（マンモグラフィ検査）を同日に受けられるセット検診の実施等受診しやすい体制づくりに努めます。また、イベントや3歳児健診等の場で受診勧奨を行い、引き続き精密検査の個別受診勧奨を行います。

疾病の早期発見

特定健康診査等事業	国民健康保険被保険者を対象に特定健康診査や特定保健指導を実施します。生活習慣病の予防を図るため、流山市国民健康保険データヘルス計画に基づき、令和2年度から開始した糖尿病性腎症重症化予防プログラムの対象者への更なる周知やAIによる特定健康診査受診勧奨を実施し、被保険者の健康と医療費の適正化を目指します。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
健康増進課	154,720		125,526	24,594	136,533	136,533	0
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
AI分析による特定健康診査受診勧奨通知（件）	30,444	30,444	30,500	特定健康診査受診率（%）※実績値は前年度の数値を使用	49.5	49.4	52.8
特定保健指導利用勧奨（訪問・電話）数（件）（年度末時点）	255	334	400	特定保健指導利用率（%）※実績値は前年度の数値を使用	23.9	22.4	27.0

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 AI受診勧奨通知では、前年度受診した医療機関の印字を行うなど、特定健康診査の継続受診を促しました。受診勧奨判定値を超える方に対しては、個別通知による受診の勧奨を行いました。特定保健指導については、指導内容に新たに運動講座を加え、勧奨通知の内容の工夫や勧奨訪問数を増やすことで利用率の向上を目指しました。	・現状 AI受診勧奨通知や健康イベントの実施等を通じて、市民に特定健康診査受診の重要性を啓発しています。受診勧奨判定値を超える方に対する個別通知も積極的に行い、重症化予防に努めています。特定保健指導利用率は他市と比較し、まだ低い状況です。
・評価 AI受診勧奨通知による継続受診を促しましたが、一度も受診歴がない未受診者や受診が途切れがちな方に対してはあまり効果が得られませんでした。また、特定健診で受診勧奨判定値を超える方への個別通知については、医療機関への受診や健康相談につながりました。特定保健指導については、早期の利用勧奨を行い、利用者数の増加に努めました。	・課題 AI受診勧奨通知の工夫により、一度も受診歴がない未受診者や受診が途切れがちな方に対する特定健康診査の継続受診を促す介入を更に行うことが必要です。また、特定保健指導については利用率向上のため、対象の方に送る勧奨通知を、わかりやすく利用したくなるような内容に変更していく必要があります。
・課題に対する改善点 若年層の受診率向上や、特定健康診査の継続受診に向け、AI受診勧奨通知の発送や健康イベントでの啓発を行いました。受診勧奨判定値を超える方に対する個別通知により、医療機関の受診への意識を高め、健康相談の実施につなげました。特定保健指導については、早期の利用勧奨と勧奨訪問数を増やし、利用率の向上に努めました。	・取組 AI受診勧奨通知では、より通知の効果が期待される方に届くよう、対象者の見直しを行います。また、対象者が受診できる近隣医療機関を地図から検索できる機能などを有するウェブサイトを用いた受診勧奨をします。特定保健指導については、対象者がわかりやすく、利用したくなるような勧奨通知の工夫を行い、利用率の向上を目指します。

地域医療体制や健康危機管理体制づくり

医療体制整備・確保事業

医療提供体制の確保を図るため、医師会・歯科医師会・薬剤師会の協力を得て、平日夜間・休日診療所及び夜間小児救急における初期診療・応急処置（第1次救急）体制を整備するとともに、第2次救急体制の充実について県に要望をしています。また、市内の病院等における看護師等を確保するため、病院内保育施設を運営する病院に対する補助金制度のほか、看護師等養成施設等に在学中の方で、将来市内の病院等施設で看護師等として働く意思のある方に対し、修学資金の貸付けを行います。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
健康増進課	100,289	87,627	6,597	88,025	6,017	82,008

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
平日夜間・休日診療所開設日数（日）	366	365	365	平日夜間・休日診療所、夜間小児救急医療、第2次救急医療利用者数（人）	5,002	4,458	4,000
				看護師等修学資金貸付金申請件数（件）	53	35	43

令和6年度の取組みと評価・改善点

・取組

医師会等と緊密な連携を図り、限られた医療資源を守るため、夜間小児救急医療の診療時間を19時から23時の4時間に変更し、医療機関のポスターの掲示依頼や広報ながれやま、市のホームページで市民向けに周知しました。また、流山医師会の協力によりこどもの緊急時の対応とホームケアについて市民向けの講座を実施しました。

・評価

夜間小児救急医療の診療時間を変更し、2次救急のひっ迫を防ぐとともに、市内の初期診療の体制確保に努めることができました。また、市民向けの講座を実施したことで、緊急時の対応方法や医療のかかり方等に対する市民の意識啓発が図られました。

・課題に対する改善点

夜間小児救急医療の診療時間を変更する等、今ある医療資源を守る取り組みを実施しました。

令和7年度の現状・課題・取組み

・現状

本市の子育て世代の増加に伴い、医療ニーズが増大するものの、小児科医の確保は依然として難しく、小児医療体制の確保が厳しい状況が続いています。

・課題

小児科医不足は本市に限らず、全国的な問題でもあり、引き続き今ある医療資源を守る必要があります。

・取組

これまで医療機関で実施していた3歳児健康診査の小児科診察を、保健センターで行う集団健診に変更することで、小児科の負担軽減を図り、急病時に受診しやすい医療体制の確保に努めます。また、医療提供体制の充実に向けて、医師会等との緊密な連携を図りながら、東葛北部医療圏における広域での医療体制の構築について県に要望していきます。

地域医療体制や健康危機管理体制づくり

健康危機管理整備事業

災害や新型インフルエンザ等感染症など、市民の生命や健康を脅かす健康危機が発生した場合に備えるため、県や関係機関との連携・協力のもと、健康危機管理体制を構築します。災害発生時の備えとして、救護所用の医療資器材や医薬品の備蓄を確保する等、医療救護体制の整備を行います。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
健康増進課	1,925	1,404	6,597	5,549	0	5,549

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
災害医療対策会議実施回数（回）	1	1	1	ランニング備蓄店舗数（件）	33	34	34

令和6年度の取組みと評価・改善点

・取組

災害医療対策会議を開催し、関係機関と協議を進めるとともに、「医療救護活動マニュアル」を現状に合わせた内容に整備しました。また、三師会（医師会、歯科医師会、薬剤師会）会員に向けた研修会を開催しました。

・評価

研修会では、救護所における関係機関の役割や担当について、三師会会員に周知する機会となり、災害医療救護体制の理解が深まりました。

・課題に対する改善点

会議・研修を通じて災害医療救護体制についての議論を重ねるとともに、理解を深めることに努めました。

令和7年度の現状・課題・取組み

・現状

災害医療対策会議の開催や、救護所用の医療資材及び医薬品の備蓄をする等、災害医療救護体制を構築しています。

・課題

令和6年度に整備した「医療救護活動マニュアル」を活用し、発災時を想定した医療救護体制については、より具体的な議論を重ねていく必要があります。また、平時から新興感染症の流行や自然災害への備えをしていくために、備品を整備する必要があります。

・取組

災害医療対策会議を開催し、三師会（医師会、歯科医師会、薬剤師会）等の関係機関と協議を進めるとともに、「医療救護活動マニュアル」の具体的な活用方法について検討します。また、救護所用の医療資材及び医薬品の備蓄等を整理し、災害時に早急に救護活動が開始できるよう体制整備に努めます。

地域医療体制や健康危機管理体制づくり

保健センター施設整備事業

安心・安全な施設環境を確保するため、保健センターの改修工事を行います。令和5年度　調理室調理台改修工事。令和6年度受水槽改修工事、高架水槽改修工事。令和7年度は高圧ケーブルの更新工事を行います。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
健康増進課	957	935	6,597	1,980	0	1,980

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
施設改修工事実施件数（件）	1	1	1				

令和6年度の取組みと評価・改善点

・取組

令和6年度は、受水槽及び高架水槽の改修工事を行いました。

・評価

受水槽及び高架水槽塗装工事を実施したことで、安心・安全な施設環境を確保することができました。

・課題に対する改善点

健（検）診、健康教育や相談事業等の各保健事業の実施や、平日夜間・休日診療所を併設し、地域保健の拠点としての機能を担う保健センターを、長期的に利用できるよう必要に応じて整備を行いました。

令和7年度の現状・課題・取組み

・現状

個別施設計画に基づき、計画的に修繕を実施しています。

・課題

保健センターの建設から35年以上が経過しているため、老朽化した箇所を適時修繕する必要があります。

・取組

令和7年度は、令和6年度の繰り越し工事として高圧ケーブルの更新工事を行い、保健センターの安心・安全な施設環境の確保に努めます。

地域医療体制や健康危機管理体制づくり

新型コロナウイルス感染症対策事業 （健康増進課　ワクチン接種分）	流山市医師会の協力のもと、新型コロナウイルスワクチンの円滑な接種を実施します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
健康増進課	8,594	312,934	26,388	0	0	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
市内新型コロナワクチン接種施設数（件）	56	49	-	新型コロナワクチン接種実施回数（回）	90,992	9,947	-

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 高齢者の新型コロナウイルス感染症予防接種の定期接種化に伴い、市民に制度の変更点を周知するため、対象者や接種方法について広報やホームページ、流山市LINE公式アカウント等で十分な周知を行い、接種を希望する方が接種できる体制の構築に努めました。	・現状 予防接種事業に統合したことにより事業終了。
・評価 市民に対して十分な周知を行い、高齢者の新型コロナウイルス感染症予防接種を希望する方が円滑に接種できるよう医師会と連携し、体制構築を行うことができました。	・課題 予防接種事業に統合したことにより事業終了。
・課題に対する改善点 高齢者の新型コロナウイルス感染症予防接種がこれまでの特例臨時接種ではなく、定期予防接種として実施されることから、制度の変更点について、広報・ホームページ・流山市LINE公式アカウント・ポスターの掲示等により、丁寧な市民周知を行いました。	・取組 予防接種事業に統合したことにより事業終了。

主管部局　生涯学習部　　施策の目的　生涯を通じて心身ともに健やかに暮らせる市民の健康をつくる

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
日頃から何らかの生涯学習活動を行っている市民の割合	「日ごろから何らかの学習活動（生涯学習）を行っていますか」に「はい」と回答した割合　（まちづくり達成度アンケート）	35.7	38.1	38.7	%	↑
学びたい時に学べる環境（生涯学習のプログラムや施設）が整っていると思う市民の割合	「学びたいときに学べる環境が整っていると思うか」に「整っている」「どちらかといえば整っている」と回答した割合（まちづくり達成度アンケート）	52.3	52.6	61.5	%	↑

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 利用者の利便性の向上を図るため、北部公民館の空調機器更新工事等を実施しました。森の図書館では屋根の改修工事、生涯学習センターではエレベーター更新工事及び体育館のエアコン設置工事を実施しました。また、図書館では視覚障害等の理由により活字の本を読むことが困難な方にも「聞く読書」を楽しんでいただけるオーディオブックを導入しました。	**・現状** 築年数が経過した各生涯学習施設については、経年劣化による破損や老朽化が見られます。
・評価 文化会館、中央図書館、北部公民館、初石公民館、生涯学習センター、地域図書館、東部公民館では、各種工事等を遅滞無く実施できました。南流山センターについては、トイレの洋式化及びバリアフリートイレの改修工事は遅滞無く実施できましたが、エレベーターの更新工事については、令和7年度の実施予定となりました。	**・課題** 安心・安全で快適な施設環境を確保するため、改修・整備を計画的に進める必要があります。図書館については、幅広い資料の購入やこどもの読書活動をより推進していく必要があります。
・改善点 経年劣化による破損や老朽化に対応するため、各施設の改修・更新工事等を行うことで適切な維持管理に努めるとともに、施設利用者の利便性向上を図りました。図書館については、多様な読書環境の提供に努めました。	**・取組内容** 南流山センターのエレベーター更新工事、中央図書館・博物館内装等改修工事、森の図書館の南側通路の改修工事、生涯学習センターと東部公民館の受変電設備更新工事等を実施します。また、南流山センターと初石公民館の受変電設備更新に係る設計業務委託を行います。

多様な生涯学習機会の充実

図書館資料購入事業

図書をはじめ、電子書籍・雑誌・新聞・視聴覚資料などの図書館として必要な資料を購入します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
図書館	41,228	41,216	19,791	41,228	0	41,228

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
図書購入冊数（冊）	14,575	14,155	14,501	蔵書冊数（冊）	531,118	536,552	541,053
視聴覚資料購入点数（点）	376	266	246	貸出点数（月平均）（点）	98,973	97,038	100,804

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 市民からのリクエストを参考にしながら計画的に資料を購入したほか、「聞く読書」を楽しめるオーディオブックサービスを導入しました。	**・現状** 引き続き、図書館が所蔵すべき資料を購入する必要があります。
・評価 図書は、一般図書9,091冊、児童図書4,707冊、参考図書357冊を購入しました。視聴覚資料は、CD139点、DVD56点、紙芝居71点を購入しました。電子書籍は423コンテンツを購入しました。オーディオブックは7,183点を利用者に提供することができました。	**・課題** 図書、電子書籍、雑誌、新聞、視聴覚資料等のバランスを取りながら、幅広い分野の資料を購入することが課題です。
・課題に対する改善点 様々な時間や場所で利用することが可能なオーディオブックサービスを導入し、図書館に来館できない方、視覚障害等の理由により活字を読むことが困難な方にも利用いただける資料の充実に努めました。	**・取組** 資料の利用状況をきめ細かく把握しながら計画的に購入します。

多様な生涯学習機会の充実

子どもの読書活動推進事業

こどもたちが幼い頃から本に親しめる環境整備を支援するため、「第2次流山市子どもの読書活動推進計画」に基づくブックスタート関連事業として、市内子育て関連施設に乳幼児向けブックセットを設置します。こどもの読書活動を推進するための講座を開催します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
図書館	2,568	2,561	13,194	2,276	0	2,276

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
ブックセット設置施設数（施設）	70	70	92	図書館全館（7館）乳幼児（6歳まで）の利用者数　（人）	19,573	19,916	23,683
ブックセット設置冊数（冊）	2,464	2,157	1,509				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 市内の子育て関連施設に、基本のブックセット、ブックセット第2便、ブックセット第3便を設置しました。	**・現状** 引き続き、市内の子育て関連施設に乳幼児向けブックセットを設置し、こどもの読書環境整備を支援する必要があります。
・評価 基本のブックセットを新設保育所や地域子育て支援センター等22施設に、ブックセット第2便を障害児通所支援事業所30施設に、ブックセット第3便を保育所18施設に設置し、こどもの読書環境の整備を支援することができました。	**・課題** こどもの読書活動をより推進していくため、こどもだけでなく、子育てに関わる人も対象として取り組みを広げていくことが課題です。
・課題に対する改善点 こどもの読書環境の整備を継続的に支援するため、新たにブックセット第3便の設置を開始しました。	**・取組** 子育て関連施設に勤務する人などを対象に、こどもの読書活動への理解を深めていただく講座を開催します。

生涯学習の環境整備

文化会館施設整備事業	利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、文化会館の修繕・改修を行います。						
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源	
公民館	1,349	648	2,884	0	0	0	
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
工事進捗率（%）	100	100	-	利用者アンケート調査「総合評価」で、「満足」と回答された方の割合（%）	46	60	-

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 快適な施設環境の向上を図るため、1階バリアフリートイレの床の張替等の改修工事を行いました。	・現状 令和6年度で事業は終了しました。
・評価 劣化が見られた床の張替など、バリアフリートイレの改修工事を遅滞なく実施できました。	・課題 令和6年度で事業は終了しました。
・課題に対する改善点 バリアフリートイレ改修工事により、施設環境の向上を図ることができました。	・取組 令和6年度で事業は終了しました。

生涯学習の環境整備

中央図書館改修事業	利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するために、中央図書館の修繕・改修を行います。						
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源	
図書館	7,400	7,146	13,194	38,449	37,700	749	
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
工事進捗率（%）	100	100	100	改修等実施件数（件）	1	1	1

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 緊急性のあるものを優先し、計画的な修繕及び改修を実施しました。中央図書館の内装等改修工事設計業務委託を実施しました。また、老朽化した書庫移動棚の更新を実施しました。	・現状 施設各所に、経年劣化による破損や老朽化が見られます。
・評価 遅滞なく実施しました。	・課題 安心・安全で快適な施設環境を確保するため、計画的に改修等を行う必要があります。
・課題に対する改善点 老朽化した建築物や設備を竣工時の状態に近づけるだけでなく、その機能や性能を現在求められている水準まで引き上げるための設計業務委託を実施しました。	・取組 トイレのオストメイト対応や洋式化など、ユニバーサルデザイン化改修工事や内装工事を行います。

生涯学習の環境整備

南流山センター施設整備改修事業	利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、南流山センターの修繕・改修を行います。						
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源	
公民館	35,721	3,781	4,203	1,400	1,200	200	
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
工事進捗率（%）	100	10.77	100	施設利用の満足度調査「総合評価」で、「満足」と回答された方の割合（%）	62	68	71

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 施設利用者の利便性の向上を図るため、トイレの洋式化及び1階バリアフリートイレ内にオストメイト対応装置を設置する等の改修工事を行いました。	・現状 施設各所に、経年劣化による破損や老朽化が見られます。
・評価 トイレの洋式化及びバリアフリートイレの改修工事は遅滞なく実施できましたが、エレベーターの更新工事については、令和7年度以降の実施となりました。	・課題 施設の安全に配慮し、計画的に修繕等を行う必要があります。
・課題に対する改善点 トイレ改修工事により、施設環境の向上を図ることができました。	・取組 令和8年度の受変電設備更新工事に向け、設計業務委託を行います。エレベーターの更新工事については、調整次第、速やかに実施します。

生涯学習の環境整備

北部公民館施設整備改修事業	利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、北部公民館の修繕・改修を行います。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
公民館	15,642	10,844	2,884	0	0	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
工事進捗率（%）	-	100	-	施設利用の満足度調査「総合評価」で、「満足」と回答された方の割合（%）	74	74	-

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 快適な施設環境の向上を図るため、空調機器更新工事を行いました。	・現状 令和6年度で事業は終了しました。
・評価 利用者の安全に配慮しながら、遅滞なく更新工事を実施できました。	・課題 令和6年度で事業は終了しました。
・課題に対する改善点 空調機器の更新工事により、施設環境の向上を図ることができました。	・取組 令和6年度で事業は終了しました。

生涯学習の環境整備

初石公民館施設整備改修事業	利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、初石公民館の修繕・改修を行います。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
公民館	2,660	4,204	2,884	1,400	1,200	200

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
工事進捗率（%）	-	100	100	施設利用の満足度調査「総合評価」で、「満足」と回答された方の割合（%）	61	67	70

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 快適な施設環境の向上を図るため、トイレの洋式化等の改修工事を行いました。	・現状 施設各所に、経年劣化による破損や老朽化が見られます。
・評価 劣化が見られた床の張替など、トイレの洋式化改修工事を遅滞なく実施できました。	・課題 施設の安全に配慮し、計画的に修繕等を行う必要があります。
・課題に対する改善点 トイレの改修工事により、施設環境の向上を図ることができました。	・取組 令和8年度の受変電設備更新工事に向け、設計業務委託を行います。

生涯学習の環境整備

生涯学習センター整備充実事業	利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、生涯学習センターの修繕・改修を行います。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
文化芸術・生涯学習課	105,540	103,467	6,597	50,986	42,200	8,786

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
工事進捗率（%）	100	100	100	施設利用の満足度調査「総合評価」で、「満足」と回答された方の割合（%）	57	60	63

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 エレベーターの更新工事及び体育館のエアコン設置工事を実施しました。また、令和7年度の受変電設備更新工事に向け、設計業務委託を行いました。	・現状 施設各所に、経年劣化による破損や老朽化が見られます。
・評価 工事業者や指定管理者と調整を行い、遅滞なく工事を完了することができました。また、令和7年度の受変電設備更新工事に向け、設計業務委託を行いました。	・課題 安心・安全で快適な施設環境の維持向上を図るため、計画的な修繕を行う必要があります。
・課題に対する改善点 関係機関と調整しながら、計画的に修繕等を行うことができました。	・取組 受変電設備の更新工事と揚水ポンプの交換修繕を実施します。

生涯学習の環境整備

地域図書館改修事業	利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、地域図書館の修繕・改修を行います。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
図書館	13,035		11,437	13,194	3,465	0	3,465
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
工事進捗率（%）	100	100	100	施設利用の満足度調査「総合評価」で、「満足」と回答された方の割合（%）	69.0	75.5	76.0

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 森の図書館の東棟屋根の改修を実施しました。	・現状 施設各所に、経年劣化による破損や老朽化が見られます。
・評価 遅延なく実施しました。	・課題 安心・安全で快適な施設環境を確保するため、計画的に修繕・改修を行う必要があります。
・課題に対する改善点 老朽化した建築物や設備を竣工時の状態に近づけるだけでなく、その機能や性能を現在求められている水準まで引き上げることができました。	・取組 森の図書館の南側通路の改修工事を行います。

生涯学習の環境整備

東部公民館施設整備改修事業	利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、東部公民館の修繕・改修を行います。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
公民館	3,867		2,974	2,884	30,279	27,100	3,179
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
工事進捗率（%）	-	100	100	施設利用の満足度調査「総合評価」で、「満足」と回答された方の割合（%）	65	70	73

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 快適な施設環境の向上を図るため、トイレ改修工事及び講義室の排煙窓修繕を行いました。また、令和7年度の受変電設備更新工事に向け、設計業務委託を行いました。	・現状 施設各所に、経年劣化による破損や老朽化が見られます。
・評価 利用者の安全に配慮しながら、遅滞なく改修工事を実施できました。	・課題 施設の安全に配慮し、計画的に改修等を行う必要があります。
・課題に対する改善点 トイレの改修工事により、施設環境の向上を図ることができました。	・取組 受変電設備更新工事を行います。

生涯学習の環境整備

博物館改修事業	利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、博物館の修繕・改修を行います。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
博物館	2,500		2,247	660	38,449	37,500	949
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
工事進捗率（%）	100	100	100	改修等実施数（件）	1	1	1

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 施設の計画的な修繕及び改修を実施するため、博物館の内装等改修工事設計業務委託を実施しました。	・現状 昭和53年の開館以来使用している建築物や施設が老朽化しています。
・評価 遅滞なく実施しました。	・課題 老朽化した建築物や設備を竣工時の状態に近づけるだけでなく、その機能や性能を現在求められている水準まで引き上げる必要があります。
・課題に対する改善点 老朽化した建築物や設備を竣工時の状態に近づけるだけでなく、その機能や性能を現在求められている水準まで引き上げるため、令和7年度に予定している博物館の内装等改修工事の設計業務委託を行いました。	・取組 利用者に安全で快適な環境を提供するため、オストメイト・トイレ洋式化等のユニバーサルデザイン化改修工事や内装改修工事を行い、施設の長寿命化に努めます。

施策　文化芸術・歴史　　基本政策　生きがいをもって健康・長寿に暮らせるまち　Ⅳ　施策分野別評価表

主管部局　生涯学習部　　施策の目的　文化芸術や歴史に親しむ機会を創出するとともに、歴史的文化的遺産を次世代へ伝える

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
過去１年間に文化芸術活動を行ったことがある市民の割合	「日ごろから学習活動を行っている市民の対象分野」における「教養（語学・歴史・文学等）」「文化芸術（音楽・絵画等）」の割合　（まちづくり達成度アンケート）	44.4	42.9	57.1	%	↑
市内の指定文化財等の数	国登録、県・市指定文化財の数　（博物館）	52	52	52	件	↑

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 文化祭については、新規参加団体の募集に努めました。スターツおおたかの森ホールでは、各種設備のバッテリー交換修繕等を行いました。博物館では、国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」外観部の保存修復工事が完了しました。また、市内に分散する埋蔵文化財整理室を鰭ケ崎整理室に集約しました。	・現状 博物館では、国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の保存修復工事を進めていきます。また、令和6年度文化庁の認定を受けた「流山市文化財保存活用地域計画」に基づき、市内の文化財の保存と活用を図っていきます。
・評価 文化祭については、観覧者数が前年比で横ばいとなっており、多くの方々にご来場いただきました。博物館では、各種工事等を遅滞なく完了することができました。	・課題 文化祭については、参加団体（実行委員会）の高齢化が進んでいます。スターツおおたかの森ホールの修繕に当たっては、利用者への影響を最小限に抑えて実施する必要があります。また、博物館では、国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の内部修復、活用方法を検討して行く必要があるほか、指定・未指定の文化財の周知を図って行く必要があります。
・改善点 文化祭については、こどもたちによる発表を行うことや、参加型のイベントを行うことで、幅広い年齢層の参加がありました。また、スターツおおたかの森ホールの各種設備のバッテリー交換修繕等を行い、引き続き安心してご利用いただける施設として適切な維持管理に努めました。	・取組内容 国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の公開や100か所めぐり看板のリニューアルなどを実施し、文化財の周知を図っていきます。

市民主体の文化芸術活動の促進

文化祭開催事業	市内の文化芸術団体の発表の場であり、市内の代表的な文化の祭典として、流山市文化祭実行委員会が開催する文化祭の事業費の一部を補助します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
文化芸術・生涯学習課	1,300	1,300	6,597	1,300	0	1,300

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
イベント実施数（回）	24	24	24	延べ観覧者数（人）	6,144	5,977	6,200

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 オープニングセレモニー・イベントをはじめ、1か月にわたり、各団体による展示や発表を実施しました。また、広報ながれやま、市ホームページ等で周知を図りました。	・現状 毎年、文化祭実行委員会の企画・運営による「流山市文化祭」を開催しています。
・評価 スターツおおたかの森ホールで開催したオープニングセレモニー・イベントをはじめ、各団体による展示や発表は多くの参加者と来場者で賑わいました。	・課題 観覧者数については、横ばいの傾向にあるので、開催や市民への周知について工夫する必要があります。
・課題に対する改善点 こどもたちによる発表を行うことや、参加型のイベントを行うことで、幅広い年齢層の参加がありました。	・取組 オープニングセレモニー・イベントをはじめ、各団体による展示や発表を実施します。また、広報ながれやま、市ホームページ等により新規参加団体や来場者の募集に努めます。

優れた文化芸術に親しめる機会の充実

おおたかの森ホール整備充実事業

利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、おおたかの森ホールの修繕・改修を行います。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
文化芸術・生涯学習課	3,600	2,683	6,597	500	0	500

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
工事進捗率（%）	-	100	100	施設利用の満足度調査「総合評価」で、「満足」と回答された方の割合（%）	84	77	80

令和6年度の取組みと評価・改善点

・取組
ホール客席誘導灯、防火シャッター無停電装置ほか各種設備のバッテリー交換修繕を行いました。また、ホール正面前の「創造の森」については、植栽の芝の張り替え等の修復工事を実施しました。

・評価
各種設備のバッテリー交換修繕や、芝の張り替えについて遅滞なく行うことができました。

・課題に対する改善点
工事業者と連携をとり、利用者等の安全を守りながら工事を行うことができました。

令和7年度の現状・課題・取組み

・現状
開館から6年経過し、修繕や更新が必要な設備等があります。

・課題
修繕や工事については、利用者への影響に配慮して実施する必要があります。

・取組
中央監視装置無停電電源装置のバッテリー交換修繕を行います。

歴史的文化的遺産の保存・活用

指定等文化財保存活用整備事業

市内に残る文化財の保存・整備を行い、活用を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
博物館	65,255	98,550	3,299	55,677	55,440	237

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
工事の進捗率（%）	20	70	100	現地見学会・講演会の参加人数(人)	144	286	80

令和6年度の取組みと評価・改善点

・取組
保存修復工事を進めながら、見学会を開催し、文化財の保存や修復についての周知を図りました。

・評価
外観部の工事を工程どおり、完了することができました。修復工事状況にあわせた現地見学会を計4回開催し、文化財保存や修復に関しての周知を図ることができました。

・課題に対する改善点
外観部の修繕を計画通り完了することができました。あわせて見学会を4回開催し、前年度から参加数が倍増し、文化財への関心を高めることができました。

令和7年度の現状・課題・取組み

・現状
建物内部の床や耐震性の問題があるため、内部修理を進めていきます。

・課題
内部修理時の見学会開催が難しい状況です。

・取組
内部の修理を進めていくとともに、修理過程の説明会や講演会を開催します。あわせて、ホームページやSNSを利用した情報発信を進めていきます。

歴史的文化的遺産の保存・活用

埋蔵文化財整理室及び収蔵庫整備事業

市内各所にある埋蔵文化財関連施設を鰭ケ崎整理室（東洋学園大学旧校舎学生会館）へ集約し、一元的な管理を行います。また、出土遺物・資料の公開を行うため、埋蔵文化財・収蔵・展示施設を開設します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
博物館	25,000	8,068	6,597	5,000	0	5,000

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
鰭ケ崎整理室への整理室・収蔵庫移転・集約件数（件）	20	100	-	鰭ケ崎整理室の稼働率（%）	20	100	100
鰭ケ崎整理室の修繕工事・収蔵庫解体進捗率（%）	35	40	10	収蔵庫解体進捗率（%）	-	-	35

令和6年度の取組みと評価・改善点

・取組
鰭ケ崎整理室に整理室・収蔵庫を移転・集約し、同施設の修繕・工事、残置物撤去を行いました。

・評価
遅滞なく業務を完了することができました。

・課題に対する改善点
流山北小学校内整理室及び市内各所に分散する収蔵庫の移転と並行して、鰭ケ崎整理室の施設修繕・工事を行いました。

令和7年度の現状・課題・取組み

・現状
鰭ケ崎整理室への整理室・収蔵庫移転・集約が終了したことから、整理・報告書刊行を推進する必要があります。

・課題
移転の完了した各収蔵施設の解体工事が必要となります。

・取組
収蔵施設のうち、南流山収蔵庫解体工事を実施します。

主管部局　生涯学習部　　施策の目的　スポーツを通じた市民の健康と体力の維持・増進を図る

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
スポーツで健康体力の維持・増進を行っている市民の割合	「健康維持のために日ごろから行っていること」における「汗をかく程度の運動を週1、2回程度習慣的に行っている」の割合（まちづくり達成度アンケート）	32.0	32.9	34.9	%	↑
スポーツ施設の利用者数	利用者数（スポーツ振興課）	1,388,783	1,415,897	1,586,121	人	↑

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 スポーツ施設の維持管理については、利用する市民の声を聞きながら現地の巡回や点検作業を事業者とともに行うことで、維持管理を強化しました。流山ロードレース大会についても実行委員会や委託事業者と意見を交わしながら、より魅力ある大会にすることができました。	・現状 流山スポーツフィールドA面は、令和6年度に実施設計を行い、令和7年度に人工芝化の工事を実施します。令和8年度から供用開始するため、確実に完成できるよう工事進捗を確認しながら進めていきます。
・評価 スポーツ施設の維持管理については、修繕が必要な箇所が多くある中、優先順位をつけ、利用者が快適に利用できるよう実施することができました。流山ロードレース大会については、多くの参加者を集めるため、様々な媒体から情報発信し、前年度より参加者を増やすことができました。	・課題 スポーツ施設の老朽化に伴い、修繕が必要な施設が多くあります。限られた予算の中で、利用者に支障がでないよう計画的な修繕計画が必要になっています。また、流山ロードレースについては、令和6年度の課題を確認し、よりよい運営にするため見直しをする必要があります。
・改善点 多くのスポーツ施設を抱え、常に適切な維持管理を行うことが課題となるため、指定管理者や委託事業者と連携を密にし、市民が快適に利用できるように管理する必要がありました。また、流山ロードレース大会については、コース設計や運営方法の見直しをする必要がありましたが、警察と協議を進めた結果、従来通りのコースで開催することができました。	・取組内容 流山スポーツフィールドの人工芝化について、利用人口の向上につながるようスポーツ備品を充実し、安心で快適な施設利用ができるよう計画していきます。流山ロードレースについても、より魅力ある大会にするため、企画に注力していきます。

スポーツ活動の促進

スポーツ講習会・大会開催事業

スポーツ講習会や大会を通じてスポーツ活動の機会を拡充します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
スポーツ振興課	25,649	21,809	16,493	25,821	0	25,821

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
流山ロードレース大会実行委員会開催回数（回）	6	6	6	流山ロードレース大会参加者数（人）	2,663	3,296	3,300

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 今年度は、協賛企業ののぼり旗作成、団体・ペア申し込みでの割引や参加者に抽選で景品を用意するなど、魅力ある大会を目指し参加者増加を図りました。	・現状 昨年度と同じコースで実施します。ランナーにとって魅力ある大会を目指し、参加者数の向上を図る必要があります。
・評価 昨年度に引き続きお子様が気軽に参加できるファンランを実施し、昨年度より参加者が633人増加しました。	・課題 新型コロナウイルス感染症により離れてしまったランナーを呼び戻し、より多くの参加者を募ることが当面の課題となります。
・課題に対する改善点 新型コロナウイルス感染症により離れてしまったランナーを呼び戻し、より多くの参加者を募ることが必要でしたが、昨年度より参加者の増加が図れました。	・取組 今年度も引き続き、協賛企業ののぼり旗作成、団体・ペア申込み割引、参加者景品抽選会を計画し、参加者増加を図ります。

スポーツ環境の整備

体育施設改修・整備事業

総合運動公園庭球場(1～4面)人工芝全面張替え工事、コミュニティプラザ体育室エアコン設置工事を実施し、スポーツ施設の利用者の安全性・快適性・利便性の確保を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
スポーツ振興課	118,200	116,502	13,194	385,000	385,000	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
				屋内外体育施設利用者実数（人）	813,525	883,781	884,000

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 コミュニティプラザ体育室エアコン設置工事を実施しました。	・現状 「未来を担うこどもたち等のために全天候型の人工芝サッカー場整備を」との要望を議会や利用団体等から受けており、実現に向け整備する必要があります。
・評価 コミュニティプラザ体育室エアコン設置工事が完了し、避難所としての快適性や夏季の熱中症対策に寄与する施設となりました。	・課題 流山スポーツフィールドは、主にこどもたちの利用が多く、夏季における熱中症対策に配慮した施設整備が求められています。
・課題に対する改善点 コミュニティプラザ体育室は、年間を通して多くの市民が利用しており、夏季期間における熱中症対策として、空調設備の設置が求められていましたが、設置が完了し快適なスポーツ環境を提供できるようになりました。	・取組 流山スポーツフィールドA面人工芝化工事を実施するにあたり、温度の上昇を抑える人工芝の選定を計画します。

スポーツ環境の整備

体育施設備品等整備事業	施設備品の適正な維持管理をするとともに、体育施設利用者のスポーツに対する熱意の向上と安全性の確保を図るため、必要な備品等を整備するものです。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
スポーツ振興課	984	1,672	6,597	8,000	8,000	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
				屋外型AED収納ボックス設置率（%）	100	100	100

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 令和6年6月末までに備品購入を図り、利用者の利便性向上を図りました。	・現状 流山スポーツフィールドA面の備品は、土のグラウンドに合わせた備品が用意されています。
・評価 老朽化していたバレーボール支柱やコートブラシ等のグラウンド整備器具を購入することができ、利用者の利便性向上を図れました。	・課題 人工芝化に伴い、これまで利用していたコーナーフラッグ等が利用ができなくなることから、施設に合った新たなスポーツ備品が必要です。
・課題に対する改善点 バレーボール支柱は設置から34年が経過しており、速やかに更新する必要がありました。また、グラウンド整備用の器具がないことにより、グラウンド整備の改善が図れないことから速やかに購入しました。	・取組 置敷式コーナーフラッグの購入のほか、観覧ステージや日除け付きベンチを購入します。

主管部局　まちづくり推進部 施策の目的　市民に潤いと安らぎを与える緑の保全・創出に取り組む

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
人口１人当たりの都市公園面積	都市計画現況調査（国土交通省）	5.21	5.17	5.13	㎡	↑
市内は緑が豊かで潤いがあり、緑とのふれあいに満足していると思う市民の割合	「満足している」「どちらかといえば満足している」「普通」と回答した割合（まちづくり達成度アンケート）	86.5	85.5	82.7	%	↑

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 みどりの保全については、公園緑地の維持管理に加え、既存公園の遊具更新や市民の森等の保全に向けた取り組みを進めました。また、みどりの創出については、区画整理事業の進捗に合わせた公園整備を進めるとともに、まちなかへの植栽を行いました。	・現状 公園・緑地・街路樹の維持管理や点検を行い、公園等利用者の安全性の向上を図るとともに、魅力ある公園施設を整備します。また、開発等により失われつつある市内のみどりについて、各種制度や手法を用いて保全・創出を行います。
・評価 公園や緑地、街路樹の適切な維持管理により、多くのみどりの保全を行うとともに、公園施設の点検や更新を行い、安全性の向上を図ることができました。	・課題 維持管理のさらなる効率化や迅速化を図る必要があります。また、街中のみどりを確保するため、近年の異常気象への柔軟な対応や、地権者や関係機関との円滑な協議を進める必要があります。
・改善点 近年の異常気象を踏まえ、樹木剪定や倒木への措置、植栽箇所の基盤整備などにより、適切な維持管理を行いました。また、維持管理システムを導入し、事務の効率化や措置対応の迅速化を図りました。	・取組内容 みどりの保全については、維持管理の効率化を進めるとともに、樹木管理や公園施設の点検・更新等、公園・緑地等の適切な維持管理に努めます。みどりの創出については、運動公園をはじめとした市内公園の整備を進めるとともに、民間事業者との連携による賑わいの創出に向けた準備を進めます。

みどりの保全

まちなか森づくり事業

まちなかのみどりを創出するため、計画的に街路樹植栽や公共スペースへの植栽を行うとともに、新規住宅や民間施設等への緑化啓発により「流山グリーンチェーン戦略」を推進し、緑視率が高く、みどり豊かな街並みの形成に取り組みます。
※本事業は、グリーンチェーン認定レベル2に該当する緑化率12%を目標としています。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
みどりの課	16,300	12,958	3,299	5,000	0	5,000

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
グリーンチェーン認定による敷地内の緑化率（緑化面積／敷地面積×100%）（%）	19.53	11.50	12.00				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 令和5年度に引き続き、小山小学校前の街路樹植栽を行いました。また、南流山地区街路樹の植栽工事を行いました。さらに、グリーンチェーン認定取得促進のため、事業者への丁寧な指導を行いました。	・現状 まちなかの緑視率向上に配慮し、街路樹を健全な状態に保ちます。また、グリーンチェーン取得促進に向けた事業者への指導を行います。
・評価 グリーンチェーン認定による緑化率が目標を下回る結果となりました。	・課題 近年の異常気象や維持管理面を考慮し、植栽の種類を選定する必要があります。また、グリーンチェーン認定による敷地内の緑化率を向上させる必要があります。
・課題に対する改善点 近年の異常気象や、維持管理面を考慮し、植栽の種類を選定しました。	・取組 街路樹の植え替え等について、周辺環境や近年の気候に配慮した樹種を選定します。また、グリーンチェーン認定取得促進のため、事業者への丁寧な指導を行います。

みどりの保全

良質なみどりの拠点保全事業

土地所有者から借り受けている市民の森等について保全に向けた取り組みを進めるとともに、自然に触れながら散策等をできるよう、園路等の施設整備を行います。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
みどりの課	228,190	27,022	3,299	6,025	4,900	1,125

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
				公園緑地で憩い安らげると感じている市民の割合（%）	80.9	80.8	89.9

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 向小金ふれあい公園の改修工事、及び三輪野山散策の森の整備工事を行いました。また、市民の森の保全に向けた取り組みを進めました。	・現状 市民の森や借地公園の保全に向け、地権者との話し合いを継続するとともに、安全で快適に利用いただけるよう、環境整備を行います。
・評価 向小金ふれあい公園の改修工事及び三輪野山散策の森の整備工事を行い、より快適な公園等の利用が可能となりました。また、市民の森の保全に向けた取り組みとして、用地取得に向け、不動産鑑定を行いました。	・課題 市民の森や借地公園の地権者との良好な関係を継続する必要があります。
・課題に対する改善点 市民の森や借地公園の地権者と協議の回数を増やし、良好な関係の継続に努めました。	・取組 運河散策の森の整備工事を行います。また、市民の森の保全に向けた用地取得等の取り組みを継続します。

みどりの保全

みどりを支える人づくり事業	みどりを守り、育てる人材を育成するため、ボランティア育成や緑化に係る各種講習会やオープンガーデンの支援を実施し、本市の魅力づくりに市民と協働で取り組みます。						
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源	
みどりの課	921	796	13,194	868	180	688	
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
講習会の開催回数（回）	9	9	9	講習会への参加人数（人）	201	174	230

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 緑化に関する講習会を今年度も合計9回開催しました。また、オープンガーデンの開催を支援しました。	・現状 市民と協働でみどりの維持管理を行うため、緑化に関する講習会を今年度も開催し、市民の緑化意識の向上を図ります。
・評価 緑化に関する講習会を開催し、様々なかたちでみどりを担う人材の育成に努めました。また、オープンガーデンの支援により、多くの来訪者が訪れました。	・課題 講習会受講者が新たにボランティアとして定着せず、また、講習会の内容によって、応募者が定員に達さない講習会があります。
・課題に対する改善点 みどりの保全、創出、活用を適切に行うため、みどりを担う人材の育成と、里山保全ボランティアの定着に努めました。	・取組 講習会のテーマを工夫し、参加者数の増加に努めます。また、オープンガーデンの開催を支援します。

みどりの創出

新たな賑わい空間創出事業	つくばエクスプレス沿線の土地区画整理事業の進捗に合わせて、都市施設として必要な公園施設の整備を実施します。						
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源	
みどりの課	30,428	69,933	6,597	128,510	128,510	0	
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
				公園緑地で憩い安らげると感じている市民の割合（%）	80.9	80.8	89.9

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 総合運動公園の西側駐車場整備工事、植栽工事を行いました。また、総合運動公園における整備運営事業者（Park-PFI及び指定管理の事業の実施者）の募集を行い、公園全体の活性化につながる賑わいの創出に向けた準備を行いました。	・現状 土地区画整理事業の進捗に合わせて、良好な住環境の提供が求められており、地域のニーズに合わせた公園施設整備を行っています。
・評価 総合運動公園の再整備により、利便性と魅力が向上しました。また、総合運動公園における整備運営事業者を決定しました。	・課題 土地区画整理事業者及び総合運動公園整備運営事業者とともに、公園全体の活性化につながる賑わいの創出に向けた準備を確実に進めていく必要があります。
・課題に対する改善点 土地区画整理事業の進捗により、公園緑地整備時期の変更に柔軟に対応するため、土地区画整理事業施行者と密に協議を行い、情報を共有しました。	・取組 総合運動公園の再整備として電気設備の更新工事を行います。また、総合運動公園における整備運営事業者とともに、賑わいの創出に向けた準備を計画的に行います。

みどりの創出

安心安全な公園づくり事業	既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検・補修・更新を行い利用者の安全性・利便性の向上を図ります。						
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源	
みどりの課	151,136	144,588	13,194	130,509	129,589	920	
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
安全点検実施率（安全点検を実施した公園件数÷安全点検対象公園件数）（%）	100	100	100	公園緑地で憩い安らげると感じている市民の割合（%）	80.9	80.8	89.9

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 既存公園の遊具をはじめとした公園施設の安全点検を行いました。また、公園施設長寿命化計画に基づき、既存公園施設の改修を行いました。さらに、公園維持管理システムを構築し、事務の効率化を進めました。	・現状 既存公園の遊具をはじめとした公園施設の安全点検・補修・更新を行っています。また、既存公園の遊具等の新設・更新を行っています。
・評価 既存公園の遊具をはじめとした公園施設の安全点検、補修を行い、公園利用者の安全性を確保しました。また、公園維持管理システムの構築により、事務の効率化を図りました。	・課題 公園を安全・快適に利用していただくため、老朽化している遊具施設等の補修を計画的に行う必要があります。
・課題に対する改善点 公園を安全・快適に利用していただくため、老朽化している遊具施設等の補修を計画的に行いました。	・取組 既存公園の遊具をはじめとした公園施設の安全点検及び、公園施設長寿命化計画に基づき、既存公園施設の改修を行います。また、公園維持管理システムを活用し、さらなる事務の効率化及び措置対応の迅速化を図ります。

生物多様性の保全・回復

生物多様性地域戦略推進事業	生物多様性ながれやま戦略（第二期）に基づき、各重点拠点のモニタリング調査、植樹事業、市の鳥に関する事業等を行うことにより、市民への生物多様性に関する啓発を行います。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
環境政策課	2,451	2,472	13,194	2,330	187	2,143

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
生物多様性啓発イベントの実施回数（回）	-	3	4	生物多様性啓発イベントの参加者数（人）	-	73	130
				グリーンウェイブ・「トラックの森づくり」事業による植樹本数（本）	118	74	190

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 グリーンフェスティバルや生物多様性シンポジウム、植樹事業の実施等を通じて、幅広い世代に対して生物多様性の重要性について啓発を実施しました。	・現状 生物多様性の啓発を行うほか、生物多様性ながれやま戦略の改定を進めています。
・評価 グリーンフェスティバルや生物多様性シンポジウム、植樹事業等を通じて、生物多様性の価値や重要性について環境学習を行い、特に小学生や中学生等の若い世代にも生物多様性を身近に感じてもらう機会を創出することができました。	・課題 グリーンフェスティバルや生物多様性シンポジウム、植樹事業等の実施により、生物多様性の啓発に一定の効果を挙げる一方、住宅都市として人口増加、都市化を続ける市の姿勢とのバランスを考慮した周知が必要です。
・課題に対する改善点 効果的や生物多様性の保全、豊かな自然環境の創出に向けた取り組みを検討するため、生物多様性ながれやま戦略の改定に着手しました。	・取組 本年度中の生物多様性ながれやま戦略の改定を予定しており、住宅都市として発展を続ける本市に合った目標や取り組みの設定を検討します。

主管部局　まちづくり推進部 施策の目的　地域の特性を活かした魅力ある街並みを創出する

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
これからも流山市に住み続けたいと思う市民の割合	「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	91.2	91.2	90.5	%	↑
利用している駅及び駅周辺の整備や利便性に満足している市民の割合	「満足している」「やや満足している」「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	74.5	74.0	71.7	%	↑
自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	62.4	65.1	64.1	%	↑

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 千葉県が施行する運動公園周辺地区については、主要となる幹線道路整備の促進を図りました。江戸川台駅東口周辺地区については、用地の取得にあたり丁寧な説明を行いました。本市の景観形成への理解や興味を抱いていただけるよう、景観計画の周知・啓発を行いました。	**・現状** 千葉県が施行する運動公園周辺地区については、引き続き主要となる幹線道路整備の促進を図っています。江戸川台駅東口周辺地区については、用地の取得にあたり丁寧な説明を行っています。
・評価 千葉県が施行する運動公園周辺地区については、地権者との交渉の際に、市も協議の場に同席するなどし、地権者に寄り添った対応を行いました。	**・課題** 土地区画整理事業の早期事業完了を目指し、千葉県と協力して地権者の合意形成を図ります。千葉県が施行する運動公園周辺地区については、引き続き主要となる幹線道路整備の促進を図っています。江戸川台駅東口周辺地区では、用地の取得にあたり、関係権利者の理解を得る必要があります。
・改善点 土地区画整理事業の早期事業完了を目指し、千葉県と協力して地権者の合意形成を図りました。江戸川台駅東口周辺地区では、用地の取得にあたり、関係権利者の理解を得るため、丁寧な説明を行いました。良好な景観を維持・誘導していくため、流山市景観計画の周知や啓発を行いました。	**・取組内容** 千葉県が施行する運動公園周辺地区については、引き続き千葉県と協力し、地権者の合意形成を図ります。江戸川台駅東口周辺地区については、用地の取得にあたり継続的に丁寧な説明を行います。

つくばエクスプレス沿線整備の促進

運動公園周辺地区一体型 特定土地区画整理負担事業

県との費用負担協定に基づき、運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業に係る対象額の2分の1を負担します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
まちづくり推進課	875,536	419,685	5,315	1,209,979	1,153,100	56,879

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
面積ベース進捗率（%）	47.5	48.4	51.4	駅及び駅周辺の整備や利便性への満足度（%）	40.0	39.4	41.4

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 主要となる幹線道路を中心に整備の促進を図りました。	**・現状** 千葉県が実施する運動公園周辺地区の土地区画整理事業について、費用負担協定に基づき費用を負担（2分の1）し、事業の促進を図ります。
・評価 令和6年度末の進捗は、面積ベースで約48%となりました。	**・課題** 早期事業完了を目指し、千葉県と協力して地権者の合意形成を図ります。
・課題に対する改善点 早期事業完了を目指し、千葉県と協力して地権者の合意形成を図りました。	**・取組** 主要となる幹線道路を中心に整備の促進を図ります。

市街地のまちづくり

南流山駅周辺市街地再整備事業

南流山駅周辺の低未利用地の高度利用化と良質なまちなみの誘導などにより、南流山駅周辺の魅力を高め、本市の南の玄関口に相応しいまちづくりを進めるもの。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
まちづくり推進課	0	3,795	6,597	18,019	0	18,019

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
				駅周辺の住み心地の良さの満足度（%）	-	88.38	89.00
				商業・業務系用途の新築数（件）	-	5	5

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 南流山駅周辺の良質なまちなみづくりを促進するため、南流山駅周辺地区まちなみづくり促進奨励金制度を創設しました。	**・現状** まちなみづくり指針の「指針1」及び「指針2」に掲げる土地の高度利用化や良質なまちなみの誘導に関して、まちなみづくり奨励金制度を創設し、取組を実施しています。
・評価 奨励金制度について、具体的な建築プランに基づく相談を複数受けました。	**・課題** まちなみづくり指針における「指針3」に関する具体的な取組が求められます。
・課題に対する改善点 奨励金制度について地元権利者や事業者に対し、制度活用に繋がるよう周知を行いました。	**・取組** 指針3に対する具体的な取組として、地区内に点在する空き店舗などの既存建築物の活用による新たな事業の創出や、不動産オーナーとまちづくりの担い手が引き合うきっかけづくりを行います。

市街地のまちづくり

建築確認台帳システム構築事業	昭和38年から平成28年までの紙の建築確認台帳及び建築計画概要書、約7万7千件分を電子化し、建築行政共用データベース及び統合型GISのシステムに組み込むことで、効率的な運用を行います。						
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源	
建築住宅課	112,870	109,087	13,194	180,710	178,015	2,695	
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
				建築計画概要書等の電子化件数（件）	-	41,984	48,000

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 昭和38年から平成28年までの建築確認台帳及び建築計画概要書に関する情報を電子化するにあたり、平成5年以降のものを電子化しました。	・現状 昭和38年から平成28年までの建築確認台帳及び建築計画概要書に関する情報を電子化するにあたり、平成4年以前のものを電子化します。
・評価 膨大な数の建築計画概要書等を適切に電子化することに取り組めました。	・課題 令和7年度は、より古い紙ベースのものを電子化するため、情報の精査がより必要になります。
・課題に対する改善点 建築計画概要書等が紙ベースで保管されているため、スキャニング、データ入力、位置特定及びシステム設定等を行い一部の電子化を完了させました。	・取組 令和6年度と同様に建築計画概要書等の電子化を適切に行うとともに、令和8年度以降適切な運用とするため統合型GISの保守点検を計画する必要があります。

市街地のまちづくり

江戸川台駅東口周辺地区再整備事業	駅利用に合った広場の改修やジェトロ跡地の活用した周辺公共施設の再配置など、再整備を行います。						
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源	
まちづくり推進課	215,865	591,004	26,388	300,289	266,494	33,795	
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
地元組織等のイベント実施回数（回）	7	7	7	駅周辺の住み心地の良さの満足度（%）	96.66	89.10	96.66
				駅及び駅周辺の整備や利便性への満足度（%）	36.57	33.30	37.00

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 駅前広場拡幅における用地取得にあたっては、契約締結に向け、関係権利者に対して丁寧な説明を行いました。商店街通りの歩行者優先道路化に向け、地元住民の意向把握に努めました。	・現状 駅前広場のロータリー部分の設計が終了したことや、商店街通りの整備方針が概ね定まったことから、今後、広場部分及び商店街通りの設計に着手していきます。
・評価 駅前広場については、関係権利者に対して丁寧な説明を行い、契約締結及び関係権利者による物件の解体等が円滑に行われました。商店街通りについては、地元住民の意向を踏まえた整備の方針が概ね定まりました。	・課題 駅前広場、商店街通り及びジェトロ跡地といった主体者の異なる施設のデザインに統一感を持たせる必要があります。
・課題に対する改善点 今後取得を予定している関係権利者についても引き続き理解が得られるよう丁寧な説明を行うとともに、全体の工程に遅れが生じないよう工程管理を徹底する必要がありました。	・取組 統一感のある駅前空間となるよう、各施設の設計者同士の調整の機会を設けます。

景観形成の促進

流山おおたかの森駅周辺まちなみづくり事業	流山おおたかの森駅センター地区道路歩行者の快適性・回遊性を高めるため、道路改修工事を実施します。						
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源	
まちづくり推進課	4,000	230,969	6,597	8,000	0	8,000	
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
事業進捗率（事業費ベース：%）	40.01	65.81	66.70	良好な市街地の形成・維持されていると感じている市民の割合（%）	82.7	83.7	86.0

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 市道29024号線の工事が完了しました。	・現状 市道40137号線整備に向けて、交通量調査や実態調査と関係機関協議を進めます。
・評価 市道29024号線について、歩行者等の安全性を確保しながら工事を完了し、安全な歩行空間や休息の場の確保と更なる賑わいを創出を図りました。	・課題 市道40137号線の交通実態を踏まえた、支障のない一方通行化の整備方針を検討します。
・課題に対する改善点 市道29024号線一方通行化工事が年度末に完成したため、令和7年度早期に歩行者や車両の交通影響等を把握するための準備を行いました。	・取組 市道29024号線の調査と解析、市道40137号線の方針を検討します。

景観形成の促進

景観形成推進事業	本市の良好な景観を形成するため「流山市景観計画」に基づき指導・誘導及び啓発を行います。また、良質なまちづくりの推進に向けた景観ワークショップを開催し、市内の良好な景観の周知を行います。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
都市計画課	535		561	26,388	467	0	467
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
景観条例第11条に基づく事前協議件数（件）	227	246	200	良好な市街地が形成・維持されていると感じている市民の割合（%）	82.7	83.7	86.0
景観賞の応募件数（件）	19	-	10	自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合（%）	65.1	64.1	65.0

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 建築計画や開発計画における景観協議を行いました。景観ワークショップを開催し、市内の良好な景観の周知を行いました。	・現状 土地区画整理事業区域内を中心に、建築行為や開発行為が見込まれることから、年間200件程度以上の事前協議が想定されます。
・評価 景観ワークショップに約200人が参加され、市内の良好な景観の周知を行うことができました。	・課題 良好な景観を維持・誘導していくため、引き続き流山市景観計画の周知や啓発を図る必要があります。
・課題に対する改善点 景観協議や景観ワークショップにより、流山市景観計画の周知や啓発に努めました。	・取組 建築計画や開発計画における景観協議に加え、景観ワークショップを開催し、市内の良好な景観の周知を行います。景観賞の選定を行い、市民意識の高揚を図ります。

景観形成の促進

広告物等推進事業	良好な景観の形成、風致の維持、公衆に対する危害防止のため、広告物等について適正な規制と啓発に努めます。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
都市計画課	2,577		2,088	26,388	2,853	1,990	863
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
流山市広告物条例第11条に基づく許可申請件数（件）	171	137	200	良好な市街地が形成・維持されていると感じている市民の割合（%）	82.7	83.7	86.0
屋外広告物法第7条に基づく簡易除却件数（件）	629	408	400	自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合（%）	65.1	64.1	65.0

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 条例の規制内容の周知を図るとともに、景観を阻害する要因となる違反広告物や公衆に危害を及ぼすおそれのある広告物等については、条例の主旨を理解いただけるよう指導しました。	・現状 条例の規制について、多くの広告主及び広告事業者に、規制内容を周知することができています。
・評価 条例に適合するよう是正され、市内の景観に配慮された広告物が掲出されてきました。	・課題 本市になじみの少ない広告事業者に、引き続き、規制内容の周知が必要です。また、条例の規制に適合しない広告物の是正が必要です。
・課題に対する改善点 広告物ルールブックを活用し、本市になじみの少ない広告事業者に、丁寧に規制内容を説明し、周知を行うことができました。	・取組 規制内容の周知を図るとともに、景観を阻害する要因となる違反広告物や公衆に危害を及ぼすおそれのある広告物等については、条例の主旨を理解いただけるよう指導してまいります。

主管部局　土木部　　施策の目的　安全で円滑に移動できる道路網と道路環境を整備する

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
快適に移動できる道路網が整備されていると思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	73.0	73.3	69.9	%	↑
都市計画道路の整備率	道路建設課	73.2	73.9	73.9	%	↑

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 安全性や利便性などを考慮した生活道路の整備を推進しました。交通の集中する交差点対策の推進を図りました。流山市自転車ネットワーク計画に基づき、自転車通行空間の整備を進めました。また、安全な道路機能を維持するため計画的かつ効率的な予防保全型の道路補修に努めました。	・現状 人口増加や巨大物流施設の建設等に伴う交通量の増加により、一部幹線道路の交差点部においては、交通が集中する時間帯があります。また、交通量の増加により舗装の劣化の進行に注視する必要があります。
・評価 安全で円滑に移動できる道路網が望まれることから、名都借跨線橋道路拡幅改良事業等の主要事業を計画的に実施し、安全で円滑な道路網の整備に努めました。今後も、引き続き計画的な事業進捗に向けて努めてまいります。	・課題 引き続き、歩行者や自転車利用者が、より安全に安心して快適に移動できるよう、人にやさしい道路環境の形成を図る必要があります。また、事業計画の周知を積極的に行い、工事エリアの安全対策を図る必要があります。
・改善点 歩行者や自転車利用者が、より安全に安心して快適に移動できるよう、人にやさしい道路環境の形成に努めました。	・取組内容 安全性や利便性などを考慮した生活道路の整備を推進します。交通の集中する交差点対策の推進を図ります。流山市自転車ネットワーク計画に基づき、自転車通行空間の整備を進めます。また、安全な道路機能を維持するため計画的かつ効率的な予防保全型の道路補修に努めます。

円滑に移動できる道路整備

都市計画道路３・４・９号 南流山名都借線道路改良事業

都市計画道路3･4･9号南流山名都借線（市道106号線）において、千葉県が施行する運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業区域界から富士見橋までの区間、約400mの道路拡幅改良工事を行うことで、市内の円滑な移動や通学児童の安全が確保されます。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
道路建設課	15,210	31,145	2,786	128,061	115,735	12,326

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
				整備率（%）＝執行済み事業費（円）÷全体事業費（円）×100	23.43	27.51	47.82

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 道路予定地北側の用地買収、物件移転補償、分筆登記を実施しました。	・現状 南側の路体築造工事を進めています。 路体完成後、道路改良工事と電柱移設を行う予定です。
・評価 地権者に現在の使用状況と今後の土地利用計画等を伺いながら進めました。	・課題 地権者の土地利用状況に配慮しながら工事を行う必要があります。
・課題に対する改善点 詳細設計にて現場状況調査に基づいた工法検討を進めました。	・取組 沿線の土地利用に配慮するとともに、安全を確保しながら工事を進めてまいります。

円滑に移動できる道路整備

都市計画道路３・２・２５号 下花輪駒木線道路改良事業

三郷流山橋有料道路の交通需要を考慮した広域道路が完成する・道路ネットワーク拡充に伴い、市内の円滑な移動が可能となる・道路利用者（歩行者）の安全が確保されます。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
道路建設課	86,900	35,024	3,299	169,690	152,600	17,090

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 千葉県による道路建設について、地元調整等の事業協力を行い事業を推進しました。三郷流山橋の側道環境緑地帯や県道歩道植栽帯への植栽工事に着手しました。	・現状 関連工事について流山市ができる調整、協力を行っていきます。
・評価 千葉県と調整を図り事業を進めました。	・課題 事業の実施にあたり沿線住民等へ配慮する必要があります。
・課題に対する改善点 地元からの要望について協議を重ね対応しました。	・取組 地元の要望等を聞いて千葉県に対応を依頼します。

円滑に移動できる道路整備

名都借跨線橋道路拡幅改良事業	緊急時の大型車両通行や歩行者及び自転車の安全な通行を確保するため、名都借跨線橋を含む当該路線延長325m区間において、車両の相互通行が可能となるよう拡幅改良を行い、周辺地区における通行の円滑化と安全を図ります。						
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源	
道路建設課	362,963	334,195	13,194	296,772	267,370	29,402	
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
				整備率（%）＝執行済事業費（円）÷全体事業費（円）×100	55.0	60.8	75.0

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 向小金2丁目側の車道橋対面通行が可能となりました。工事箇所が向小金1丁目側に移るため、「名都借跨線橋だより」の発行と工事説明会を開催し、地域への周知を行いました。	・現状 現在、向小金1丁目側北小金駅方の既設橋の撤去が完了し、新しい車道橋の設置工事を進めています。 今後は向小金1丁目側南柏駅方の既設橋を撤去し、新設車道橋の工事を進める予定です。
・評価 計画どおり工事は進捗しています。	・課題 工事範囲が変わることによる通行止めの交通規制が伴うため、周知及び安全対策が必要となっています。
・課題に対する改善点 工事エリア内に、工事用信号機及び交通誘導員を配置し、安全対策を講じました。また、歩行者が安心して通行できるよう区画線の設置等、安全対策を講じました。	・取組 案内看板の設置や「名都借跨線橋だより」にて工事内容を周知します。また、現地に工事用信号機の設置など必要な対策を講じるとともに、現場状況を注視しながら必要な対策を講じます。

円滑に移動できる道路整備

区画道路改良事業	市内にある狭隘道路において、拡幅用地として寄付を受けた道路の整備や、その他の改良を行い、地域住民の通行の安全及び生活環境の向上に寄与するものです。					
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
道路建設課	732,480	571,028	26,388	177,037	159,770	17,267

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 西深井、東深井、向小金1･2丁目、中野久木、大畔、大字鰭ケ崎、西平井等の事業箇所において、工事説明会の開催や沿線地権者等への個別説明を行い、工事、設計、測量、用地取得等を進めました。	・現状 各事業箇所における沿線地権者等に丁寧な事業説明を行い、工事や測量、用取得等を進めていきます。
・評価 各事業地区の沿線地権者等に事業概要を説明し事業を進めました。	・課題 引き続き、沿線地権者等に事業への協力を得るため丁寧な対応が求められます。
・課題に対する改善点 沿線地権者等に丁寧な事業説明を行い、事業への協力を求めました。	・取組 事業目的の達成を目指すとともに、沿線地権者等に配慮しながら事業を進めます。

円滑に移動できる道路整備

東小学校前通学路道路拡幅整備事業	東小学校の通学路として安全を確保するため、歩道幅員を拡幅し、歩行者の通行に配慮した道路整備を提供するものです。						
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源	
道路建設課	0	22,720	1,320	125,876	119,390	6,486	
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
				整備率（%）＝執行済事業費（円）÷全体事業費（円）×100	68	74	85

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 対象箇所の詳細設計、用地測量及び物件調査を実施しました。	・現状 用地測量、物件調査の成果をもとに工事に必要な用地の取得が必要です。
・評価 現況の道路状況や周辺環境など、充分な把握に努めました。	・課題 沿線地権者等に事業への協力を得るために丁寧な対応が求められます。
・課題に対する改善点 測量、調査の際に協力をいただくため、沿線地権者等に対して丁寧な説明を行う等の対応を行いました。	・取組 事業目的の達成のため、沿線地権者等に配慮しながら事業を進めます。

円滑に移動できる道路整備

自転車ネットワーク整備事業	自転車ネットワーク計画に基づき、公共施設及び鉄道駅等を結ぶ都市計画道路を中心に自転車通行空間整備を行い、自転車及び歩行者の安全性、快適性、利便性の向上を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
道路建設課	23,020	22,330	1,320	5,522	0	5,522

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
				整備率（%）＝市施工済延長（m）÷市施工延長（m）×100	17.0	23.6	24.5

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 自転車ネットワーク計画に基づく、自転車通行空間の整備を行いました。	・現状 自転車ネットワーク計画の内、令和6年度に約4.4kmを整備しました。 令和7年度は0.7kmの整備を予定しています。
・評価 近隣市の整備状況を考慮し、整備を進めました。	・課題 現地の交通状況や路面状況、並びに周辺環境など、十分な把握が必要です。
・課題に対する改善点 現地の交通状況や路面状況、並びに周辺環境など、十分な把握に勤めました。	・取組 自転車ネットワーク計画に基づく、自転車通行空間の整備を行います。

円滑に移動できる道路整備

都市計画道路３・４・８号 美田駒木線道路改良事業	都市計画道路3･4･8号美田駒木線のうち、未整備である約100m区間において、道路の改良事業を行い、周辺地区における通行の円滑化と安全を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
道路建設課	189,763	96,069	1,320	1,610	0	1,610

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
				整備率（%）＝執行済み事業費（円）÷全体事業費（円）×100	13.25	88.16	88.87

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 用地取得及び補償契約が完了しました。	・現状 沿線地権者等の土地の使用に配慮しながら、取得した用地の管理と樹木伐採を行います。
・評価 沿線地権者等の土地利用に配慮しながら進めました。	・課題 上下水道局で雨水函渠工事を実施するため、時期調整しながら事業を実施する必要があります。
・課題に対する改善点 沿線地権者等の土地利用に配慮し、丁寧に協議・説明を行いました。	・取組 上下水道局と協議し、沿線地権者等の土地利用について配慮します。

安全で快適な道路環境の確保

道路維持補修事業	道路や道路附属施設を適切に管理し、道路使用者の安全性を高め、健全な道路環境を保全します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
道路管理課	514,000	540,748	26,388	545,282	401,140	144,142

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
道路舗装補修延長（m）	6,141	5,394	5,960	情報提供および要望件数（件）	1,815	3,390	2,000
情報処理件数（件）	404	294	280	快適に移動できる道路網が整備されていると思う市民の割合（%）	75	77	80

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 過去の道路補修工事のデータを再点検し、効率的な予防保全型の補修を実施します。	・現状 舗装修繕計画に則り、補修対象路線の舗装修繕を実施しています。 また、その他自治会や市民からの情報提供により、舗装の状態の確認を行い必要に応じた修繕等の措置を実施しています。
・評価 道路延長約5,390mの道路補修を実施しました。	・課題 現況交通を考慮した定期的な点検を実施し、より効率的な予防保全型の舗装管理計画の策定します。
・課題に対する改善点 重量車両の交通量増加に伴う、舗装の劣化進行度の変化や現況の交通に耐えうる舗装の補修方法の検討が必要となります。	・取組 補修対象箇所において、現況交通に応じた舗装構成等の見直しや設計・補修を実施していきます。

安全で快適な道路環境の確保

橋りょう補修事業	流山市が管理する橋梁の維持管理の適正管理に努め、通行の安全確保を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
道路管理課	17,470	30,099	26,388	76,940	41,656	35,284

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
橋りょう補修工事件数（件）	1	2	3				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 措置対象橋りょうの補修工事を実施します。	・現状 令和5年度に策定した橋りょう長寿命化計画に則って補修対象橋りょうの修繕を実施しています。
・評価 長寿命化計画においてIII判定を受けた橋りょう2橋の修繕を実施しました。	・課題 補修対象橋りょうの修繕実施率の向上が課題です。
・課題に対する改善点 補修対象橋りょうの工事発注時期の見直しや関係機関と密に協議を実施し、実施可能な工事件数を増やすことに努めます。	・取組 定期的な橋りょう点検を実施し、適正な管理に努めます。

主管部局　土木部　　施策の目的　大雨時の洪水氾濫・内水氾濫による被害を最小限に抑える

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
雨水幹線の整備延長	雨水幹線の整備延長（下水道建設課）	15.3	15.38	15.47	km	↑
水害による住家被害の棟数	過去3年間に発生した水害によって床上浸水した住家の棟数	0	0	0	棟	→

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 道路冠水対策として、おおたかの森西地区の雨水排水施設に着手しました。	・現状 台風や局地的大雨時に道路冠水が発生している箇所の解消が必要です。
・評価 こうのす台地区、江戸川台東地区の雨水排水施設が完了しました。	・課題 小規模な冠水を含み、市内に複数個所冠水が発生しています。
・改善点 桝つまりが起因する冠水もあるため、台風等大雨が予想される場合は、事前パトロールによる点検、清掃を実施しました。	・取組内容 道路冠水対策として、長崎地区、江戸川台西地区の雨水排水施設を整備します。

雨水排水施設の整備

地区内雨水整備事業	運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業の造成計画の推進状況に合わせ、雨水管を整備します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
下水道建設課	135,600	135,600	13,929	229,500	229,500	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
各年度の整備面積（ha）	0.13	0.09	0.44				
運動公園周辺地区内の雨水整備率（%）	47.5	48.4	49.3				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 土地区画整理施行者の千葉県と年度協定を締結し、運動公園周辺地区内の雨水排水施設を整備しました。	・現状 予定している雨水工事は、土地区画整理事業施行区域内での地権者等の調整があり予定通り進みません。
・評価 運動公園周辺地区内の雨水排水施設の整備が完了しました。	・課題 土地区画整理事業施行区域内の造成工事に合わせて雨水工事を行うため、造成工事の進捗状況により、大きく影響を受けます。
・課題に対する改善点 土地区画整理事業施行区域内の造成工事に合わせて下水道（雨水）を施工するため、造成工事の進捗状況により、大きく影響を受けるので、千葉県との連絡調整を密に行いました。	・取組 土地区画整理施行者である千葉県と連絡調整を行い、造成計画に応じた整備展開を図っていきます。

雨水排水施設の整備

雨水排水施設整備事業	浸水被害が発生している、又はおそれのある地域に雨水排水施設の整備を行います。 令和7年度　排水管整備（長崎）等 令和8年度　排水管整備等（東深井）等 令和9年度　排水管整備等

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
河川課	142,010	116,029	10,556	111,570	103,200	8,370

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
道路冠水対策に関する工事件数（件）	2	4	2	内水氾濫による床上浸水の棟数（棟）	0	0	0

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 道路冠水対策として、おおたかの森西地区の雨水排水施設に着手しました。	・現状 台風や局地的大雨時に道路冠水が発生している箇所の解消が必要です。
・評価 こうのす台地区、江戸川台東地区の雨水排水施設の整備が完了しました。	・課題 小規模な冠水を含み、市内に複数箇所冠水が発生しています。
・課題に対する改善点 桝つまりが起因する冠水もあるため、台風等大雨が予想される場合は、事前パトロールによる点検、清掃を実施しました。	・取組 道路冠水対策として、長崎地区、江戸川台西地区の雨水排水施設を整備します。

雨水排水施設の整備

流山排水機場改修事業	流山排水機場の排水能力を最大限活用できる施設改修を行います。 令和4年度　商用電源予備ルートの確保 令和5年度　商用電源予備ルートの確保、排水機場内の電気施設改修 令和6年度　除塵機の塗装工事

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
河川課	15,372	50,246	5,278	0	0	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
施設改修工事の件数（件）	1	1	-	工事の進捗率（%）	100	100	-

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 除塵機の塗装工事を行いました。	・現状 施設の老朽化が進んでいます。
・評価 除塵機の塗装工事が完了しました。	・課題 更新時期や整備補修・更新費用等の平準化・最小化を図るため、ストックマネジメント計画を策定し、計画的・効率的な維持管理が必要です。
・課題に対する改善点 除塵機の塗装劣化により排水機場の運転に支障が生じる前に塗装工事が完了しました。	・取組 排水機場の排水設備保守点検を行います。

河川環境の整備

河川等維持補修事業	河川施設等が適切な排水機能を維持できるように補修及び修繕を行います。 令和7年度　修繕工事等 令和8年度　修繕工事等 令和9年度　修繕工事等

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
河川課	27,578	26,894	4,618	31,227	0	31,227

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
河川施設の維持補修に関する工事件数（件）	2	3	2	憩いの場としての河川環境について満足している市民の割合（%）	81.9	78.5	80.0
維持管理システム導入による情報処理達成件数（件）	-	-	75	維持管理システム導入による平均対応日数（日）	-	-	6.5

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 効率的な補修を行い、水路や河川施設の適切な機能維持に努めました。	・現状 職員によるパトロールや施設点検により、河川施設の老朽箇所の早期発見に努めます。
・評価 各樋管の防護柵の補修を実施し、施設の破損等に起因した転落事故を未然に防ぐことができました。	・課題 河川施設の老朽化による補修の優先度を見極め、効率的に補修を行う必要があります。
・課題に対する改善点 補修対象の施設や住民からの要望が増加していることから、施設の健全度や補修の優先度を的確に見極め、限りある予算と人員で効率的に対応することができました。	・取組 引き続き効率的な補修を行い、河川施設の適切な管理に努めます。

河川環境の整備

利根運河エコパーク関連事業	利根運河の水質改善や利用者の利便性向上のため、河川空間を整備します。 令和5年度　飛び石橋とトイレ整備などの設計 令和6年度　飛び石橋などの工事 令和7年度　トイレ整備などの工事

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
河川課	58,410	15,550	6,597	42,000	33,300	8,700

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
事業に関する設計及び工事件数（件）	1	1	1	工事の進捗率（%）	-	15	100

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 飛び石橋整備工事の発注を行いました。	・現状 利根運河の利便性向上のため、トイレの設置工事を行います。
・評価 飛び石橋の整備工事を実施しました。	・課題 利根運河の利便施設の安全性及び景観の配慮に努めます。
・課題に対する改善点 利根運河の管理者である国土交通省江戸川河川事務所と適宜協議を進めました。	・取組 利根運河利用者及び近隣住民に配慮し、皆様の憩いの場となる水辺空間を創出します。

主管部局　上下水道局　　施策の目的　安全な水道水を安定的に供給するとともに、衛生的な下水道サービスを提供する

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
安全で良質な水道水が安定的に供給されていると思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	95.3	96.0	93.7	%	↑
公共下水道普及率	処理区域内人口÷行政区域内人口×100（下水道建設課）	93.3	93.7	94.3	%	↑

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 流山市下水道事業経営戦略の改定を行いました。公共下水道を約23ha整備しました。おおたかの森浄水場新設配水池築造工事を令和7年度の完成に向け施工しました。	・現状 浄水場の老朽化が進んでいます。公共下水道の既成市街地の普及率が94%を超え、令和7年度には汚水管の概成が達成される見込みとなりました。令和7年度からの流域下水道維持管理負担金の単価改定や物価上昇により、下水道事業の経営状況が悪化することが見込まれています。
・評価 下水道事業経営戦略を改定し、今後の工事予定や流域下水道維持管理負担金の単価改定をふまえ、財政シミュレーションを行った結果、下水道使用料の見直しを検討する必要があることが分かりました。下水道整備については、令和7年度の概成に向け計画的に整備を進めました。おおたかの森浄水場新設配水池築造工事は、令和7年度中の完成に向け工事を行いました。	・課題 老朽化が進む各浄水場の整備を計画的に実施する必要があります。既成市街地の概成が達成され、今後は、大規模災害に備え、既設下水道管路を計画的に改築していく予定です。また、下水道事業の経営状況の悪化に対応するため、適正な下水道使用料への改定が必要です。
・改善点 流山市下水道事業経営戦略の見直しは、令和6年度に予定されている流域下水道維持管理負担金の単価改定を見込んで見直しを行いました。下水道未整備区域は、狭隘道路や埋設物の錯綜、鉄道や国道の占用条件等、現場条件が困難であり、下水道整備に期間を要し、一部を翌年度に繰り越しました。おおたかの森浄水場には配水池が1池でありますが、安定供給や災害等のメンテナンスを考え、配水池の増設工事を行いました。	・取組内容 西平井浄水場水処理施設更新工事及びおおたかの森浄水場中央監視システム更新工事に着手します。公共下水道を計画的に整備するほか、若葉台団地汚水管改築工事を行います。また、流山市下水道料金の見直しに取り組みます。

安全な水道水の安定供給

ＴＸ沿線整備地区配水管拡張事業

TX沿線の土地区画整理事業に係る配水管拡張事業を実施します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
水道工務課	119,975	119,975	7,257	131,940	119,055	12,885

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
配水管布設延長（m）	1,319.6	1,971.2	2,005.0	整備率（%）	47.1	49.5	53.2

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 令和5年度の繰越工事として、令和6年度は1,971.2mの工事を行いました。	・現状 令和6年度末の整備率は49.5%です。
・評価 令和6年度末の整備率が49.5%になりました。	・課題 土地区画整理事業者の造成工事に併せて水道を施工するため、造成工事の進捗状況により、水道整備に影響を受けます。
・課題に対する改善点 土地区画整理事業施行区域内の造成工事の進捗に合わせながら、整備率の向上に努めました。	・取組 令和6年度の繰越工事と合わせて、令和7年度はL=2908.5mの工事を行う予定です。

安全な水道水の安定供給

老朽配水管等耐震化事業

配水管の耐用年数を50年と設定し、総延長約700kmある配水管を毎年2%ずつ更新し、耐震化率100%にすることを目標にしています。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
水道工務課	273,812	223,713	7,257	468,578	0	468,578

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
整備延長（m）	820.0	1,713.0	3,380.7	耐震管適合率（%）	63.1	64.0	66.0
				漏水発生件数（件）	354	343	300

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 令和6年度は、L=1,713.0mの老朽管改良工事を行いました。	・現状 令和6年度末の耐震性のある配水管の延長は、約456.4kmです。
・評価 令和6年度末の耐震化率が64.0%になりました。	・課題 管路更新計画に基づき、事業の進捗に努めます。関係機関協議等に時間を要することがあります。
・課題に対する改善点 管路更新計画に基づき、効果的な耐震性の向上に努めました。	・取組 令和7年度は、L=3,380.7mの工事を行う予定です。

安全な水道水の安定供給

主要配水管等耐震化事業

安全な水の安定供給のために、約50kmある主要配水管等を計画的に更新し、令和11年度までに耐震化率100%にすることを目標にしています。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
水道工務課	227,808	262,273	7,257	362,868	0	362,868

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
整備延長（m）	1,236.4	1,072.1	1,147.1	耐震化適合率（%）	56.8	57.9	58.8

令和6年度の取組みと評価・改善点

・取組

令和6年度は、L=1,072.1mの主要管改良工事を行いました。

・評価

令和6年度末の耐震化率は57.9%になりました。

・課題に対する改善点

管路更新計画に基づき、効果的な耐震性の向上に努めました。

令和7年度の現状・課題・取組み

・現状

令和6年度末の耐震性のある主要配水管等の延長は、約29.2kmです。

・課題

管路更新計画に基づき、事業の進捗に努めます。関係機関協議等に時間を要することがあります。

・取組

令和7年度は、L=1,147.1mの主要管改良工事を行う予定です。

安全な水道水の安定供給

上下水道料金徴収等業務委託事業

水道料金及び下水道使用料の徴収に係る水道メーターの検針から料金の収納に至る一連の業務を、包括的に民間事業者に委託し、効率的な上下水道事業の経営に努めます。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
経営業務課	168,168	168,168	7,917	168,168	0	168,168

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
給水契約件数（件）	89,453	91,146	92,800	不納欠損処理件数：水道料金（件）	207	168	150
下水道契約件数（件）	82,394	84,355	86,300	不納欠損処理件数：下水道使用料（件）	174	174	160

令和6年度の取組みと評価・改善点

・取組

滞納者への早期の段階での架電、臨戸訪問、呼出等による納付交渉を増加することにより、退去未納を事前に防止し、更なる収納率の向上に努めました。

・評価

滞納者への取組み及びスマホ決済サービスの浸透により、不納欠損処理件数は減少しました。

・課題に対する改善点

市外転居滞納者への督促、催促を行っていますが、収納までに至る件数は少なく、また、住民基本台帳に登録がない者の無断転出が増加しており、転居先の確認について困難を極めているため、早期に滞納者への対応をし、退去未納を事前に防止する取組を行いました。

令和7年度の現状・課題・取組み

・現状

人口の増加や公共下水道の供用開始区域の拡大により、水栓契約件数や下水道使用者が増加しています。

・課題

市外転居滞納者への督促・催促を行っていますが、収納までに至る件数は少なく、また、住民基本台帳に登録がない者の無断転出が増加しており、転居先の確認が困難を極めています。

・取組

滞納者への早期の段階での架電、臨戸訪問、呼出等による納付交渉を増加させることにより、退去未納を事前に防止し、更なる収納率の向上に努めます。

安全な水道水の安定供給

浄水場更新事業

令和7年度までにおおたかの森浄水場に新たに配水池を1池建設します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
水道工務課	806,500	303,630	13,194	562,870	393,700	169,170

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
おおたかの森浄水場配水池有効容量(m3)	10,500	10,500	21,000	配水池築造工事進捗率(%)	22.1	53.4	100.0

令和6年度の取組みと評価・改善点

・取組

配水池の躯体工事に着手しました。

・評価

配水池の基礎、底盤、側壁、歩廊工事が完了しました。

・課題に対する改善点

施工中の来庁者の安全に配慮し、庁舎と施工エリアをバリケードで区分しました。

令和7年度の現状・課題・取組み

・現状

昨年度から継続し工事を推進します。

・課題

昨年度から引き続き、施工中の来庁者の安全に配慮する必要があります。

・取組

令和7年度の完成に向けて工事を推進します。

安全な水道水の安定供給

浄水場中央監視システム更新事業	おおたかの森浄水場の中央監視システムを更新します。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
水道工務課	0		0	13,194	160,261	112,100	48,161
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
中央監視システム更新工事進捗率（%）	-	-	17.3	安全で良質な水道水が安定的に供給されていると思う市民の割合（%）	-	94	94

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 令和6年度は事業の実施がありませんでした。	・現状 これから工事に着手する段階です。
・評価 令和6年度は事業の実施がありませんでした。	・課題 既設システムの運転に配慮する必要があります。
・課題に対する改善点 令和6年度は事業の実施がありませんでした。	・取組 中央監視システム更新工事に着手します。

計画的な下水道事業の推進

地区内汚水整備事業	運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業の造成計画の進捗状況に合わせ、汚水管を整備します。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
下水道建設課	265,700		265,700	13,194	92,000	92,000	0
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
各年度の整備面積（ha）	4.97	0.09	5.91	下水道（汚水）整備率（%）	81.31	82.90	83.90

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 土地区画整理事業施行者の千葉県と年度協定を締結し、造成計画に応じた整備展開を図っていきました。	・現状 土地区画整理事業施行区域内での関係地権者等の調整があり、予定通り進みません。
・評価 前年度からの繰り越し事業により、今年度の工事は予定の半分以下でした。	・課題 土地区画整理事業施行区域内の造成工事に併せて下水道（汚水）を施工するため、造成工事の進捗状況により、大きく影響を受けます。
・課題に対する改善点 土地区画整理事業施行区域内の造成工事に併せて下水道（汚水）を施工するため、造成工事の進捗状況により、汚水管整備に影響を受けるので、千葉県との調整を行いました。	・取組 土地区画整理事業施行者の千葉県と連絡調整を密に行い、造成計画に応じた整備展開を図っていきます。

計画的な下水道事業の推進

江戸川左岸流域関連公共下水道整備事業	既成市街地における良好な生活環境を提供するため、下水道を整備します。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
下水道建設課	778,162		778,162	13,194	733,626	684,000	49,626
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
各年度の整備面積（ha）	19.64	13.72	6.53	公共下水道普及率（%）	93.70	94.29	95.50
各年度の整備延長（m）	3,115	3,074	2,132	公共下水道水洗化率（%）	93.72	94.16	95.00

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 令和6年度の公共下水道整備は、延長3,074mで面積13.72haを行いました。	・現状 業務の効率化を図り、公共下水道の整備を推進していきます。令和7年度工事を執行計画に沿って発注し、年度内完成を目指します。
・評価 令和6年度の公共下水道整備は、延長3,074mで面積13.72haを行いました。	・課題 令和6年度の繰越工事を早急に完成させる必要があります。
・課題に対する改善点 関係機関（ガス等）の調整に不測の日数を要したため、関係機関と再度調整を行った結果、繰越工事を順調に進めることができました。	・取組 令和7年度の公共下水道整備は、延長2,132mで面積6.53haを行います。

計画的な下水道事業の推進

手賀沼流域関連公共下水道整備事業	既成市街地における良好な生活環境を提供するため、下水道を整備します。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
下水道建設課	435,317		435,317	6,597	247,797	247,000	797
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
各年度の整備面積（ha）	9.51	15.04	-	公共下水道普及率（%）	93.70	94.29	95.50
各年度の整備延長（m）	2,428	3,975	-	公共下水道水洗化率（%）	93.72	94.16	95.00

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 令和6年度の公共下水道整備は、延長3,975mで面積15.04haを行いました。	・現状 業務の効率化を図り、公共下水道の整備を推進していきます。令和7年度工事を執行計画に沿って発注し、年度内完成を目指します。
・評価 令和6年度の公共下水道整備は、延長3,975mで面積15.04haを行いました。	・課題 令和6年度の繰越工事を早急に完成させる必要があります。
・課題に対する改善点 関係機関（ガス等）の調整に不測の日数を要したため、関係機関と再度調整を行った結果、繰越工事を順調に進めることができていました。	・取組 前年度以前に整備した舗装工事を行います。

計画的な下水道事業の推進

浄化槽設置事業	浄化槽計画区域において、単独処理浄化槽及び汲み取り便所から合併処理浄化槽へ転換します。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
下水道建設課	72,700		72,700	5,744	97,308	64,092	33,216
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
合併処理浄化槽の転換基数（基）	50	46	50	利根運河地区の普及率（%）	34.0	47.6	63.7
合併処理浄化槽の設置残数（基）	666	620	570				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 合併処理浄化槽の転換工事は、46基を行いました。	・現状 汚水適正処理構想による浄化槽計画区域において、単独処理浄化槽等が、約700基存在し、これらを合併処理浄化槽に転換する公共用水域の水質改善が急務となっています。
・評価 合併処理浄化槽の転換工事は、46基を行いました。	・課題 国、県、市の補助金を受け、転換工事を行うものですが、個人負担が50～60万円の相場であり、転換工事が進まない状況です。
・課題に対する改善点 国、県、市の補助金を受け、転換工事を行うものですが、個人負担が50～60万円の相場であり、転換工事が進まない状況から最大30万円を上乗せ補助することにより、転換基数の促進を図りました。	・取組 「利根運河等水質改善モデル事業（流山市浄化槽整備促進計画）」として最大30万円を上乗せ補助し、転換工事の加速化を図り、年間転換基数50基を行います。

計画的な下水道事業の推進

ストックマネジメント事業	下水道管路施設の計画的な維持管理、改築・更新を進めます。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
下水道建設課	186,500		186,500	9,896	448,738	382,000	66,738
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
点検延長（km）	5.25	5.20	11.50				
改築延長（km）	0.2	0.2	0.6				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 若葉台団地の改築工事の一部を実施しました。	・現状 公共下水道の管路総延長は、約590kmとなっています。50年以上経過した下水道管路は、旧コミュニティープラント地区となっています。
・評価 若葉台団地の改築工事240mを行いました。	・課題 老朽化した管路が年々増加傾向にあります。
・課題に対する改善点 老朽化した管路の割合が年々増加傾向にあり、計画的な点検・調査を行いました。	・取組 平和台団地等の管路点検及びカメラ調査を11.5km行います。

主管部局　まちづくり推進部 施策の目的　交通ネットワークの充実と利便性の向上を図る

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
公共交通に満足している市民の割合	「満足である」、「どちらかといえば満足」、「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	83.9	81.0	79.7	%	↑
市内鉄道駅の1日当たりの乗客数	市内各鉄道会社 ※数値は2021（R3）年度、2022（R4）年度、2023（R5）年度	152,367 ※	171,694 ※	184,851 ※	人	↑
流山ぐりーんバスの1日平均利用者数	まちづくり推進課	2,287	2,643	2,490	人	↑

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 つくばエクスプレス東京駅延伸については、早期実現に向け、沿線区市から首都圏新都市鉄道に対し要望書を提出したほか、期成同盟会を設立しました。初石駅施設整備については、自由通路及び橋上駅舎の整備を円滑に進めるため、東武鉄道と工程管理を共有する等、綿密な連携を図りました。流山ぐりーんバスについては、高齢者割引利用者の運賃の適正な運用を図りました。	・現状 つくばエクスプレス東京駅延伸については、早期実現に向け、沿線都県等に対し期成同盟会への参加を働きかけています。初石駅施設整備については、自由通路及び橋上駅舎の令和7年12月の供用に向け、工事を進めています。流山ぐりーんバスについては、運行継続に向け、収支率を注視するとともに需要確保策の検討に努めています。
・評価 つくばエクスプレス東京駅延伸については、期成同盟会の働きかけにより、茨城県及び沿線区市議会議長が同盟会に参加し、延伸実現に向け前進しました。初石駅施設整備については、東武鉄道と工程管理を共有することにより、計画どおり工事を進捗させました。流山ぐりーんバスについては、高齢者割引利用者の運賃を適正な大人運賃の収入として取り扱うことにより、収支率の改善及び次年度の運行継続を実現しました。	・課題 つくばエクスプレス東京駅延伸については、早期実現に向け、期成同盟会の組織力を強化し機運を高めることが重要です。初石駅施設整備については、自由通路及び橋上駅舎の供用に遅れが生じないよう、計画的に工事を進めることが必要です。流山ぐりーんバスについては、運行経費の上昇に対応するため、安定した収入の確保が必要です。
・改善点 つくばエクスプレス東京駅延伸については、首都圏新都市鉄道への要望活動に加え、期成同盟会を設立し、沿線区市の結束力及び沿線都県への働きかけを強化しました。初石駅施設整備については、東武鉄道及び施工業者と毎月の工程会議を実施しました。流山ぐりーんバスについては、高齢者割引利用者の運賃を、本来あるべき大人運賃として取り扱うこととしました。	・取組内容 つくばエクスプレス東京駅延伸については、引き続き沿線都県に対し期成同盟会への参加を働きかけ、期成同盟会の組織力強化と機運上昇を図るとともに、関係機関との意見交換や活発な要望活動等を行います。初石駅施設整備については、引き続き東武鉄道と工程管理を共有し、計画的な工事進捗を図ります。流山ぐりーんバスについては、毎月の収支率を注視し、運行継続基準を満たすような需要確保策の検討を行います。

広域交通ネットワークの充実

ＴＸ東京駅延伸促進事業

つくばエクスプレスの車両編成8両化・東京駅延伸の早期実現・通学定期乗車券の運賃引き下げについて、鉄道事業者等へ要望します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
まちづくり推進課	0	0	2,639	0	0	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
TX沿線都市での会議等の開催回数（回）	6	5	5	便利だと感じている駅利用者の割合（%）	74.0	71.7	72.0
				つくばエクスプレス線の駅の1日平均乗車人員（人）（数値は、R4年度、R5年度）	349,000	383,000	-

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 つくばエクスプレス沿線7市首長会議を通じ、車両編成8両化、東京駅延伸の実現に係る事業費や需要予測の調査実施、通学定期券の運賃引き下げを要望しました。東京駅延伸の早期実現に向け、沿線区市による期成同盟会を設立しました。	・現状 つくばエクスプレス沿線都市首長懇談会を毎年開催し、首都圏新都市鉄道に対し要望活動を続けています。沿線都県等に対し期成同盟会への参加を働きかけています。
・評価 首都圏新都市鉄道から前向きな回答が得られていません。茨城県及び沿線区市議会議長が期成同盟会に参加し、東京駅延伸の実現に向け前進しました。	・課題 首都圏新都市鉄道から前向きな回答が得られていません。期成同盟会の組織力を強化し機運を高めるため、沿線都県等の期成同盟会への積極的な参加が必要です。
・課題に対する改善点 沿線区市による期成同盟会を設立し、沿線区市の結束力及び沿線都県への働きかけを強化しました。	・取組 引き続き、沿線都県等に対し期成同盟会への参加を働きかけ、期成同盟会の組織力強化と機運上昇を図るとともに、関係機関との意見交換や活発な要望活動等を行います。

広域交通ネットワークの充実

初石駅施設整備事業

東武野田線初石駅の利便性を向上させるため、自由通路及び橋上駅舎並びに駅前広場の整備を行います。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
まちづくり推進課	728,321	979,171	3,299	997,200	532,324	464,876

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
事業進捗率（事業費ベース：%） ※自由通路及び橋上駅舎	7.2	47.7	100.0	便利だと感じている駅利用者の割合（%）	74.0	71.7	72.0
				初石駅の1日平均乗降人員（人） （数値はR4年度、R5年度）	17,628	18,482	-

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 自由通路及び橋上駅舎の工事を円滑に進めるため、東武鉄道と工程管理を共有する等、綿密な連携を図りました。	・現状 自由通路及び橋上駅舎の令和7年12月の供用に向け、工事を進めています。
・評価 東武鉄道と工程管理を共有し、計画どおり工事を進捗させました。	・課題 自由通路及び橋上駅舎の供用に遅れが生じないよう、計画的に工事を進めることが必要です。
・課題に対する改善点 東武鉄道及び施工業者と毎月の工程会議を実施しました。	・取組 引き続き東武鉄道と工程管理を共有し、計画的な工程進捗を図ります。

広域交通ネットワークの充実

鉄道設備整備補助事業	流鉄の踏切設備等の老朽化が進んでいることから、流鉄による設備投資を推進し、安全に運行できる環境を整えるため、流山市鉄道安全輸送設備事業補助金を支出し支援します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
まちづくり推進課	7,594	7,594	660	2,452	0	2,452

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
鉄道設備更新率（%） ※累計	31	50	62	便利だと感じている駅利用者の割合（%）	74.0	71.7	72.0

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 流鉄の修繕・更新計画に基づき、計画的に補助金を支出しました。	・現状 流鉄の踏切設備等の老朽化が進んでいます。
・評価 通信ケーブル更新や軌道修繕工事が一部完了し、輸送安全性が向上しました。	・課題 鉄道設備の更新工事等について金銭的な支援が必要です。
・課題に対する改善点 鉄道設備の更新工事等に対する補助金を継続しました。	・取組 流鉄の修繕・更新計画に基づき、計画的かつ継続的な補助金の支出に努めます。

地域公共交通ネットワークの充実

ぐりーんバス運行事業	鉄道を主軸とした流山市の公共交通体系に対応するため、駅と周辺住宅地を結ぶコミュニティバスを運行します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
まちづくり推進課	90,915	83,971	3,959	77,533	0	77,533

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
利用促進啓発活動回数（お散歩マップ・自治会回覧）（回）	-	-	1	流山ぐりーんバスの年間利用者数（人）	965,002	906,655	906,655
				収支率全ルート平均（%）	58.0	64.8	63.3

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 高齢者割引利用者の運賃の適正な運用を図りました。流山ぐりーんバス高齢者割引証を発行しました。	・現状 運行継続に向け収支率を注視するとともに、需要確保策の検討に努めています。
・評価 高齢者割引利用者の運賃を適正な大人運賃の収入として取り扱うことにより、収支率の改善及び次年度の運行継続を実現しました。高齢者割引利用時に必要な保険証の新規発行停止に先立ち、高齢者割引証を発行することにより、割引制度を円滑に継続させました。	・課題 運行経費の上昇に対応する安定的な収入を確保するため、需要確保策の検討が必要です。
・課題に対する改善点 高齢者割引利用者の運賃を、大人運賃として適正に取り扱うこととしました。	・取組 毎月の収支率を注視し、運行継続基準を満たすような需要確保策を検討します。

地域公共交通ネットワークの充実

地域公共交通活性化事業	地域にとって望ましい公共交通網の姿を明らかにするとともに、持続可能な公共交通網を形成するため地域公共交通計画を策定し、市内公共交通を持続可能な交通体系へと発展させていきます。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
まちづくり推進課	35,024	29,711	13,194	14,567	0	14,567

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
地域公共交通活性化協議会の開催回数（回）	10	8	8	公共交通に満足している市民の割合（%）	81.0	79.7	80.0

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 マタニティタクシー利用助成制度の申請を電子化するとともに、新たに産婦健診を助成対象としました。八木南団地及び流山本町における新たな移動手段の方向性を示し、地域住民及び交通事業者と協議・検討を行いました。	・現状 マタニティタクシー利用助成制度、高齢者免許返納一時金制度を実施しています。デマンドタクシー及びグリーンスローモビリティの導入に向け、地域住民及び交通事業者と協働で検討を進めています。
・評価 マタニティタクシー利用助成制度の申請の電子化や助成対象者の拡充により、妊産婦の移動に関する不安の軽減に努めました。八木南団地及び流山本町におけるアンケート結果を分析し、地域に適した移動手段の検討を進めました。	・課題 各制度の分かりやすいリーフレットの作成等、制度対象者に合わせた環境づくりが必要です。公共交通検討地域を中心に、新たな移動手段の検討が必要です。
・課題に対する改善点 マタニティタクシー利用助成制度の申請を電子化し、制度利用者にやさしい環境づくりを行いました。新たに産婦健診を助成対象とし、申請期間を2か月間延長しました。	・取組 マタニティタクシー利用助成制度、高齢者免許返納一時金制度を継続します。デマンドタクシー及びグリーンスローモビリティの早期導入に向け、地域住民及び事業者と協働で検討を進めます。

主管部局　まちづくり推進部 施策の目的　多様な世代・世帯が安心して住み続けられる住まいを確保する

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
住宅の耐震化率	耐震改修促進計画（建築住宅課） ※1　R2より国の耐震化率の算定に合わせ、棟単位から戸数単位に変更し、算出した数値	93.2(※1)	93.2(※1)	93.2(※1)	%	↑
住宅の空き家率	住宅総数のうち、一時居住用や販売用等を除いた「その他の住宅」の占める割合（総務省「住宅・土地統計調査」）※1：2018(H30)年度 ※2：2023(R5)年度	3.2(※1)	3.2(※1)	2.7(※2)	%	↓

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 地域住民が安心して住み続けられるよう、生活環境に深刻な影響が懸念される管理不十分な空き家の改善を図るため、所有者等を特定し助言・指導に努めました。また、流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅の整備を行い、建物の長寿命化によるライフサイクルコストの縮減を図りました。	・現状 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、適切な時期に予防保全的な修繕及び耐久性の向上等を図る改善等を実施することで、建物の長寿命化が図られ、良好なストックを長期にわたり確保しています。
・評価 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、改善工事等を計画的に行い、建物の耐久性・安全性の向上と長寿命化を図りました。	・課題 適切な時期に修繕及び改善等を実施するためにも、建物等の点検を随時実施し、点検結果等に合わせ、流山市公営住宅等長寿命化計画の見直しを随時行います。空き家対策については市民や空家所有者等に対し、継続的に空き家問題の意識啓発が必要になります。
・改善点 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、改善工事等を計画的に行うことができました。	・取組内容 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅の整備を行います。また、市内の管理不全空家等の解消にも努め、地域住民が安心して住み続けられる環境の確保に努めます。

住生活の安定と向上

市営住宅整備事業

安全で快適な市営住宅を長期間にわたって確保するため、流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき適切に改修や改善を行い、長寿命化によるライフサイクルコストの縮減を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
建築住宅課	15,004	19,951	2,639	29,202	29,202	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
市営住宅管理戸数（戸）	449	445	445				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、大橋団地3号棟の屋上防水工事を行いました。	・現状 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、適切な時期に予防保全的な修繕及び耐久性の向上を図る改善等を実施することで、建物の長寿命化が図られ、良好なストックを長期にわたり確保しています。
・評価 計画的に改善工事等を行うことで、建築物の耐久性・安全性の向上と建物の長寿命化が図られ、良好なストックを長期にわたり確保しました。	・課題 市営住宅の状況等に合わせ、流山市公営住宅等長寿命化計画の見直しを随時行います。
・課題に対する改善点 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、改善工事等を計画的に行うことができました。	・取組 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅の整備を行います。

空き家対策の推進

空き家対策事業

適正に管理されていない空家の解消を推進するため、法律や条例に基づき、所有者に対し指導・助言・勧告などの必要な措置を講じるとともに、空家対策を効果的に行うため、住生活基本計画及び空家等対策計画を策定し、計画に沿って取り組みを進めます。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
建築住宅課	0	0	1,980	0	0	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
空き家問題に関する通報件数（件）	93	101	80	空き家に対する改善指導件数（件）	74	74	40

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 市内の管理不全空家等の解消に努め、市民や空家所有者の空家問題に対する意識啓発を行いました。	・現状 空家等対策計画の沿って取り組みを進めています。
・評価 情報提供があった101件の空家等に対し、現地調査を行うとともに、管理不全の空家等74件に改善指導及び助言を行い、49件改善されました。	・課題 管理不全空家等の発生を抑制・予防します。
・課題に対する改善点 空家問題の意識啓発に効果的なデザインのリーフレットを作成しました。	・取組 市内の管理不全空家等の解消に努め、市民や空家所有者の空家問題に対する意識啓発を行います。

主管部局　環境部　　施策の目的　地球環境にやさしい、快適な生活環境をつくる

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
二酸化炭素排出量の基準年度比	<R4まで>平成19（2007）年度の排出量を100 とした場合の指数 <R5以降>計画の改定に伴い基準年度を変更、平成25(2013)年度の排出量を100とした場合の指数　※上段は民生家庭(2007:165 2013:215)、下段は民生業務。	118 159 (R2年度分)	91 105 (R3年度分)	96 118 (R4年度分)	-	↓
身近な生活環境について不満に感じている市民の割合	「どちらかといえば不満」「不満」と回答した市民の割合（ながれやままちづくり達成度アンケート※H30年度のみ市民意識調査）	32.0	31.1	28.0	%	↓

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 二酸化炭素排出量の削減に向け、幅広い世代に対して環境学習に関する事業を実施したほか、市民や事業者に向けた働きかけ、補助制度により多様な手段で取り組みを実施しました。不法投棄パトロール、路上喫煙等パトロールなどにより、生活環境の保全に取り組みました。	**・現状** ゼロカーボンシティを目指し、市内最大級の事業者として脱炭素へ積極的な取組みを進めつつ、市民や事業者に向けた働きかけや、補助制度など多様な手段で取り組みを後押ししています。不法投棄パトロール、路上喫煙パトロールのほか、環境保全のための調査を実施しています。
・評価 二酸化炭素排出量の削減に対して市全域で課題感を持つ必要があるため、事業者と脱炭素の取り組みを協調する仕組みである脱炭素貢献パートナー制度を開始しました。不法投棄やポイ捨て等への対応のほか、PFAS調査を実施するなど環境保全に対応しました。	**・課題** 補助制度等の積極的な周知により、二酸化炭素排出量の削減のための取り組みにおける費用負担の軽減を図る必要があるほか、導入後の結果として電力使用量の削減や機器運用の低下によるメリット等を織り交ぜた効果的な周知を行う必要があります。また、生活環境保全のため、時勢に合わせた周知等を行う必要があります。
・改善点 補助制度による二酸化炭素排出量の削減効果を生み出し、かつ対象設備等による実績のばらつきを低減させるため、広報やHPを活用した周知を図るとともに、開発事業者との協議の際に案内するなど制度の効果向上に努めました。空地の雑草対策について、電子サービスによる受付を開始し、場所確認の効率化を図るとともに市民サービスの向上に努めました。	**・取組内容** ゼロカーボンシティを目指し、まずは市役所が市内最大級の事業者として脱炭素への強力な取り組みを実施して主体的役割を担うほか、市民や事業者に向けた働きかけ、補助制度の利用など多様な手段で取り組みを後押しします。ターゲットをしぼった周知や事務手続きのオンライン化など、負担軽減を目指しつつ、効果的な対策を実施していきます。

地球温暖化対策の推進

地球温暖化対策事業

地球温暖化対策実行計画に基づき、市民や市内事業者に対し、戸建て、集合住宅、事業所への太陽光発電設備等への補助事業、市民環境講座や緑のカーテンによる啓発等の事業を行います。また、令和7年度から窓の断熱改修に対しての補助額を実質2倍とするなど、新たな制度運用の実施を通じ、地球温暖化対策に取組んでいます。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
環境政策課	31,743	15,499	19,791	35,126	15,200	19,926

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
地球温暖化対策省エネルギー設備補助金交付支給件数（件）	210	190	200	省エネルギー設備補助金による二酸化炭素の削減量（t-CO2）	306	315	389

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 市民環境講座や緑のカーテンを通じて地球温暖化対策の重要性の周知を行うとともに、各種省エネ設備等の導入に対する補助制度の作成、周知を行い啓発に努めました。	**・現状** 2050年度二酸化炭素排出実質ゼロを目指し、市全域で脱炭素の取り組みを推進します。
・評価 市民環境講座や緑のカーテンを通じて高齢者から小学生に至るまで幅広い世代に地球温暖化対策の重要性を周知したほか、太陽光発電設備の導入をはじめとして、一定数の補助制度の利用申請がありました。	**・課題** 市民や事業者に対して地球温暖化対策の取り組みの重要性に一定の理解を得られた一方、実行にあたっては予算や優先度の問題もあり積極性が認められない状況があります。
・課題に対する改善点 各事業を継続して実施することにより、地球温暖化対策の重要性を幅広く市民、事業者に周知を続け、効果や重要性について横展開を図りました。	**・取組** 社会情勢に合った補助制度の運用を続けるほか、市民や事業者に対して省エネ・創エネ設備等の導入におけるメリットを効果的に働きかけ、市民や事業者と一体となった市全域での省エネ性能の向上に努めます。

生活環境の保全

路上喫煙の防止及びまちをきれいにする事業

路上喫煙等を防止し環境美化を推進するため、路上喫煙防止重点区域のパトロール、クリーンボランティアによる地域清掃を行います。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
環境政策課	10,943	10,716	1,980	9,823	312	9,511

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
路上喫煙等防止指導件数（件）	166	159	200	路上喫煙等防止過料件数（件）	113	114	80

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 年間を通してパトロールを実施し、路上喫煙防止に努めました。路上喫煙及びポイ捨てが特に多い南流山駅周辺や流山おおたかの森駅周辺では、ティッシュ配布による啓発活動を行いました。また、つくばエクスプレス線南流山駅にご協力いただき、駅構内にて啓発用音声の放送を実施しました。	**・現状** 南流山駅周辺など路上喫煙及びポイ捨てが多い箇所について、これ以上悪化しないよう関係各課や民間事業者等と協力して周知啓発の強化等を行う必要があります。
・評価 パトロール強化や啓発活動の実施により、一定の抑止効果はあったものの、前年度と比べ大きな変化は見られず、依然として路上喫煙やポイ捨てが発生しています。	**・課題** 乗り換え駅である南流山駅周辺では、特に市外の方の路上喫煙の割合が多く、また、ポイ捨ても依然として多い状況です。
・課題に対する改善点 路上喫煙やポイ捨てが特に多い南流山駅周辺を中心に、民間事業者の協力も含めた啓発活動を実施し、路上喫煙やポイ捨て防止に努めました。	**・取組** 南流山駅周辺の清掃回数を増やすなど、ポイ捨てされにくい場所となるような対策を実施します。また、路上喫煙が多い市外の方への周知啓発を行う対策に取り組みます。

主管部局　環境部　　施策の目的　ごみの発生量を減らし、資源を有効に利用する循環型のまちをつくる

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
１人１日当たりのごみ発生量	ごみ処理量の推移（クリーンセンター） ※値はそれぞれ前年度の数値を使用	795	770	742	g	↓
資源化率	資源化率の推移（クリーンセンター） ※値はそれぞれ前年度の数値を使用	28.7	27.2	28.5	%	↑

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 令和5年度末に見直しした新たな受入基準を元に、事業者に対し事業系一般廃棄物の減量・資源化及び適正処理について啓発に努めました。ごみ焼却施設については、毎年実施する定期点検整備とともに、令和5年度から着工している基幹的設備改良工事を安全に実施しながら、適切な運転管理に努め、安定したごみ処理を確保しました。	**・現状** 従来の粗大ごみ予約方法にオンライン受付を準備、また、事業系廃棄物処理ガイドブックなどの資料を用いて、新たな受入基準を元に、事業者に対し事業系一般廃棄物の減量・資源化及び適正処理について啓発に努めます。ごみ焼却施設については、毎年実施する定期点検整備とともに、令和5年度から着工している基幹的設備改良工事を安全に実施しながら、適切な運転管理に努め、安定したごみ処理を確保する必要があります。
・評価 指定ごみ袋や生ごみ肥料化処理器購入補助金制度などによるごみの減量・資源化の推進並びに事業系廃棄物の受入基準見直しに基づき作成した事業系廃棄物処理ガイドブックにより、家庭系及び事業系ごみの排出量削減に努めました。ごみ焼却施設については、毎年実施する定期点検整備とともに、令和5年度から着工している基幹的設備改良工事を安全に実施しながら、適切な運転管理に努め、安定したごみ処理を確保に努めました。	**・課題** 令和7年12月より開始予定の粗大ごみオンライン受付について、広く市民が利用できるよう啓発を行う必要があります。また、引き続き事業者に対し事業系一般廃棄物の減量・資源化および適正処理について啓発を行う必要があります。ごみ焼却施設については、毎年実施する定期点検整備とともに、令和5年度から着工している基幹的設備改良工事を安全に実施しながら、適切な運転管理に努め、安定したごみ処理を確保する必要があります。
・改善点 事業系廃棄物処理ガイドブックなどの資料を用いて、事業者に対し事業系一般廃棄物の減量・資源化及び適正処理について啓発を行いました。ごみ焼却施設については、基幹的設備改良工事及び定期点検整備の調整を密に行い、適切な運転管理に努めるとともに、一部のごみ処理を外部委託して、安定したごみ処理を確保しました。	**・取組内容** 粗大ごみオンライン受付について、広報ながれやま、市ホームページ等で市民に対し周知を図るとともに、事業所に対しては事業系一般廃棄物の減量等について引き続き啓発に努めます。ごみ焼却施設については、毎年実施する定期点検整備とともに、令和5年度から着工している基幹的設備改良工事を安全に実施しながら、適切な運転管理に努め、安定したごみ処理を確保する必要があります。

ごみの減量化・資源化の推進

リサイクル推進事業	集団回収を実施するリサイクル団体の活動支援やごみ減量化促進ポスターコンクールの開催及び各種講座等を開催します。また、生ごみ肥料化処理器による生ごみの減量化及び再資源化を図るとともに、購入者に費用の一部を補助します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
クリーンセンター	221,239	224,374	9,042	222,173	1,569	220,604

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
リサイクル団体登録数（団体）	254	252	255	集団回収量（t）	8,202	7,915	7,793
リサイクル講座（教室）開催数（回）	52	46	64	リサイクル講座（教室）の参加者数（人）	438	295	350

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 「令和6年保存版流山市家庭ごみの正しい分け方・出し方パンフレット」などを利用し、市民に対して資源化や資源回収についてより詳細な周知を図り、ごみの減量・資源化の促進を図りました。	**・現状** 資源回収率は平成30年度に策定した一般廃棄物処理基本計画の目標値を超えている中で、さらなるごみの減量・資源化の促進に努める必要があると捉えています。
・評価 資源化率は、平成30年度に策定した一般廃棄物処理基本計画の目標値を超えており、広報等を通じ、ごみの減量・資源化の促進に努めました。	**・課題** 資源回収について、よりわかりやすい資料や説明が必要だと捉えています。
・課題に対する改善点 出前講座や減量等推進員に向けてごみの減量等にかかるわかりやすい資料を作成し自治会等内でのごみの減量・資源化の啓発を図りました。	**・取組** 「令和6年保存版流山市家庭ごみの正しい分け方・出し方パンフレット」などを活用し、資源化や資源回収についてより詳細にわかりやすく啓発していきます。

ごみの減量化・資源化の推進

ごみ収集事業	各家庭からごみ集積所に排出される一般廃棄物を衛生的に処理するため、ごみの収集を業務委託し、ごみを適正に処理することによって、市民一人一人が衛生的な中で生活が営むことができる環境づくりに努めます。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
クリーンセンター	322,036	320,658	9,042	322,781	322,781	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
				1人1日当たりのごみ発生量（g/1人・日）※実績値は前年度の数値を使用	770	742	720

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 事業系廃棄物の見直しに関わるお問合せダイヤルを設置するなど、事業者への丁寧な対応に努めました。	**・現状** リチウムイオン電池等の安心、安全な回収及びリサイクルに努めます。
・評価 事業系廃棄物の受入基準について事業者へ説明等を行うことで、ごみの減量・資源化を図りました。	**・課題** 誤った出し方によって、収集・運搬、または処分の過程において火災の原因になるものと捉えています。
・課題に対する改善点 お問合せダイヤルを設置や事業系廃棄物処理ガイドブックなどの資料を用いて、事業者に対し事業系一般廃棄物の減量・資源化及び適正処理について啓発に努めました。	**・取組** 広報ながれやま、市ホームページ、自治会等回覧などの広報活動の他に、減量等推進員会議やごみ分別促進アプリを活用し、周知に努めます。

一般廃棄物の適正処理

ごみ焼却施設整備事業	ごみ焼却施設の安全操業と適正な廃棄物処理を継続するため、設備の定期的な点検整備を実施します。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
クリーンセンター	440,000		495,563	10,630	370,000	0	370,000
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
修繕費用（千円）	66,932	495,563	10,000	機器類の不具合に伴う、施設の稼働停止件数（件）	0	0	0

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 ごみ焼却施設の定期点検整備及び修繕業務を適正に実施しました。	・現状 安全かつ安定したごみ焼却施設の運転管理を継続していくため、定期点検整備及び修繕業務を適正に実施します。
・評価 令和5年度から着工した基幹的設備改良工事を安全に実施しながら、安全かつ安定したごみ処理を実施することができました。	・課題 令和5年度から着工している基幹的設備改良工事と並行して定期点検整備を適正に実施しつつ、安定したごみ処理を継続していくため、密に調整を図る必要があります。
・課題に対する改善点 令和5年度から着工している延命化整備と並行して定期点検整備を適正に実施しつつ、安定したごみ処理を継続していくため、基幹的設備改良工事と運転管理に係る調整を密に実施しました。	・取組 安全かつ安定したごみ焼却施設の運転管理を継続していくため、定期点検整備及び修繕業務を適正に実施します。

一般廃棄物の適正処理

廃棄物処理施設延命化事業	平成16年2月竣工のごみ焼却施設の延命化を図るため、令和2年度に策定した長寿命化総合計画に基づき、令和4年度から令和7年度までの4か年継続事業として、ごみ焼却施設の基幹的設備改良工事を実施します。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
クリーンセンター	3,611,454		3,250,309	19,791	2,225,575	2,208,490	17,085
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
ごみ焼却施設基幹的設備改良工事の進捗状況（%）	27.0	72.2	100	C02排出量の削減率（%）	2.39	6.40	8.86

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 工事の安全対策に十分注意を払うとともに、定期点検整備や運転管理等に係る関係機関との調整を図り、円滑な工事進捗に努めました。	・現状 長寿命化総合計画に基づき基幹的設備改良工事を実施することで、施設の延命化を図ります。
・評価 工事の進捗及び基幹的設備改良工事による効果として二酸化炭素排出量5%以上の削減ともに工程どおりに工事を実施しました。	・課題 毎年実施している定期点検整備と並行して基幹的設備改良工事を円滑に実施しながら、安定したごみ処理を継続していくため、定期点検整備を運転管理に係る調整を密に図る必要があります。
・課題に対する改善点 毎年実施している定期点検整備と並行して基幹的設備改良工事を円滑に実施しながら、安定したごみ処理を継続していくため、定期点検整備と運転管理に係る調整を密に図りました。	・取組 工事の安全対策に十分注意を払うとともに、定期点検整備や運転管理当に係る関係機関との調整を図り、円滑な工事進捗に努めます。

一般廃棄物の適正処理

一般廃棄物処理基本計画策定事業	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、一般廃棄物処理基本計画の見直しを行います。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
クリーンセンター	11,000		5,126	19,791	2,071	0	2,071
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
一般廃棄物処理基本計画策定業務の進捗状況（%）	-	73.3	100	流山市廃棄物対策審議会開催回数（回）	-	4	2

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 現計画で設定した中間目標の達成に向けて実施した個別施策の達成状況を評価し、長期的・総合的視点に立った計画の策定を行いました。	・現状 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づいて現計画を平成31年3月に策定しており、環境省の「ごみ処理基本計画策定指針」では概ね5年ごとに改定することとされています。
・評価 廃棄物の処理及び清掃に関する法律及びごみ処理基本計画策定指針並びに市民参加の手法として流山市廃棄物対策審議会に意見を徴取しながら、長期的・総合的視点になった計画の策定に努めました。	・課題 人口増を踏まえ安定的なごみ処理を継続するため、ごみ減量・資源化を推進するまた、近年頻発する大規模な自然災害にて発生する災害廃棄物の処理について、計画を見直すにあたり地勢を鑑みながら策定する必要があります。
・課題に対する改善点 近年頻発する大規模な自然災害にて発生する災害廃棄物の処理について、見直しを行うにあたっては地勢を鑑みながら策定しました。	・取組 廃棄物の処理及び清掃に関する法律及びごみ処理基本計画策定指針に基づき、市民参加の手法を取り入れながら長期的・総合的視点に立った計画の策定に努めます。

一般廃棄物の適正処理

森のまちエコセンター施設整備事業	森のまちエコセンターの施設の安定稼働を継続していくため、施設の定期点検整備を実施します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
クリーンセンター	0	12,397	9,896	109,680	9,680	100,000

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
点検整備・修繕費用（千円）	98,905	125,647	100,000	機器類の不具合に伴う施設の稼働停止件数（件）	0	0	0

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 し尿処理施設及び剪定枝資源化施設の定期点検整備及び修繕業務を適正に実施しました。	・現状 森のまちエコセンターでは、市内で発生したし尿汚泥及び剪定枝等の廃棄物を適正に処理するため、定期点検整備及び修繕業務を適正に実施します。
・評価 定期点検整備及び修繕業務を適正に実施したことで、安全かつ安定したし尿・浄化槽汚泥及び剪定枝の処理を実施することができました。	・課題 開業から16年目を迎え、老朽化した設備・機器類においては突発的な故障が発生していることから計画的な設備の更新が必要となります。
・課題に対する改善点 し尿処理施設及び剪定枝資源化施設の老朽化による設備・機器類の状況を見極め、適切な整備を実施しました。	・取組 施設の安定稼働を継続していくため、定期点検整備及び修繕業務を適正に実施します。

一般廃棄物の適正処理

粗大ごみ予約オンライン化事業	粗大ごみの戸別収集予約をインターネットから可能にし、粗大ごみ処理手数料の納付方法に電子決済を導入することにより、市民の利便性向上を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
クリーンセンター	0	0	6,597	2,628	0	2,628

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
				オンライン申請件数（件）	-	-	1,600

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 令和6年度は事業の実施がありませんでした。	・現状 現状、粗大ごみ戸別収集の予約手段は電話予約のみであるが、令和7年12月よりオンラインで予約・決済が完結できるようシステムを整備し、市民の利便向上を図ります。
・評価 令和6年度は事業の実施がありませんでした。	・課題 市民に対して粗大ごみのオンライン予約を広く周知し、利用率を上げることが必要だと捉えています。
・課題に対する改善点 令和6年度は事業の実施がありませんでした。	・取組 広報ながれやまや、市ホームページ等で周知し、多くの市民の方が利用できるように努めます。

主管部局　経済振興部　　施策の目的　消費者と働き手にとって魅力のある事業者や店舗を充実させる

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
小売吸引力指数	本市の人口1人当たり年間商品販売額÷千葉県全体の人口1人当たり年間商品販売額（総務省・経済産業省）※1　2021(R3)年経済センサス	0.661(※1)	0.661(※1)	0.661(※1)	-	↑
1事業所当たりの製造品出荷額等	（総務省・経済産業省）※1 2021(R3)年経済センサス	670(※1)	670(※1)	670(※1)	百万円	↑
法人市民税	普通会計決算カード　（財政調整課） ※値はそれぞれ前年度の数値を使用	62,780	71,605	72,631	万円	↑

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 事業者の生産性向上等への支援や市民の利便性の向上、まちの活性化に資する事業所・店舗等の進出、雇用確保の機会が見込まれる事業所等の誘致活動、正規雇用を希望する方への就職・就労支援、事業者の景況感等の把握に取り組みました。また、事業所における働き手確保に資する施策を創設しました。	**・現状** 生産年齢人口の減少に伴い、全国的に事業活動に必要な人材の獲得競争が激しさを増しています。物価高の進行に見合った賃上げの実施が中小企業、小規模事業者にも求められています。金融機関が取り扱う融資の市中金利が上昇傾向にあります。求人求職バランスでは、求職者優位の状況にあり、特に従前から人手不足の傾向にあった職種については、一層求人倍率が高まっています。
・評価 従来より実施している事業者の生産性向上や売上アップに資する支援、空き店舗解消等まちの活性化に資する支援、求職者に係る就職・就労への支援、新たな事業所等が市内へ立地する際の支援に加え、物価高騰対策となる運送事業者事業継続支援金の創設・支給や、兼ねてより事業者が課題と感じていた働き手不足への支援となる、多様な人材が活躍できる職場づくり推進補助金を創設し、人材確保・定着に向けた支援の拡充を図りました。	**・課題** 活動の継続に必要な人材の確保と育成の促進、賃上げの原資確保に向けた生産性の向上の促進、事業の継続と発展に必要な資金調達の円滑化と負担軽減、求職者が就職に至るに有用な支援メニューの充実化、市民の利便性向上、まちの賑わいに資する新たな事業所（施設や店舗など）の進出の促進が課題となっています。
・改善点 事業者の景況感や抱えている課題の把握を図るため、市内1,500事業者への企業動向調査の実施や個別の事業者ヒアリング、商工会議所等関係機関との意見交換を通じて、事業者が真に必要とし、かつ、行政支援が必要な施策の検討を図りました。	**・取組内容** 近年、経済情勢の変化が著しいことから、国・県・他自治体の動向を注視するとともに、市内事業者の状況を把握するために「企業動向調査」の結果把握と事業者訪問の機会を増やします。こうした状況把握を基に既存事業のアップデート、新規事業の創設等について検討します。また、就職就労支援に関する事業については、過去の参加者を対象としたアンケート結果を基にテーマ設定、内容について適宜アップデートします。

魅力ある事業者の育成・誘致

空き店舗有効活用事業

空き店舗の解消による賑わいの回復と創出をはかるため、生じてしまった空き店舗を利活用する事業者に対し、改装工事費及び賃借料にかかる補助を行うものです。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
商工振興課	12,602	12,403	13,194	14,797	0	14,797

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
相談延件数（件）	40	37	30	補助金（家賃補助分）交付件数（件）	17	16	14
				補助金（改装費補助分）交付件数（件）	3	4	3

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 空き店舗を有効活用する事業に対し、対象となる改装工事費及び店舗賃借料の経費の一部を補助しました。なお、補助交付にあたり、流山商工会議所への入会と同所経営指導員による年1回以上の経営指導を制度化しており、補助申請時や補助期間中並びに補助終了後における事業継続の一助となる体制整備を図っています。	**・現状** おおたかの森駅周辺に空き店舗は少なく、同駅へアクセスのよい初石、江戸川台、運河の各駅周辺と南流山駅周辺の空き店舗を活用する事例が続いています。また創業期での活用を希望する方からの相談が多い状況です。問合せのあった方の大半が、市HPやリーフレットにより条件等の詳細事項を確認しており制度周知は十分に機能していると考えます。
・評価 16件の補助交付を通じて市内の賑わいの回復と創出を図れたことはもちろんのこと、当該補助事業への申請をいただき対象要件を満たす事業者に対し、事前協議から交付決定まで迅速な事務処理を図ることができました。また、補助対象経費の改装工事費については、市内事業者への発注を条件としており市内経済循環に寄与しました。	**・課題** 活用される空き店舗が再び空き店舗となることなく、補助期間満了後も長期にわたって活用され続けることが重要となります。
・課題に対する改善点 当該事業を利用する方に適切に情報が届くよう、市内の不動産業者や改装工事業者へも職員が直接出向き制度を説明し、市内空き店舗への出店を検討する事業者が来訪された際には制度周知を行っていただくなど協力体制の確立に努めました。	**・取組** 創業期にある申請者にあっては、空き店舗の所在地周辺の地域性と事業内容の整合確認、事業計画の達成に向けた具体的な取り組みなどを流山商工会議所の経営指導員と共に確認していきます。

魅力ある事業者の育成・誘致

中小企業資金融資事業

市内中小企業者の事業発展と維持を目的に、事業に必要な運転資金、設備資金を円滑に調達できるよう、融資にかかる負担軽減を図るものです。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
商工振興課	139,939	140,053	13,194	141,369	130,051	11,318

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
商工会議所役員会参加回数（常議員会、商業部会、工業部会）（回）	36	22	30	融資件数（件）	21	34	20
流山工業団地役員会参加回数（回）	12	10	12	利子補給件数（件）	104	102	150

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 中小企業者に対し、金融機関を通じた資金融資の実行及び利子の一部補給を実施しました。	**・現状** 新型コロナウイルス感染症によるSN4号認定枠融資の返済終了となる事業者からの新たな運転資金融資の申し込みが徐々に増えつつあります。国債の金利上昇が生じるなか、今後、市制度融資の取扱金融機関から金利引き上げ等の要望が生じる可能性があります。
・評価 制度融資利用者に対し、金融機関を通じた資金融資の実施及び融資利息の一部補助を実施することで、市内中小企業者の育成と振興に寄与しました。	**・課題** 事業者が資金調達時に活用する融資メニューとして、適正な利率、利子補給率の見直しの検討が必要となります。
・課題に対する改善点 国による制度変更等があった場合は早期周知に努めていく必要があります。	**・取組** 金融機関独自のプロパー融資、公庫融資、県制度融資等の利率の動向とその経緯や根拠を参考とし、次年度以降の市制度融資の利率と利子補給率について、取扱金融機関など関係機関との情報交換を踏まえた見直しを検討します。

魅力ある事業者の育成・誘致

創業支援事業	30～40代を中心として子育て世代の転入が続いているなか、出産や育児などの理由で一旦仕事から離れている女性の能力を活かすため、女性の創業を支援し、地域経済の活性化とまちの魅力を高めることを目的とするものです。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
商工振興課	1,650	1,238	13,194	1,715	0	1,715

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
女性向け創業スクール受講生（人）	25	25	22	女性向け創業スクール卒業生（人）	22	25	22

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 女性向け創業スクールの開催、創業コンシェルジュ、デザインコンシェルジュを設置し創業支援を実施しました。なお、創業スクールでは、創業間もない事業者は顧客への訴求力や販路拡大、商品開発等のノウハウに乏しいことが多いため、創業スクール卒業生と受講生の交流など、情報交換ができるような場づくりを図りました。	**・現状** 創業スクール開始時の受講者の「創業に対する確度」にはバラツキがあるものの、卒業率（卒業者数÷受講者数）が高い値で推移していることと、卒業後に創業に至った件数も多いことから、カリキュラムの内容は適正なものとなっていると思われます。創業に関する相談も毎年90件前後で推移しています。
・評価 創業スクール受講者数25名全員がすべての課程を修了し、令和7年3月時点で19名が創業に至っています。また、過去にスクールを修了し既に創業している事業者と令和6年度受講者が一緒になってマルシェを独自に開催するなど、スクールを通じた創業の輪が拡がりつつあり、当該事業が流山での創業の一助として機能しています。	**・課題** 創業に関する相談窓口の充実が課題となります。
・課題に対する改善点 創業に必要となる知識とスキルは日々変化していることから、社会の変化に即した講座内容にしていく必要があります。	**・取組** 「創業コンシェルジュ」の対応回数を拡充して、創業に関する相談の需要に対応します。創業スクールのカリキュラムについては、地域性と女性の強みを活かした創業に有用なものとなるよう、引き続き受託者と共にブラッシュアップしていきます。

魅力ある事業者の育成・誘致

企業立地促進事業	地域産業の発展と市民の利便性の向上、市の財政の安定、まちの活性化に資する事業所・店舗等の進出を促進するものです。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
商工振興課	12,782	11,890	13,194	13,272	0	13,272

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
面談にいたった事業所等の数（件）	47	46	40	企業等立地促進奨励金の交付対象事業所等の新規立地件数（件）	1	2	1
面談・相談等の数（件）	99	87	80	物件のマッチング等の支援を行った事業所等が立地に至った件数（件）	2	2	2

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 不動産事業者等の協力を得ながら、開業候補地となる土地情報を案内しました。また、医療系の開業コンサルタントを訪問し、小児科等の開業を希望する開業志向の高い勤務医について情報共有を図りました。	**・現状** 工業系用途地域の活用が進み未利用地がなく、製造業等の誘致は停止状態にあります。小児科においては毎年新規開業があるものの、予約診療制度を導入しているクリニックが多く、突発的な受診希望者が速やかに受診できない状況が続いています。
・評価 不動産事業者等の協力を得ながら、開業候補地の確保に努めました。 また、小児科２件の立地に成功しました。	**・課題** 小児科クリニックの開業志向者に対する迅速で円滑な情報提供が課題となります。また、従前から開業されている小児科医の高齢化によるクリニックの閉院への備えが今後の課題として考えられます。
・課題に対する改善点 不動産事業者及び開業コンサルタントとの情報共有を定期的に行っていきます。	**・取組** 開業支援会社への本市の市場性と奨励制度の情報提供を重ね、市内での開業を誘導します。クリニック自体の承継にあたっての奨励金の事務の取り扱いについて整理します。

魅力ある事業者の育成・誘致

中小企業人材確保支援事業	市内中小企業者の継続的な事業活動を推進するため、従業員の確保を目的とした求人に対する取組みに対して経費の一部を補助します。また、多様な人材が活躍できる職場づくりを推進するため、多様な人材の採用・定着を目的とした設備などの整備費用等の一部を補助します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
商工振興課	0	0	13,194	3,919	0	3,919

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
相談件数（件）	-	-	50	補助金交付件数（件）	-	-	24

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 令和6年度は事業の実施はありませんでした。	**・現状** 「企業動向調査」の結果から、多くの事業者が人手不足の解消、人材確保・人材育成を課題としており、首都圏の各社をライバルとして人材獲得競争を強いられています。求職者の就職活動では公的機関での職業紹介の活用から、民間就職情報サイト、人材紹介サービスの活用にシフトしつつあり、求人する企業側も求職者の動向に合わせた対応を進めています。
・評価 令和6年度は事業の実施はありませんでした。	**・課題** 民間の就職情報サイトへの求人掲載費用は、求職者の目に留まるよう掲載順位を上げるためにはオプション料金が発生するなど費用負担が課題となっています。また中小零細企業が障害者やシニア世代など多様な人材の活躍を期待して雇用する際においても設備の改修や備品等の調達といった職場環境の改善や充足が必要な場合があり費用負担が課題となっています。
・課題に対する改善点 令和6年度は事業の実施はありませんでした。	**・取組** 就職情報サイトへの求人情報掲載に係る費用、人材紹介サービスの利用に係る費用の一部を補助します。また、年齢、性別、障害の有無によることのなく、多様な人材が活躍できる職場環境整備を行う市内事業者に対して係る費用の一部を補助します。

魅力ある事業者の育成・誘致

物価高騰支援事業 （商工振興課　小規模事業者持続化促進分）	エネルギー価格や材料費の高騰等、社会・経済情勢が激しく変化する中、自社の経営を見直し持続可能な経営に向けた経営計画を作成し、販路拡大や生産性の向上等に努める小規模事業者の取り組みを促進するため、経費の一部を補助するものです。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
商工振興課	4,400	3,716	13,194	4,636	0	4,636

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
案内件数（件）	24	14	22	交付件数（件）	24	14	22

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 中小企業庁「小規模事業者持続化補助金（一般型）」に採択され、補助金確定通知を受けた市内事業者に対し、国の補助額の1/4の額について上乗せ補助を行いました。	・現状 国は小規模事業者に対して、社会・経済情勢の変化に対応するため自社の経営を見直すための計画づくりと販路拡大、生産性向上に向けた取組みを推奨しています。賃上げ機運が高まりつつあり、規模の小さい事業者が賃上げの原資を確保していくためには、生産性向上への新たな取組みの実践が必要となり「小規模事業者持続化補助金」の有用性は高まっています。
・評価 小規模事業者による販路拡大等への補助により、持続可能な経営の実現及びやる気と行動力のある事業者への支援を図りました。	・課題 経営計画の見直しにあたっては商工会議所の経営指導員による助言を受けることが基本となっているものの、国の補助制度そのものについて認知していない事業者や、商工会議所が全面的にサポートすることを理解していない事業者がいることが課題となります。
・課題に対する改善点 事業者が中小企業庁「小規模事業者持続化補助金（一般型）」を活用する際には流山商工会議所を通じて申請手続きが行われることから、同会議所との連携を密に行い、市補助金制度を対象者へ漏れなく案内できるよう協力体制の確立に努めました。	・取組 市は国の補助額の4分の1相当額を上乗せで補助することとし、国と市の補助制度を両方活用することで大幅に事業者の負担軽減が図られる旨をチラシ等の配布により周知を進めます。なお、国の補助制度を利用した事業者に対しては、申請漏れが無いよう適宜個別に案内します。

魅力ある事業者の育成・誘致

多様な人材が活躍できる職場づくり推進事業	生産年齢人口減少に伴う労働力不足が進むなか、市内中小事業者において多様な人材が活躍できる職場づくりを推進するため、多様な人材の新規採用・定着を目的とした設備などの整備費用等の一部を補助します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
商工振興課	1,051	46	13,194	0	0	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
相談件数（件）	-	10	-	補助金交付件数（件）	-	1	-

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 年齢や性別、障害等に関わらず、多様な人材の活躍により労働力(人材)を確保するための職場環境改善に資する取り組みに対し、経費の一部を補助しました。	・現状 令和7年度からは「中小企業人材確保支援事業」に統合しました。
・評価 補助金の制定にあたっては、市内事業者等へのヒアリングを通じて実効性があり、効果的かつ事業者が利用しやすい制度設計に努めました。令和6年度に補助交付となった事業者では、主に女性従業員の採用及び定着に資する職場環境整備を行い、労働力確保への支援を図ることができました。	・課題 令和7年度からは「中小企業人材確保支援事業」に統合しました。
・課題に対する改善点 当該事業を必要としている事業者へ周知が図れるよう、引き続き、事業者へ直接説明に伺うことや、関係機関へ案内や説明により、制度周知と理解の促進に努めていく必要があります。	・取組 令和7年度からは「中小企業人材確保支援事業」に統合しました。

魅力ある事業者の育成・誘致

事業者グループ提案型 売上アッププロジェクト応援事業	エネルギー価格や材料費の高騰等、社会・経済が激しく変化する中、持続的な経営に向け販路拡大等を目指す市内事業者グループの自主的な事業活動を推進するため、地域経済の活性化を目的とした事業に係る経費の一部を補助します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
商工振興課	2,362	675	13,194	1,522	0	1,522

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
応募件数（件）	3	2	3	補助交付件数（件）	3	2	3

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 三者以上の市内事業者で構成するグループが提案する新商品・新サービスの開発や実証事業並びに販路拡大を図るために実施する事業のうち、新規性、相乗効果、波及性、実現性、継続性、妥当性、公益性の観点から妥当なものを採択し、対象経費の2分の1以内を補助しました。	・現状 複数の事業者との連携を検討する事業者や過去に当該事業を活用した事業者から相談を受けています。本事業を開始した令和4年度以降、プロジェクト1件あたりの事業規模（金額）が年々小さくなっています。これまで採択に至ったプロジェクトについては、補助金以上の経済効果が確認されています。
・評価 補助交付を通じて、事業実施に係る短期的な売上アップと中長期的な顧客獲得やグループ構成員の本業に関する認知度向上に寄与しました。また、当該事業を利用した事業グループからは、グループ構成員同士の繋がりにより、市内で事業を営む中での課題や悩みについて相談し合える関係を築くことができたとの声もいただきました。	・課題 補助対象経費や共同や連携についての誤解された状況で相談を受けることのほか、三者以上での共同や連携についての役割分担が難しいという声への対応が課題としてあります。
・課題に対する改善点 制度の利用促進を図るため、お問い合わせいただいた事業者への丁寧な説明のほか、商工会議所の各部会などへ市職員が伺い制度の周知を図りました。	・取組 補助対象経費に誤解が生じないよう説明用チラシの記載内容の見直しします。また、過去に利用した事業者や相談のあった事業者とのヒアリングのほか、他自治体が実施する類似事業（「チャレンジ補助金」等）の実態について調査と聞き取りを行い、今後の事業の改善を研究します。

就労の支援

就職支援セミナー企画運営事業	求職者が自信をもって円滑に就職活動に取り組み、希望する就職につながるように個別相談やセミナーを実施するものです。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
商工振興課	12,769	12,640	13,194	10,043	0	10,043

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
就職個別相談相談者数（人）	143	140	120	相談者の就職者数（人）	52	59	70
				年間セミナー参加者数（人）	271	323	300

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 求職者の就職、就労支援として、カウンセラーによる就職個別相談の実施のほか、就職活動に有用なセミナーの実施、就職後の職場定着等のサポートとなるフォローアップ、スキルアップに向けたPC講座を実施し、きめ細やかな支援を図りました。	・現状 民間転職・就職支援サイトや人材紹介サービスの台頭により、求職者が自ら就職活動を進めるケースが増加傾向にありますが、ハローワークや自治体など公的な職業紹介機関、就職支援機関のサービスを利用する求職者も多くいます。就職支援に向けた個別相談は毎日（平日）、セミナーについては年11回、キャリアカウンセラーが担当して対応しています。
・評価 就職件数は前年度並みで推移しました。なお、就職支援セミナーでは、全12回開催のうち「定員充足率は75%」を超え、かつ、参加者の99%が「内容に満足している」との結果となっており、セミナーを通じた就職、就労支援を図ることができました。	・課題 企業が求める能力や資質は常に社会経済情勢の変化ともに変化することから、最新の動向に合致した支援が課題となります。また、実施する支援内容が適正であったかの検証・確認が課題となります。
・課題に対する改善点 就職後の離職防止や円滑な職場定着の観点から、個別相談を利用の上、就職に至った求職者に対して就職後カウンセラーから連絡し、職場定着に向けたアドバイス等の就労支援を行いました。	・取組 個別相談を利用し就職した方へのフォローアップにより、支援内容がどのように有用だったか等についてアンケート調査を行い、日々の支援に反映させていきます。セミナーのテーマは、前年度参加者の感想等を基に内容を改善して実施します。PC講座は、従来のWORD、EXCEL以外にメールやZOOMといったアプリケーションの操作をメニューとして追加します。

主管部局　経済振興部　　施策の目的　都市農業の多面的機能を活かし、生産性や収益性を高める農業の振興を図る

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
認定農業者数	市の認定を受けた農業経営者	54	60	61	経営体	↑
農業産出額（推計）	※R4実績(R2～R3)関東農林水産統計年報（市町村別農業算出額推計）※R5実績(R3～R4)関東農林水産統計年報（市町村別農業産出額推計）※R6実績(R4～R5)関東農林水産統計年報（市町村別農業産出額推計）	92（※）	95（※）	85（※）	千万円	↑

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 認定農業者の継続的な営農が可能となる、安定した農業経営のための事業費支援に取り組みました。	・現状 都市化による農用地の減少、農業者の高齢化により農業生産に影響していますが、本市農業の中心的役割を担っている認定農業者に対して効率的な農業資機材や肥料購入費の一部を支援することで、安定的な農業生産が維持できています。
・評価 認定農業者の農業経営経費軽減対策として、農業資材、農業機材、肥料に係る経費の一部支援ができました。	・課題 都市化による農用地、農業者の減少による担い手、後継者育成対策、農業資機材等の高騰が課題であることから、認定農業者の安定した農業経営のための支援が必要です。
・改善点 都市化による農用地、農業者の減少による担い手、後継者育成の対策が課題であることから、安定した農業経営のための継続した支援をしました。	・取組内容 認定農業者の継続的な営農ができるよう、農業資機材等の購入費の一部を支援し、安定した農業経営が図れるよう取り組みます。

農業経営改善の充実

認定農業者支援事業

本市農業の中心的な役割を担っている認定農業者が購入する環境配慮型農業資材費の一部を支援することにより、生産規模の拡大及び効率化を図り、更なる農業振興を推進します。環境配慮型農業資材の購入を促進することにより、減農薬、化学肥料使用の削減に繋がり環境にやさしい農業を推進します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
農業振興課	6,160	4,247	1,723	3,600	0	3,600

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
実績補助金額（千円）	4,125.3	4,246.7	3,600.0	認定農業者数（経営体）	60	61	61

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 認定農業者の安定した農業経営のための継続的支援に取り組みました。	・現状 認定農業者の安定した農業生産の維持及び効率化が図れるための支援を行っています。
・評価 認定農業者の農業経営改善計画の達成に向けた支援ができました。	・課題 認定農業者の農業経営改善計画の達成に向けた継続した支援が必要です。
・課題に対する改善点 認定農業者の農業経営改善計画の達成に向けて、継続した支援をしました。	・取組 認定農業者の農業経営改善計画の達成に向けた支援に取り組みます。

農業経営改善の充実

農業振興資金融資及び利子補給事業

農業後継者、新たに農業を営む者等に、融資機関を通じて農業振興資金を貸し付け、利子の一部を補給し都市農業の安定的な継続ができる効率的な農業経営の拡大を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
農業振興課	7,755	7,495	1,320	7,554	7,001	553

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
利子補給金額（千円）	579	495	553	利用実績件数（件）	22	18	20

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 資金融資による貸し付け利子の一部を補助することで、農業者の安定的な農業経営が継続できるよう支援に取り組みました。	・現状 資金融資の貸し付け利子の一部を補助することで、農業者の安定的な農業経営が継続できるよう支援を行っています。
・評価 農業者の安定的な農業経営への支援ができました。	・課題 農業者の安定的な農業経営が継続できるよう引き続き支援していく必要があります。
・課題に対する改善点 農業者の安定的な農業経営の継続のため、資金融資による貸し付け利子の一部補助の継続した支援をしました。	・取組 農業者の安定的な農業経営が継続できるよう支援に取り組みます。

農業経営改善の充実

エコ農業推進事業

減農薬、減化学肥料による環境への負荷を低減する方向の農業生産を推進し、環境にやさしい農業の向上に資するための支援事業を行います。消費者のエコロジー趣向に対応し、環境にやさしい農産物生産に資することができます。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
農業振興課	2,352	2,306	2,126	2,000	0	2,000

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
実績補助金額（千円）	2,450.3	2,305.9	2,000.0	エコ農業生産農家数（件）	48	49	50

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 消費者のエコロジー趣向に対して、減農薬、減化学肥料による有機農業を行う堆肥の購入が継続できるよう取り組みました。	・現状 減農薬、減化学肥料により環境への負荷を軽減し、人にやさしい農産物生産を進めています。
・評価 減農薬、減化学肥料による有機農業を行う堆肥の購入支援ができました。	・課題 減農薬、減化学肥料による有機農業を引き続き支援していく必要があります。
・課題に対する改善点 消費者のエコロジー趣向に対して、減農薬、減化学肥料による有機農業を行う堆肥の購入が継続できるよう支援をしました。	・取組 減農薬、減化学肥料により環境への負荷を軽減し、人にやさしい農産物生産に取り組みます。

農業への理解の促進

学校給食地産地消推進事業

地産地消を推進し、流山産米を市内小中学校及び保育所の給食に提供するため、水稲生産者等を助成することで安定的に通年供給できるよう確保します。なお、学校給食については、米以外にも地元野菜の供給拡大を促進します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
農業振興課	16,520	18,620	2,639	0	0	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
米飯給食実施回数（回/年）	2,970	2,970	-	学校給食への米の出荷量（t）	243	251	-

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 米飯給食の安定供給のため、米生産者支援に取り組みました。	・現状 令和6年度で事業は終了しました
・評価 流山産米の通年供給を行うことができました。	・課題 令和6年度で事業は終了しました。
・課題に対する改善点 米飯給食の安定供給のための継続した支援をしました。	・取組 令和6年度で事業は終了しました。

農業への理解の促進

市民農園事業

遊休農地等を土地所有者から借上げ、市民農園として市民が農作業を実践する場、家族や市民相互のふれあいの場として有償提供するとともに、更なる遊休農地の有効活用を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
農業振興課	227	227	1,564	227	219	8

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
市民農園借り上げ面積（㎡）	9,481.98	9,481.98	9,481.98	農園数（農園）	5	5	5

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 遊休農地の有効活用として、名都借、大畔、駒木台、西深井、こうのす台の5地区の借り上げに取り組みました。	・現状 遊休農地の有効活用として農地所有者から市民農園用地として農地を借り上げています。
・評価 遊休農地の有効活用ができました。	・課題 農地所有者の土地活用により借り上げていた市民農園用地の契約が解除となった場合の代替え地の候補探しが課題です。
・課題に対する改善点 農業委員会と遊休農地情報の共有を行いました。	・取組 遊休農地有効活用として名都借、大畔、駒木台、西深井、こうのす台の5地区に市民農園として、農地借り上げに取り組みます。

主管部局　経済振興部　　施策の目的　地域資源を活用し、交流人口の拡大を図る

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
入込客数	施設、イベントの入込客数（流山本町・利根運河ツーリズム推進課）	262,068	445,403	303,709	人	↑

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 流山本町及び利根運河両地域のツーリズムを推進しました。また、令和6年度末に開館した体験型観光施設「白みりんミュージアム」の開館に向けた取組とともに、流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）を支援しつつ連携し、コンテンツの充実に取り組みました。	・現状 大阪・関西万博の千葉県ブースに白みりんに関するブースの出展を予定しています。流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）を支援しつつ連携し、コンテンツの充実を図っています。
・評価 白みりんミュージアムが令和7年3月に開館しました。また、流山本町及び利根運河地域において様々なイベント等を実施し、交流人口の増加、地域活性化を図りました。	・課題 流山本町及び利根運河両地域の地域資源を活かし、さらなる交流人口の増加及び地域経済の活性化を推進する必要があります。
・改善点 流山本町及び利根運河両地域の地域資源を活かし、交流人口の増加並びにリピーターの確保に向けたプロモーションやイベントの実施に取り組みました。	・取組内容 流山本町及び利根運河両地域のツーリズムを推進するとともに、大阪・関西万博に向けた準備を進めます。また、流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）を支援しつつ連携し、コンテンツの充実に取り組みます。

地域資源を活かしたツーリズムの振興

流山版ＤＭＯ推進事業

観光地域づくりの舵取り役として官民連携により設立された法人である流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）の活動を支援し、観光振興を推進します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	37,106	37,106	11,875	49,400	22,050	27,350

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
				流山本町地域への来訪者数（人）	198,543	153,844	200,000

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）の活動を支援するとともに、連携し流山本町及び利根運河両地域のツーリズムを推進を図りました。	・現状 流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）と共にツーリズムの推進に取り組んでいます。
・評価 流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）の事業計画等について、情報共有が図られました。	・課題 引き続き、流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）の事業計画等について、様々な関係者と共有を図る必要があります。
・課題に対する改善点 令和6年5月に流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）の代表から議会に対して事業計画や経営改善策の説明をしました。また、令和6年第3回定例会市民経済委員会協議会においても流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）の代表から令和5年度決算や事業計画の説明をしました。	・取組 流山本町及び利根運河両地域のツーリズムを推進するため、流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）の活動を支援しつつ、連携を図ります。

地域資源を活かしたツーリズムの振興

流山本町・利根運河ツーリズム推進事業

流山本町及び利根運河地域の歴史的建造物を活用し、飲食店やギャラリー、観光情報の発信等を行う拠点を創出します。また、地域情報誌掲載による観光PRを行い、来訪者の増加を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	8,423	11,640	9,896	9,108	0	9,108

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
ツーリズム推進事業補助金相談回数（回）	6	8	8	ツーリズム推進事業補助金（改装）件数（件）	1	2	2
				ツーリズム推進事業補助金（家賃）件数（件）	4	7	8

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 古民家を活用して出店する事業者に補助金を交付しました。	・現状 流山本町及び利根運河両地域の地域資源を活かすとともに、古民家活用に係る先進事例を調査する必要があると考えています。
・評価 流山本町・利根運河ツーリズム推進事業補助金では、令和6年度新規オープンの事業者に対し改装費等を補助しました。	・課題 流山本町及び利根運河両地域のツーリズム推進のため、PR活動や古民家を活用して出店を希望する事業者への支援が必要です。
・課題に対する改善点 流山本町及び利根運河両地域のツーリズム推進のため、PR活動や古民家を活用して出店を希望する事業者への支援を図りました。	・取組 地域を回遊するイベントの開催や地域誌によるPRを行います。また、古民家を活用して出店する事業者に補助金を交付します。

地域資源を活かしたツーリズムの振興

白みりんミュージアム整備事業	白みりん発祥の地であることをPRし、白みりんについて学び体験できる施設を流山本町地域に整備します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	164,943	164,500	23,090	0	0	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
施設整備の進捗状況（%）	76.7	100.0	-	施設の入込客数（人）	-	1,220	20,000

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 白みりん発祥の地であることをPRし、流山本町の回遊の拠点とするため、白みりんについて学び体験できる白みりんミュージアムを整備しました。	・現状 白みりんミュージアムの竣工により、令和6年度で事業は終了しました。
・評価 白みりんミュージアムにおいて、みりんの製造工程を映像や一部実演での体験、白みりん関連展示物の見学など、白みりん誕生の歴史を学ぶことができるようになりました。	・課題 白みりんミュージアムの竣工により、令和6年度で事業は終了しました。
・課題に対する改善点 工事等の進捗状況を確認するとともに、開館準備を進め、令和7年3月29日に白みりんミュージアムを開館することができました。	・取組 白みりんミュージアムの竣工により、令和6年度で事業は終了しました。

来訪者の受入体制の充実

外国人観光客誘致促進事業	流山本町及び利根運河両地域の地域資源を活用し、両地域へ外国人観光客を誘致するためのプロモーションを行います。また、国等が実施するJETプログラムに基づく国際交流員（CIR）を任用し、外国人目線でSNSを活用した情報発信を行うとともに、店舗と協力し、店舗の英語対応表示やメニューの英語化等、受け入れ態勢整備を行います。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	7,029	6,151	5,278	7,549	0	7,549

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
外国人向けモニターツアーの実施数（回）	1	2	2	外国人観光客の来訪数（人）	1,252	2,135	2,135

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 流山本町及び利根運河両地域の地域資源を活用し、両地域への外国人観光客を誘致するためのプロモーション及び取り組みを行いました。また、国際交流員によるSNSを活用した外国人目線での情報発信を行いました。	・現状 引き続き、国等が実施するJETプログラムに基づく国際交流員を任用しています。
・評価 国際交流員が流山本町及び利根運河両地域の地域資源について、外国人目線での情報発信を行い、外国人観光客の誘致に寄与しました。	・課題 ターゲットである台湾、欧米の外国人観光客の動向に注視し、最新のニーズを把握した上で、プロモーション方法を検討する必要があります。
・課題に対する改善点 ターゲットである台湾、欧米の外国人観光客に対し、外国人インフルエンサー等による情報発信を行うとともに、外国人向けのキャンペーンを実施しました。	・取組 流山本町及び利根運河両地域の地域資源を活用し、両地域への外国人観光客を誘致するためのプロモーション及び取り組みを行います。また、国際交流員によるSNSを活用した外国人目線での情報発信を行います。

主管部局　健康福祉部　　施策の目的　高齢者が住み慣れた地域のなかで、いつまでも自分らしく生き生きと暮らせるまちをつくる

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
高齢者の人口	住民基本台帳人口（市民課）※翌年度4月1日時点	47,138	47,304	47,390	人	-
生きがいを感じる高齢者の割合	「生きがいをもって元気に暮らしていると思いますか」における「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」の割合（まちづくり達成度アンケート）	80.2	81.1	80.0	%	↑
要介護・要支援認定率	65歳以上の要介護・要支援認定者数／第1号被保険者数（65歳以上）×100（介護支援課）※翌年度4月1日時点	18.6	19.4	20.2	%	↓

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 令和5年度に実施した一般高齢者と高齢者ふれあいの家利用者の生きがいや幸福度についてのアンケート結果から、高齢者ふれあいの家の意義や効果を市民へ周知し、新規開設や利用者増加に繋がるよう取り組みの重要性や継続することの必要性の理解を図りました。また、関係機関と連携し、通いの場での高齢者の生きがいづくりや介護予防の推進を実施しました。	**・現状** 高齢者ふれあいの家の生きがいや幸福度に関する効果を市民へ周知し、新規開設や利用者増加に繋がるよう取り組みの必要性の理解を図り、通いの場での高齢者の生きがいづくりや介護予防の推進を図ります。また、住み慣れた地域で末永く安心した生活を送るため、令和7年度から新たにひとり暮らし高齢者の緊急通報装置（民間事業者対応方式）の拡充や難聴高齢者補聴器購入費助成制度を開始しています。
・評価 高齢者ふれあいの家の生きがいや幸福度に関する調査結果については、市民向けポスターやホームページを作成し、高齢者ふれあいの家ガイドブックの編集に市民と市で一緒に取り組み、広く周知を行いました。また、コロナ禍で休止していた高齢者ふれあいの家の代表者会議を開催し、高齢者ふれあいの家の継続や横のつながりを意識した取り組みについて有意義な意見交換ができました。	**・課題** 高齢者の社会的交流や趣味等を通じた生きがいの充実を図るため、高齢者ふれあいの家の継続や新規開設への支援を行うことが必要であり、より一層、介護予防事業との連携を図り、高齢者の生きがいづくりや介護予防を推進していくことが求められています。また、令和7年度から新たに拡充したひとり暮らし高齢者の緊急通報装置（民間事業者対応方式）や難聴高齢者補聴器購入費助成制度についての周知を図ることが必要です。
・改善点 高齢者の社会的交流や趣味を通じた生きがいの充実を図るために、コロナ禍は休止していた高齢者ふれあいの家代表者会議を開催することができ、現在実施している高齢者ふれあいの家を継続を継続することの重要性や、高齢者ふれあいの家同士の横のつながりを大切にしていくことを、市民と行政が再度認識することができ次年度以降の活動展開に繋がりました。	**・取組内容** 令和6年度に作成した高齢者ふれあいの家ガイドブックにより、高齢者ふれあいの家の取り組み内容を広く市民に周知し、高齢者ふれあいの家への参加者増加と新規開設に向けて支援を行います。また、ひとり暮らし高齢者の緊急通報装置（民間事業者対応方式）や難聴高齢者補聴器購入費助成制度についての周知を図り、必要な方への支援を行います。

多様な生きがいづくり

敬老バス支援事業

高齢者団体に市が大型バスを貸出し、高齢者相互の親睦やレクリエーション活動等の支援を行うことで、健康で生きがいのある生活を促進します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
高齢者支援課	9,606	8,550	1,980	10,790	0	10,790

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
利用回数（回）	119	131	160	リピート率（%）	97	97	99
利用人数（人）	3,150	3,661	4,100				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 適切に敬老バスを利用するために、公平・公正・平等に抽選や調整を図ることや、提出された行程表の確認作業の徹底等を行い、安全安心な敬老バス事業を遂行しました。	**・現状** コロナウイルス感染拡大によって一時期利用回数は大幅に減少しましたが、現在は利用回数も回復し、利用団体の生きがい推進に貢献しています。
・評価 コロナウイルスが5類に移行してから稼働回数が増加し、年間131回と前年比110%の稼働となりました。また、利用者のバス利用に対するマナー意識が薄れていたことから注意喚起資料を作成し、抽選会等で周知しました。	**・課題** 利用団体の要望が多様化していることから、定められた利用条件の範囲内で適切かつ柔軟な対応をする必要があります。
・課題に対する改善点 行楽シーズンには利用者同士の希望日が重複しましたが、各団体が抽選参加時に予備日を設けておくことで、抽選に外れても利用日変更などの調整がスムーズにできるようになり、多くの団体が利用できました。	**・取組** 敬老バスの事故やトラブルのないように利用条件や利用方法についての周知徹底を図り、安心安全な敬老バス事業の継続を図ります。

多様な生きがいづくり

高齢者ふれあいの家支援事業

市内の空家等を利用し、閉じこもりがちな高齢者が自由に集まり、地域のこどもたちを含めた高齢者との交流や健康づくり、趣味活動ができる場所を提供していただける個人・団体等を支援します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
高齢者支援課	6,677	6,774	2,639	7,047	5,812	1,235

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
年間開催総数（回）	5,699	5,716	5,800	年間利用者総数（人）	70,861	72,434	72,000
市内設置場所（か所）	32	33	36				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 高齢者ふれあいの家利用者の生きがい度や幸福度について、一般高齢者を比較したポスターの制作及び各高齢者ふれあいの家の紹介と開設に向けたガイドブックの作成に取り組みました。	**・現状** 高齢者ふれあいの家の開設者への支援を通じて、市内の高齢者に通いの場を提供しています。市内の高齢者が歩いて行ける所に高齢者ふれあいの家があるように、増設に努めています。
・評価 新規に2件の高齢者ふれあいの家を開設しました。 高齢者ふれあいの家の開設者間の情報交換及び交流の場として、令和元年度まで開催していた連絡会を再開しました。	**・課題** 開設者の高齢化により、活動を行う担い手が不足している高齢者ふれあいの家が多く、スタッフの確保等の支援をしていくことが必要です。
・課題に対する改善点 調査や分析を行った高齢者ふれあいの家の効果について、市民へフィードバックすることで、高齢者ふれあいの家の開設や利用者の増加につなげ、ボランティアスタッフの増加に繋げました。	**・取組** 高齢者ふれあいの家ガイドブックを活用し、事業の周知及び利用者の増加を図るほか、開設者及び開設希望者への支援に務めます。

多様な生きがいづくり

高齢者福祉センター森の倶楽部整備改修事業	高齢者福祉センター森の倶楽部の浴室については、年末年始を除く年中無休で稼働してきましたが、長期間の使用により熱交換器の劣化が顕著となり、ガス漏れの危険性や火災発生の恐れがあること、また故障等により利用者に支障が生じないようにする必要があることから、給湯器の交換を行います。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
高齢者支援課	4,230	5,456	660	0	0	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
給湯器の交換進捗率（%）	-	100	-	利用者の入浴施設満足度（%）	96	100	-

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 入浴施設の利用は人気が高く、身体の保清保持、血行促進、コミュニティづくりに必要なことから、安定的な入浴環境を維持するため、入浴施設用ガス給湯器の交換工事を行いました。	・現状 令和6年度で事業は終了しました。
・評価 ガス給湯器6台全ての交換工事を行いました。交換後の稼働は安定しており、利用者の満足度向上に寄与しました。	・課題 令和6年度で事業は終了しました。
・課題に対する改善点 ガス給湯器の経年劣化による損傷が故障に繋がると、入浴施設利用ができなくなり市民サービスの低下へつながるため、迅速に交換工事を行いました。	・取組 令和6年度で事業は終了しました。

地域ぐるみ支え合い体制づくり

在宅高齢者介護予防・生活支援事業	公共交通機関の利用が困難な非課税世帯の単身高齢者を対象に、自宅の玄関から病院等の利用施設まで移動及び乗降の介助を支援します。その他、理美容店へ出向くことが困難な高齢者に対して、訪問による理美容サービスに係る費用の助成や、加齢により耳が遠くなり日常生活に不便を感じている高齢者に対して補聴器の購入費の一部を助成します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
高齢者支援課	10,608	10,566	2,639	15,553	1,260	14,293

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
訪問理美容サービス利用回数（回）	43	75	90	訪問理美容サービス新規利用者（人）	12	32	43
外出支援サービス利用回数（回）	3,877	4,087	4,700	外出支援サービス新規利用者（人）	45	42	50

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 運転ボランティアの募集について関係課や関係機関と連携して周知を実施しました。	・現状 高齢者の外出支援について、新たな担い手の確保が困難になっています。また、令和7年度から新たに難聴高齢者補聴器購入費用助成を開始しています。
・評価 サービスへの需要の増加や、現在活動中の運転ボランティアの高齢化が進んでいる状況において、十分な運転ボランティアの確保には至りませんでした。	・課題 外出支援サービス利用者から納入通知書による金融機関での支払いは困難であるという話があります。また、運転ボランティアの人数を安定して確保する必要があります。
・課題に対する改善点 運転ボランティアを増加させるための情報発信を行いました。	・取組 外出支援サービスの利用料について納入通知書による市への支払いから、事業者に直接支払う方式に変更します。また、運転ボランティアの募集を引き続き関係課や関係機関と連携して実施します。難聴高齢者補聴器購入費用助成について広報やチラシ、市ホームページ等により周知を行います。

地域ぐるみ支え合い体制づくり

ひとり暮らし高齢者緊急通報装置給付事業	ひとり暮らし高齢者等の緊急時の連絡手段を確保するため、消防署が対応する緊急通報装置の給付や民間事業者が対応する緊急通報装置の貸与を行います。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
高齢者支援課	2,364	1,737	2,639	2,506	120	2,386

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
延べ設置数（台）	121	121	140	救急車出動数（回）	20	10	-

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 ひとり暮らし高齢者のニーズに合わせることができるように、新しい緊急通報システムについて研究しました。	・現状 従来の消防署が対応する緊急通報システムに加えて、令和7年4月1日から、民間事業者が対応する、人感センサーによる異常監視サービスなどの機能を含んだ緊急通報システムを開始します。
・評価 令和7年度より民間事業者が対応する、人感センサーによる異常監視サービスなどの機能を含んだ緊急通報システムの開始を決定しました。	・課題 新たに開始した民間事業者が対応する緊急通報システムについて市民や関係機関への周知が必要です。また、事業の効果について検証をする為に、必要な項目を検討する必要があります。
・課題に対する改善点 従来の消防署が対応する緊急通報だけができるシステムに加え、民間事業者が対応する、人感センサーによる異常監視サービスなどの機能を含んだ緊急通報システムを追加しました。	・取組 2つの緊急通報システムについて、市ホームページや広報などでサービス開始の周知を行います。

地域ぐるみ支え合い体制づくり

在宅医療介護連携推進事業	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関と介護事業所等の関係者の連携を推進します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
介護支援課	12,123	11,427	19,791	11,448	11,448	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
介護と医療をつむぐ会開催回数（回）	5	4	4	情報共有システムを利用した在宅療養者数（延べ）（人）	55	62	75
出前講座開催回数（回）	4	5	3				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 「在宅医療介護連携会議」及び「介護と医療をつむぐ会」の開催のほか、地域ごとに症例検討会を開催し、質の向上や連携推進を図りました。また、市民啓発活動として、在宅療養についての周知や人生会議の普及啓発のための出前講座を行いました。	・現状 地域の医療と介護についての課題抽出及び改善に取り組むとともに、専門職間の連携構築を図っています。在宅医療や介護サービス、相談窓口等に関する市民の理解を深める活動を行っています。
・評価 医療・介護専門職間の連携促進のためのICTを活用した情報共有システムの運用や、多職種での研修を行うことで、さらなる連携強化を図りました。また、市民啓発のための講演会や情報紙を配布しました。在宅医療介護連携会議では、介護現場でのハラスメント対策を検討しました。	・課題 医療職と介護職が協働できる関係性を作り、さらに良質な在宅医療・介護を提供できる体制構築を進めていく必要があります。市民に対しては、在宅医療や介護、人生会議に関する普及啓発を行う必要があります。
・課題に対する改善点 「在宅医療介護連携会議」及び「介護と医療をつむぐ会」を開催し、医療職と介護職がスムーズに協働するための関係構築に取り組みました。市民向けの講演会や出前講座を実施し、在宅療養に関する情報提供や人生会議の推進を行いました。ハラスメント対策として、事業所で活用できるように、利用者に向けたパンフレットを作成しました。	・取組 「在宅医療介護連携会議」及び「介護と医療をつむぐ会」にて地域の現状把握や対応策の検討を行い、専門職のスキルアップや連携体制づくりを図ります。また、市民が在宅療養、人生会議等への理解を深められるよう、市民公開講座の開催や「おうち療養情報紙」の発行等の活動を継続していきます。

地域ぐるみ支え合い体制づくり

地域包括支援センター委託事業	介護保険の被保険者が要介護状態となることを予防するため、心身の状況や環境等に応じ、包括的な援助や福祉の増進を図るための包括的支援事業を実施し、地域住民の健康の維持及び生活の安定のための援助を行う、高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）の設置・運営を委託します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
高齢者支援課	174,710	174,414	14,320	208,602	168,444	40,158

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
相談件数（件）	20,432	20,880	21,000	運営状況調査評価指標の点数（全センター平均）（点）	53	53	53

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 高齢者人口の増加や虐待等複雑困難化する事例への対応のため、市と各相談室間での連携強化を行ったほか、令和6年度からスタートした生きづらさ包括支援事業と連携し、適切な支援が行えるよう、高齢者なんでも相談室の職員数の確保を検討しました。また、職員のスキルアップのため、困難事例等に対応するための研修会等を実施しました。	・現状 高齢者人口の増加による支援ニーズの増加、虐待事例や複雑困難化する事例への対応が求められています。
・評価 高齢者人口の増加や虐待等複雑困難化する事例への対応のため、市と相談室間で連絡会を毎月実施し、連携を図ることができました。また、生きづらさ包括支援事業と連携することができました。さらに、高齢者何でも相談室職員の窓口対応力向上のための研修を実施することで職員のスキルアップを図ることができました。	・課題 高齢者なんでも相談室に求められる役割の拡大や、高齢者人口の増加に伴う業務量の増加により、今後も適正な職員数の確保と職員のスキルアップを行う必要があります。
・課題に対する改善点 高齢者なんでも相談室に求められる役割の拡大や、高齢者人口等の増加に伴う業務量の増加に対応するため、適正な職員数の確保の検討と職員の窓口対応力の向上のための研修等の参加の機会を設けることができました。	・取組 高齢者人口の増加や虐待等複雑困難化する事例への対応のため、令和6年度から開始した生きづらさ包括支援事業と密に連携を図り、適切な支援を行います。担当する高齢者人口の多い、中部、東部、南部の高齢者なんでも相談室の職員数を各1名増員します。また、引き続き職員のスキルアップのため、困難事例に対応するための研修会等を実施します。

地域ぐるみ支え合い体制づくり

成年後見申立事業	成年後見制度が必要な高齢者であって、親族がいない等の理由により申立てを行うことが困難な場合に、市長が申立てを行い制度の利用に繋げます。また、成年後見制度を利用している方のうち、成年後見人等への報酬を支払うことが困難な方に対して報酬費用の一部または全部を助成することで制度の利用促進を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
高齢者支援課	12,764	5,707	8,577	9,919	9,919	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
地域包括支援センターにおける成年後見制度等相談件数（件）	208	220	232	市長申立て件数（件）	15	12	18
				成年後見人等報酬助成件数（件）	22	26	38

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 関係機関と連携し、市長申立てや報酬助成による支援を実施しました。成年後見人等報酬助成については、広報・ホームページ等で周知を行い、必要とする方を制度の利用に結び付けられるように取り組みました。	・現状 本人の身近な支援者からの相談を受けて、成年後見制度の利用が必要にも関わらず申立が困難な者について、市長申立てを実施しているほか、成年後見制度等報酬助成を実施することで、成年後見制度の利用に関する金銭的な負担の軽減を図っています。
・評価 関係機関と連携し、必要な方を市長申立てにつなげることができました。成年後見人等報酬助成については、ホームページや関係機関との会議の場等で周知を行うことで、報酬助成の件数の増加につながりました。	・課題 市長申立てや報酬助成により成年後見制度を必要とする方が利用しやすいよう引き続き周知が必要です。
・課題に対する改善点 関係機関と連携し市長申立てや報酬助成による支援を実施できました。報酬助成については、ホームページや関係機関との会議において周知を図りました。	・取組 市長申立てや報酬助成については、関係機関への周知が重要です。そのため引き続き各種会議等を通じて関係機関との連携を図っていくほか、周知を行っていきます。

介護体制づくり

介護人材確保支援事業	介護人材確保を目的として国、県の介護人材確保対策事業と連携しながら市内の介護保険施設、事業所の就業者の確保を目的とした事業を実施します。また、市単独事業として、市内介護保険サービス事業所に勤務する介護支援専門員や介護職員等の処遇改善事業と介護福祉士の資格を取得して市内の介護施設等に勤務しようとする介護福祉士等の養成施設等の在学者へ修学資金の貸し付け事業を行います。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
介護支援課	93,655	108,033	13,194	122,730	122,730	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
理解促進講座開催回数（回）	1	1	1	介護職員養成研修受講費助成件数（件）	21	18	20
				流山市介護職員処遇改善事業補助対象者人数（人）	756	1,116	1,120

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 介護人材の確保と定着支援のため、流山市介護職員等処遇改善事業補助金の対象に介護支援専門員を追加しました。また、市内介護保険サービス事業所の職員数増加を目的に、介護職員養成研修受講費助成や合同就職相談会を実施しました。	**・現状** 職員の高齢化や全国的な現役世代の急減が懸念され、介護職員や介護支援専門員を確保することがが難しくなっている状況があります。
・評価 流山市介護職員等処遇改善事業補助金の補助を受けた介護職員数が前年度よりも増加しました。就職相談会と講座を組み合わせた「流山市介護の仕事フェア2024」を開催し、求職者と介護事業所のマッチングの場所を提供しました。就職相談会をきっかけとした就職件数は前年度よりも増加しました。	**・課題** 団塊の世代が後期高齢者となり、介護需要が高まるとともに、ますます介護職が必要とされます。市民に質の高いサービスを提供するためにも、介護人材の確保及び有資格者の増加が必要になります。
・課題に対する改善点 合同就職相談会を開催し、介護職員の増加に努めました。また、質の高いサービスを提供するために、介護職員養成研修受講費助成を行い、介護職員の資格取得を支援しました。	**・取組** 市民に質の高い介護サービスを提供することを目的に、市独自の介護職員等への処遇改善、介護職員養成研修費用の助成、就職相談会等を実施し、市内の介護保険サービス事業所への人材確保と定着支援を行います。

介護体制づくり

特別養護老人ホーム整備支援事業	特別養護老人ホームの入所待機者の解消に向け、高齢者支援計画に基づいて計画的に施設整備を進めます。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
介護支援課	0	0	3,299	0	0	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
市内特別養護老人ホームの施設数（施設）	12	13	13	特別養護老人ホーム入所希望待機者数（人）	241	278	304
市内特別養護老人ホームの入所定員数（人）	1,086	1,146	1,146				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 第9期高齢者支援計画に基づき、令和8年度に100床の施設整備をするため、施設整備実施法人の公募を行いました。	**・現状** 令和9年3月の新規開設（100床）を目指して、法人支援を続けています。入所待機者数については令和7年1月現在278人となっています。
・評価 令和9年3月の新規開設（100床）に向けて、公募により社会福祉法人敬愛会を選定し、法人と千葉県との協議が行われました。	**・課題** 入所待機者の解消を図るため、計画的に施設整備を行う必要があります。
・課題に対する改善点 介護人材の確保や介護サービスの質を高めるために、開設に向けて社会福祉法人と連携し、施設整備を着実に進めました。	**・取組** 引き続き、令和9年3月の新規開設（100床）を目指して、事業者の社会福祉法人敬愛会への必要な支援を行います。

介護体制づくり

高齢者介護予防普及啓発事業	介護予防に向けた取り組みが主体的に実施されるような地域社会の構築を目指して、介護予防教室を実施します。また、知識の普及啓発を目指し、パンフレットの作成、配布を行います。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
高齢者支援課	5,726	4,238	7,917	5,422	5,422	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
介護予防教室開催数（回）	21	21	21	介護予防教室参加延べ人数（人）	328	483	400
				ながいき100歳体操グループ数（グループ）	70	73	83

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 多くの高齢者が主体的に介護予防に取り組めるよう、筋力アップ教室の周知方法の工夫やながいき100歳体操の活動グループ増加に向けて普及啓発に取り組みました。併せて「しゃきしゃき100歳体操」と「かみかみ100歳体操」の動画作成に取り組みました。	**・現状** ながいき100歳体操の普及啓発活動として介護予防教室である筋力アップ教室を計画的に実施していきます。
・評価 ながいき100歳体操の活動グループは、令和6年度新たに9グループ立ち上がり活動が活発になりました。また、個別アプローチや多くの市民が参加できる公民館等の広い会場で実施したことにより、筋力アップ教室の参加者は増加しました。	**・課題** さらに多くの高齢者が介護予防に取り組めるよう、筋力アップ教室の周知やながいき100歳体操の活動グループ増加に向けて普及啓発を展開していく必要があります。また、フレイル対策のため「しゃきしゃき100歳体操」及び「かみかみ100歳体操」についても、周知方法を工夫し展開を図ることが課題です。
・課題に対する改善点 さらに多くの高齢者が介護予防に取り組めるよう、筋力アップ教室の周知やながいき100歳体操の活動グループ増加に向けて普及啓発を展開していく必要があります。また、フレイル対策のため、「しゃきしゃき100歳体操」及び「かみかみ100歳体操」についても、動画を作成し普及啓発に取り組みました。	**・取組** 多くの高齢者が主体的に介護予防に取り組めるよう、筋力アップ教室の周知方法やながいき100歳体操の活動グループ増加に向けて普及啓発に取り組みます。併せて「しゃきしゃき100歳体操」と「かみかみ100歳体操の動画を活用した普及啓発に取り組みます。

介護体制づくり

認知症施策推進事業	認知症に関する知識の普及及び啓発を行います。また、認知症の疑いのある方や認知症の方等へ早期に対応できるよう相談支援体制の構築を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
介護支援課	1,795	764	19,791	2,024	2,024	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
認知症サポーター養成講座開催数（回）	36	23	35	認知症サポ―ター養成数（人）	1,324	1,080	1,300

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 9月の「認知症月間」に合わせて講演会や認知症体験型講座などを開催しました。また、認知症サポーターの協力により、地域で認知症の方や家族を支援できるように、チームオレンジなどの取組を進めました。	・現状 認知症の疑いがあり、支援が必要な状態となっても受診やサービスに結び付いていないケースが存在します。また、認知症当事者が社会参加できる場が少ない現状があります。令和6年に制定された認知症基本法では、「新しい認知症観」の普及啓発や認知症当事者の声を施策へ活かすことが求められています。
・評価 「認知症月間」では、認知症当事者の視点でのちばオレンジ大使の講演会実施や、公共施設やショッピングセンター等でVRを利用した認知症体験会を実施し、幅広い方に参加いただきました。また、認知症サポーターの活躍を推進するためのチームオレンジの取り組みは、チームの設置を目指し、関係団体どう協働できるか、具体的な話し合いを行いました。	・課題 認知症になっても安心して生活できるよう、認知症に対する正しい知識や「新しい認知症観」の理解を持って地域全体で認知症の方を見守ることのできる地域づくりが必要です。また、認知症当事者の声を聞く機会を作る必要があります。
・課題に対する改善点 認知症に関する知識の普及と啓発のため、認知症体験会等を実施するとともに、認知症サポーター養成講座を開催し、地域内での認知症の理解者を増やす取組を行いました。	・取組 地域づくりでは、9月を「認知症月間」とし、講演会や認知症体験会等を開催し正しい知識や新しい認知症観の普及啓発を行います。また、認知症の方や家族を支援するチームオレンジの取組みでは、関係団体と協議を行い、チームの設置を目指します。認知症当事者の声を聞く場として、各圏域で認知症の方と家族が参加できるイベント等を実施します。

主管部局　健康福祉部　　施策の目的　障害者等が、地域や家庭のなかで、自分らしく自立した生活を送ることができるまちをつくる

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
障害のある方が各種支援を受けるために必要な手帳の所持者数	障害者支援課資料　※上から身体障害者、知的障害者、精神障害者 ※R4実績＝R3年4月1日現在、R5実績＝R4年4月1日現在、R6実績＝R5年4月1日現在	4,274 1,136 1,664	4,220 1,219 1,790	4,237 1,290 1,956	人	-
障害者就労支援センターの利用者数	障害者支援課資料 R4実績＝R3年4月1日現在、R5実績＝R4年4月1日現在、R6実績＝R5年4月1日現在	174	205	188	人	↑
相談支援事業の利用者数	障害者支援課資料 ※R4実績＝R3年4月1日現在、R5実績＝R4年4月1日現在、R6実績＝R5年4月1日現在	2,790	2,899	3,242	人	↑

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 市内3か所の委託相談事業所の相談員を2名増員し、全ての委託事業所を2名体制とするとともに、基幹相談支援センターの相談員を2.5名増員し相談支援体制の強化を図りました。	・現状 今年度は、市のケースワーカーに福祉の専門職を増員し、相談支援体制を強化します。
・評価 複合化・複雑化した課題を抱える方の支援のため、相談支援体制の強化を図りました。また、自立支援協議会を通して、関係機関と連携し、地域課題を共有しました。	・課題 障害者からの相談件数は増加し、かつ相談内容も複合化・複雑化しているため、市のケースワーカーや相談支援所職員のスキルアップが課題となっています。
・改善点 相談支援事業所や障害福祉サービス事業所のスキルアップを図るため、障害者の権利擁護等に関する研修会を開催しました。	・取組内容 複合化・複雑化した課題を抱える方の支援のため、市内外の関係機関と連携し、令和6年度からスタートした生きづらさ包括支援事業と連携し、重層的支援体制の整備・拡充を更に進めていきます。

障害福祉サービスの充実

障害者自立支援給付事業

障害者等が自立した日常生活及び社会生活を送るために居宅介護（ホームヘルプ）、施設入所、就労支援、人工透析の費用の支給等、国が定める介護、訓練、補装具、医療の給付を行います。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
障害者支援課	3,077,260	3,339,000	19,791	3,275,295	2,443,590	831,705

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
障害福祉サービス支給決定者数（人）	1,224	1,289	1,500	障害福祉サービス利用延べ人数（人）	22,033	23,685	25,000

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 障害特性に応じたサービスが提供されるようサービス提供事業者に対しての研修会の実施や、事業所間の連携強化に努めました。	・現状 障害者数の増加に伴い、サービス受給者も増加し続けています。
・評価 研修等を通じ、必要なサービスが提供されるよう供給体制の維持を図りました。	・課題 取扱件数が増大していく中で、必要なサービス供給量の維持が課題となっています。
・課題に対する改善点 定期的に現状の把握を行い、サービスの質の確保に努めました。	・取組 サービスの利用状況を分析し、不足が生じないよう必要な対応を行います。

障害福祉サービスの充実

つばさ学園療育相談事業

心身の成長や発達に心配のある乳幼児や児童に対し、専門的かつ総合的な支援が行えるよう相談支援等の充実を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
児童発達支援センター	24,573	23,404	51,069	38,985	38,985	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
発達相談総件数（件）	1,332	1,251	1,251	目標発達相談総件数に対する実際に実施した相談総件数の割合（%）	114.62	93.00	100.00
新規発達相談件数（件）	567	463	463	初回面接に係る日数（日）	26.3	22.6	20.0

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 児童発達支援センターでの未就園児の受け入れ体制の整備や、支援につながるまでの継続した相談支援に努めました。	・現状 様々な情報があふれる中、早期に発達の心配を訴える保護者が増加し、相談に繋がる児童の低年齢化が進んでいます。また、転入前の電話相談が増加しています。
・評価 支援先が見つかりにくい、発達への支援が必要な低年齢児の保護者の不安に寄り添い、令和7年度開設予定の親子通園クラスでの支援につながるまでの継続した相談を提供することができました。	・課題 電話相談で求められる情報は多岐に渡り、年齢ごとに内容が異なるため医療機関などの情報を随時更新しセンター内で共有していく必要があります。
・課題に対する改善点 保護者の不安軽減とこどもへの適切な支援を目的に、令和7年度から児童発達支援センター児童デイつばさに0歳児・1歳児を対象とした親子通園クラスを設置するため、低年齢児の保護者へ、支援に向けての情報提供や助言ができました。	・取組 他機関との情報共有や職員の専門性向上を図り、多岐に渡る相談内容に対応できるようにします。また近隣の関係機関と連携を図り、転入者がスムーズ支援につながるように努めます。

障害福祉サービスの充実

障害児通所支援事業	児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援等のサービスを行う民間施設及びつばさ学園に対して、障害児福祉サービスに係る給付を行います。また、すべてのサービス利用者に障害児相談支援を行います。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
障害者支援課	2,090,554	2,408,667	11,875	2,508,563	1,877,901	630,662

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
障害児通所支援支給決定者（人）	1,428	1,691	1,800	障害児通所支援事業所利用者（人）	16,656	19,705	22,650

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 児童発達支援センターを中心とした地域の連携体制を築き、障害児支援利用計画の作成率の上昇を目指しました。	・現状 障害児通所サービス受給者は増加し続けています。
・評価 障害児支援利用計画を作成した人数は増えましたが、サービス受給者の増加が上回り、計画作成率は上がりませんでした。	・課題 障害児通所サービス受給者の増加が障害児支援利用計画作成者数の増加を上回り、セルフプラン率は上がっています。
・課題に対する改善点 市内事業所の相談支援専門員の受け入れ状況を共有し、受け入れ可能な事業所でのスムーズな計画作成に努めました。	・取組 計画作成ができる事業所の新規開設や相談支援専門員の新規雇用を支援し、セルフプラン率の改善を目指します。

障害福祉サービスの充実

障害者グループホーム等運営費補助事業	小規模なグループホームの運営費の一部を助成し、経営の安定化を図り、入居者の自立と社会参加の促進を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
障害者支援課	0	17,463	3,959	0	0	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
補助件数（件）	32	37	35	対象施設への入居者数（人）	129	151	150

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 事業者からの請求情報を活用し、利用者の入退去の状況を把握しました。	・現状 障害者数の増加に伴い、グループホーム利用者についても増加傾向にあります。
・評価 正確な情報を把握することで、適正な補助金執行に努めました。	・課題 引き続き利用者の入退去状況や利用する事業者の正確な把握が必要です。
・課題に対する改善点 利用者の入退去状況や利用する事業者の把握を適宜行いました。	・取組 正確な情報の元、引き続き適切な補助執行に努めます。

障害福祉サービスの充実

つばさ学園改修事業	職員の増員に伴い狭隘している事務室の拡張を行います。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
児童発達支援センター	41,542	41,438	16,493	0	0	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
事務室拡張工事進捗率（%）	24	100	-				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 拡張工事が完了するまでは、児童の支援に伴う作業については事務所以外のスペースで作業するなど執務環境を工夫しました。	・現状 令和6年度で事業は終了しました。
・評価 ひとり当たりのスペースが1.5倍となり、拡張工事により、執務環境が改善され、事務執行の効率化が図られました。	・課題 令和6年度で事業は終了しました。
・課題に対する改善点 職員が事務所内で作業する時間が重なると、スペースの確保が難しい現状が続いていたため、空き教室を使用して作業を進めました。	・取組 令和6年度で事業は終了しました。

障害福祉サービスの充実

児童発達支援センター整備費補助事業	障害児やその家族に対し専門的な支援を拡充するため、民設・民営の児童発達支援センターに対し、令和6年度からの開設に向け、建設費の一部を補助するものです。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
障害者支援課	70,000	30,000	1,980	0	0	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
補助額（千円）	-	30,000	-	補助件数（件）	-	1	-

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 令和6年度及び令和7年度中の開設に向けて、適切にスケジュールを管理しました。	・現状 令和6年度で事業は終了しました。
・評価 補助を実施した児童発達支援センター1施設が令和6年度に開設しました。	・課題 令和6年度で事業は終了しました。
・課題に対する改善点 開設する児童発達支援センターと既存の児童発達支援センターとの連携を図りました。	・取組 令和6年度で事業は終了しました。

障害福祉サービスの充実

障害児者福祉施設整備費補助事業	人口増加に伴い、障害者児の人数も増加しており、障害特性に応じた障害福祉サービス（児童福祉サービス）の提供体制を整備していく必要があることから、事業者が流山市で開設する動機付けとして補助金を用意するものです。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
障害者支援課	0	0	0	60,000	20,000	40,000

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
補助額（千円）	-	-	60,000	施設数（件）	-	-	2

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 令和6年度は事業の実施がありませんでした。	・現状 人口増加に伴い、障害者児の人数も増加しており、障害特性に応じた障害福祉サービス（児童福祉サービス）の提供体制を整備していく必要があります。
・評価 令和6年度は事業の実施がありませんでした。	・課題 特に早期の親子支援と医療的ケア児及び重症心身障害児に対しての事業所整備について課題があります。
・課題に対する改善点 令和6年度は事業の実施がありませんでした。	・取組 補助金を用意することで、本市で開設等をする事業所の整備を行います。

障害福祉サービスの充実

つばさ学園施設整備事業	つばさ学園を利用する園児の事故防止や施設の老朽化に伴う整備、国の制度改正や方針により必要とされる施設整備を行うものです。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
児童発達支援センター	0	0	0	716	716	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
見守りカメラ設置工事進捗率（%）	-	-	100				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 令和6年度は事業の実施がありませんでした。	・現状 多様な障害のあるこどもや家庭環境に困難を抱えたこどもに対し、適切な発達支援を実施しています。
・評価 令和6年度は事業の実施がありませんでした。	・課題 多様な障害のあるこどもが、安心安全に利用することができるような環境を改善していくことが課題です。
・課題に対する改善点 令和6年度は事業の実施がありませんでした。	・取組 つばさ学園施設内において、見守りカメラを教室に4台及びプレイルームに1台設置します。

障害福祉サービスの充実

児童デイつばさ施設整備事業	事故防止や施設の老朽化に伴う整備、国の制度改正や方針により必要とされる施設整備を行います。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
児童発達支援センター	0		0	0	285	285	0
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
見守りカメラ設置工事進捗率（%）	-	-	100				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 令和6年度は事業の実施がありませんでした。	・現状 多様な障害のあるこどもや家庭環境に困難を抱えたこどもに対し、適切な発達支援を実施しています。
・評価 令和6年度は事業の実施がありませんでした。	・課題 多様な障害のあるこどもが、安心安全に利用することができるような環境を改善していくことが課題です。
・課題に対する改善点 令和6年度は事業の実施がありませんでした。	・取組 児童デイ施設内において、見守りカメラを教室に2台及びプレイルームに1台設置します。

自立と社会参加の促進

障害者地域生活支援事業	障害者等が地域で自立した生活を送るための相談支援、手話等による意思疎通支援、日常生活用具の給付、訪問入浴サービス、地域活動支援センター等による支援を行います。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
障害者支援課	147,927		137,000	15,174	0	0	0
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
委託相談員の人数（人）	6	11	11	相談支援を利用している障害者の人数（人）	2,899	3,242	3,200

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 移動支援や日中一時支援などの制度改正のため、地域の現状把握及び課題抽出を行いました。	・現状 障害者の増加に加え、複雑化した課題を抱える世帯も増加しています。
・評価 収集した地域の現状及び課題を分析し、必要とされるサービスをピックアップしました。	・課題 同居家族の負担が増大しており、その軽減が課題となっています。
・課題に対する改善点 課題となっていた同居する家族の負担軽減に向け、具体的な改善点の洗い出しを行いました。	・取組 前年度抽出した改善点を解消するための具体的な制度改正に向け、詳細な制度設計を進めます。

自立と社会参加の促進

障害者就労支援センター運営事業	就労支援事業として、障害者の働く場の確保と一般企業への就労につなげるため、市役所内に障害に配慮した職場環境を整えたチャレンジドオフィスながれやまを開設します。そこで、障害がある方を会計年度任用職員として一定期間雇用することで実際の職務経験を通じて就労のスキル向上を図り、一般企業等への就職を目指します。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
障害者支援課	8,750		7,889	35,430	25,395	0	25,395
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
チャレンジドオフィススタッフ在籍者数（人）	-	-	4	チャレンジドオフィススタッフの一般企業への就職者数（人）	-	-	-
庁内業務受注数（件）	-	-	84.1				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 令和7年度チャレンジドオフィスながれやま開設に向けた準備を行いました。	・現状 4月からチャレンジドオフィスながれやまを開設し、障害のあるチャレンジドオフィススタッフ4名と、その業務をサポートする就労支援員2名を配置します。庁内各課の定型業務をオフィスに集約・処理することで、業務の効率化を図ります。
・評価 チャレンジドオフィスを先行して開設している自治体への見学等を行い、障害のあるスタッフに合わせた選考方法の検討や職場環境の整備等を行うことができました。	・課題 障害や疾病等の理由からすぐの就職が難しい障害がある方（チャレンジドオフィススタッフ）が、庁内での業務経験を通して、ステップアップへの自信をつける機会となるように、就労サポートをする必要があります
・課題に対する改善点 身体障害者だけでなく、その他の精神障害や発達障害がある方等への就労の機会を作ることができました。	・取組 受注業務内容の種別を広げ、障害特性や個々の能力に応じた業務に従事できるよう図ります。同時に、障害者就労支援に携わっている専門の職員がチャレンジドオフィススタッフへ定期面談等を行い、安定して働けるよう支援します。

自立と社会参加の促進

障害者成年後見申立事業	成年後見制度が必要な知的障害者または精神障害者で、親族がいない等の理由により申立てを行うことが困難な場合に市長が申立てを行い、制度の利用に繋げます。また、成年後見制度を利用している方のうち、成年後見人等への報酬を支払うことが困難な方に対して報酬費用を助成することで制度の利用促進を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
障害者支援課	4,184	2,838	3,299	0	0	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
市長申立件数（件）	5	3	5	報酬助成の金額（円）	2,995,000	2,789,000	3,840,000
報酬助成申請件数（件）	12	12	16				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 報酬助成制度について、市ホームページでの周知を続けるとともに、研修会等においても報酬助成度について啓発しました。	・現状 実績が目標に及ばない状況が続いています。
・評価 周知・啓発活動を行ったものの、実績が目標を下回っています。	・課題 制度を更に周知していく必要があります。
・課題に対する改善点 市長申立てや報酬助成による支援を実施するとともに、制度の更なる周知を行いました。	・取組 よりわかりやすくなるよう、市ホームページの記載内容の見直しを行います。また、研修会等での啓発活動も継続します。

主管部局　健康福祉部　　施策の目的　自助・共助・公助の役割分担のもと地域の“チカラ”を高める

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
福祉のサービス等に市民が参加できる（協力できる）まちぐるみの福祉ができていると思う市民の割合	「できている」「どちらかといえばできている」と回答した割合（まちづくり達成度アンケート）	55.5	54.8	61.1	%	↑
生活保護受給者数	社会福祉課	1,883	1,950	1,905	人	-

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 様々な問題を抱える生活困窮者に対し、早期の自立に向けた支援を継続して行いました。生きづらさ包括支援事業においては、支援会議及び重層的支援会議を通じて、支援関係者間の関係づくりを進めました。地域支え合い活動の推進や個別避難計画の作成については、地域住民・自治会、当事者や日頃から関わっている福祉専門職と連携して対応しました。	**・現状** 生活困窮者自立支援事業及び生きづらさ包括支援事業では、ひきこもり等の8050世帯や生活困窮など複合的な課題を抱えていても、誰にも相談できず抱え込んでしまっている方が少なからずいます。地域支え合い活動や個別避難計画の作成については、高齢化が進展する状況のなか、全国的に災害が頻発していることから、より一層の活動が求められています。
・評価 生活困窮者自立支援事業及び生きづらさ包括支援事業では、関係者間の顔の見える関係づくりが進展しており、早期自立に向けた支援についても連携して対応する事例が増えてきました。個別避難計画に関しては、医療的ケアを要する方や障害をお持ちの方など、災害時に特に支援を必要とする方について優先的に計画を作成しました。	**・課題** 生活困窮者自立支援事業及び生きづらさ包括支援事業では、関係者間の顔の見える関係づくりは進展してきましたが、各事例への連携した対応などは今後も向上させていく必要があります。また、地域共生社会の実現に向けた地域づくりについても進めていく必要があります。個別避難計画の作成については、災害時に特に支援を必要とする方の作成は進んでいますが、地域での自主的な取組を推進する必要があります。
・改善点 生活困窮者自立支援事業及び生きづらさ包括支援事業を実施するにあたり、支援関係者間の顔の見える関係づくりが課題でしたが、支援会議や重層的支援会議を通じて関係者間の連携体制を充実させることに努めました。個別避難計画に関しては、対象者の家族状況や身体の状況により災害発生時の避難支援等実施者となっていただく方を決めることが困難と考えていましたが、地域住民や関係機関と丁寧に連携することで計画作成することができました。	**・取組内容** 生活困窮者自立支援事業及び生きづらさ包括支援事業では、関係者間の顔の見える関係づくりと各事例への連携した対応を深化させることに加えて、今あるの地域資源を有効活用して、地域共生社会の実現に向けた地域づくりを進めていきます。地域支え合い活動や個別避難計画の作成については、自治会、地域住民、関係機関、民生委員児童委員等と連携して、地域での自主的な取組をより一層推進していきます。

地域福祉の推進

福祉会館整備事業

市民の健康と福祉の増進を図るため、地域福祉活動の拠点としての福祉会館の改修を行います。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
社会福祉課	24,962	30,652	12,341	21,843	16,700	5,143

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
改修工事件数（件）	6	4	3	福祉会館延べ利用人数（人）	279,077	286,538	286,600

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 思井福祉会館屋上防水工事、流山福祉会館外装塗装改修及び防水工事、野々下福祉会館空調機器増設工事を実施しました。	**・現状** 特殊建築物の定期報告調査の結果に基づき、必要な修繕及び工事を実施するよう取り組みます。
・評価 年度当初に予定していた工事は完了しました。利用者の利便性向上を図りました。	**・課題** 計画的に工事を進め、利用者が快適に施設を利用できるよう配慮します。
・課題に対する改善点 計画的に改修工事を進め、利用者が快適に施設を利用できるよう配慮しました。	**・取組** 江戸川台福祉会館の屋上防水及び外壁塗装改修工事、駒木台・野々下・東深井福祉会館コンデンサー更新工事、西深井福祉会館雨樋改修工事を実施します。

地域福祉の推進

地域支え合い活動推進事業

孤立死防止と災害時の支援のために、地域における日常からの支え合い・見守りを推進します。災害時に特に支援を必要とする要配慮者について個別避難計画の作成を推進します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
福祉政策課	14,112	13,044	13,194	13,208	4,600	8,608

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
支え合い活動対象者名簿登載者数（人）	13,535	14,471	15,000	地域支え合い活動協力自治会等数（件）	125	126	130

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 地域支え合い活動の推進や個別避難計画の作成については、地域住民・自治会、当事者や日頃から関わっている福祉専門職と連携して対応しました。	**・現状** 高齢化が進展する状況のなか、全国的に災害が頻発していることから、より一層の活動が求められています。
・評価 個別避難計画に関しては、医療的ケアを要する方や障害をお持ちの方など、災害時に特に支援を必要とする方について優先的に計画を作成しました。	**・課題** 個別避難計画の作成については、災害時に特に支援を必要とする方の作成は進んでいますが、地域での自主的な取組を推進する必要があります。
・課題に対する改善点 令和6年度からの本格的な実施にあたり、本人・家族や福祉専門職との連携が課題となっていました。そのため、丁寧な情報共有や対応に努めるほか、事業への理解をいただくために、当事者・家族の会や福祉専門職の組織等との情報提供や意見交換を密に行いました。	**・取組** 自治会、地域住民、関係機関、民生委員児童委員等と連携して、地域での自主的な取組をより一層推進していきます。

地域福祉の推進

重層的支援体制整備事業	既存の制度の狭間あるいは複雑化・複合化した課題を抱える市民に支援を届けるため、生きづらさ包括支援事業（重層的支援体制整備事業）を実施します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
福祉政策課	26,604	26,204	26,388	36,953	27,716	9,237

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
「新たな機能」で取り扱った相談件数（件）	-	101	120	「新たな機能」で状況改善がみられた件数（件）	-	49	60

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 支援会議や重層的支援会議を定期開催することで、支援関係者間の顔の見える関係づくりに取り組みました。また、支援関係者との連携による支援を実施しました。	・現状 ひきこもりを含めた8050問題、依存症、生活困窮等、様々な生活課題が複雑化・複合化していても、相談支援と繋がらず抱え込み、適切な支援を受けられていない事例が依然として潜在していると考えられます。
・評価 定期的に開催した支援会議や重層的支援会議、必要に応じて随時開催した支援会議を通じて、支援関係者間の顔の見える関係づくりが進展し、連携して支援に当たる事例が増えてきました。	・課題 各事例に応じた適切な受止めや支援について、支援関係者間の緊密な連携等により、質的、量的に向上させていくことが求められています。また、地域共生社会の実現へ向けた地域づくりについても進めていく必要があります。
・課題に対する改善点 既存事業に多機関協働事業、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業及び参加支援事業という「新たな機能」を加えて一体的に実施し、庁内外の支援関係者間の顔の見える関係性が構築でき、円滑な支援実施に結び付いた事例がありました。	・取組 支援会議や重層的支援会議を通じ、引き続き、支援関係者間の顔の見える関係づくりを進め、緊密な連携により各事例への適切な受止めや支援を円滑に行います。また、地域資源を有効活用し、地域共生社会の実現へ向けた地域づくりを進めます。

生活困窮者支援

生活困窮者自立支援事業	生活困窮者を対象に、自立に向けた包括的・継続的な支援を行います。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
社会福祉課	52,918	41,741	5,278	46,506	30,102	16,404

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
自立支援相談件数（件）	185	169	177	プラン作成件数（件）	57	9	33
住居確保給付金支給件数（件）	27	4	15				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 自立に向けた包括的・継続的な支援を行い、生活困窮者の更なる把握に努め解決を目指しました。	・現状 引き続き、様々な課題を抱える生活困窮者に対し、生活の立て直しに必要な支援を継続して行います。
・評価 生活の立て直しに向けた包括的・継続的な支援に努めました。	・課題 高齢者や精神的な疾病や障害をもつ方の相談が増え、支援の長期化や複雑さなどが課題となっています。
・課題に対する改善点 様々な状況を抱えた生活困窮者の個々の状況を把握し、その状況に応じた支援を行いました。	・取組 関係機関と連携を図りながら、自立に向けた継続的な支援を行っていきます。

生活困窮者支援

生活保護法等に基づく扶助事業	生活保護受給者に各種扶助（生活・教育・住宅・医療・介護・出産・生業・葬祭）を適正に実施します。また、就労支援を始めとする自立支援プログラムの充実やハローワークとの連携により、保護受給者の経済的自立の支援を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
社会福祉課	3,340,000	3,504,046	156,621	3,511,988	2,682,628	829,360

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
生活保護受給者数（人）	1,950	1,905	1,962	保護率（%）	0.92	0.89	0.92
自立支援プログラム相談回数（被保護者就労支援事業分）（回）	158	170	175	自立支援プログラム利用後、就労に至った人数（人）	1	4	3

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 重点的扶養能力調査対象者の管理台帳の活用を現業員に促し、対象者の情報や実地調査の日時を適宜査察が把握することで進捗状況の管理の徹底を図りました。また、重点的扶養能力調査対象者の選定基準を厳密化し、現業員の負担を軽減しました。	・現状 生活保護受給者に各種扶助費の適正な支給に努めます。
・評価 重点的扶養能力調査対象者の管理台帳に基づき、市内在住者の重点的扶養能力調査対象者に対し実地調査を遂行しました。また、作成した台帳に基づいて進捗管理を行い、調査が滞っているものについては、査察が関与して調査履行のフォローを行いました。	・課題 就労支援をはじめとする自立支援プログラムの活用等を通して、生活保護受給者の経済的自立の支援を図ります。
・課題に対する改善点 適宜台帳の更新が滞っていた現業員による照会事務が年度末に集中する等、扶養照会の結果が保護事務にタイムリーに反映されないケースが散見されたため、扶養照会に期日を設ける等の検討を行いました。	・取組 ハローワーク等、関係機関と連携して健康で文化的な最低限度の生活が保障されるように支援を行います。就労支援をはじめとする自立支援プログラムの活用等を通して、保護受給者の経済的自立の支援を図ります。

生活困窮者支援

被保護者健康管理支援事業	生活保護法に基づき、生活保護受給者へ経済的自立のみならず、医療と生活の両面から支援を行います。被保護者の生活習慣病等の予防や重症化を予防するため、レセプトデータを活用し、分析、健康課題を整理し、翌年度は、作成した資料を基に、個別支援計画を策定し、対象者への保健指導、生活支援を個別に実施します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
社会福祉課	2,420	1,199	660	0	0	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
健診受診勧奨（人）	1,436	1,451	1,494	検診受診者数（人）	131	116	119

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 新たにデータ分析を行い、事業対象者の抽出を行い、健診受診勧奨及び生活習慣病の改善に向けた取り組みを行いました。	・現状 健康状態が確認できた被保護者に対して、保健師とケースワーカーが協力して、継続的に生活習慣病の改善を行っています。
・評価 慢性疾患により通院している被保護者に対し、健診の必要性について指導しましたが、理解が得られにくく、受診者数は増加しませんでした。	・課題 長期的な支援が必要となっています。
・課題に対する改善点 それぞれの健康状態の把握に努めました。	・取組 必要に応じ通院同行を行い、生活習慣病等の予防や重症化予防に努め、日常生活の自立を促進します。

主管部局　総合政策部　　施策の目的　すべての市民が国籍や性別などにかかわらず、互いの人権を尊重し合える社会をつくる

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
国籍や性別等にかかわらず平等に扱われていると思う市民の割合	「平等感」における「平等である」の割合（まちづくり達成度アンケート）	86.6	85.5	84.6	%	↑
外国人の人口	住民基本台帳人口	3,477	3,778	4,225	人	-

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 女性の生き方相談及び国際理解サポートセンターの相談窓口では、様々な相談に対して寄り添った対応を行いました。男女共同参画及び多様性への理解促進並びに多文化共生のため、NPO法人等と連携し、講座や講演会を実施しました。男女共同参画社会の実現に向けて第5次男女共同参画プランを策定しました。	**・現状** 子育て世代をはじめ、年少人口、在住外国人が増加しています。こうした中、多様性を尊重し合う機運をさらに醸成するため、啓発活動を継続していく必要があります。在住外国人や女性の不安や悩みに寄り添う相談窓口をNPO法人と連携して取り組む必要があります。若い世代に平和の大切さや想いをつなぐため、平和大使事業や平和ポスター展等を継続して取り組む必要があります。
・評価 男女共同参画に関する啓発講座や多文化共生に関する啓発イベントは、参加者から高い満足度を得ています。パートナーシップ・ファミリーシップ制度の都市間連携やオンラインでの届出を可能としたことにより、制度利用者の手続上の負担軽減を図りました。広島派遣に参加した平和大使からは、平和に対する好意的な意見をいただきました。	**・課題** 新たに策定した第5次男女共同参画プランに基づき、男女共同参画の理念を一層深化させるとともに、全ての市民が個性と能力を発揮できる社会の実現に向けて、具体的な施策に取り組んでいく必要があります。戦後80年の年として、より一層の平和の大切さについて考える機会の提供が必要です。在住外国人向けには引き続き「やさしい日本語」の普及促進を図る必要があります。
・改善点 多文化共生への理解促進のための「やさしい日本語」ポスター展は、開催回数を増やしたほか、SDGsや平和への普及及び理解促進のためのポスター展と同時開催し、多くの市民の目に触れる機会を創出しました。男女共同参画に関する周知啓発を継続するとともに、パートナーシップ・ファミリーシップ制度の理解を深めるための講座を開催しました。	**・取組内容** 第5次男女共同参画プランに基づき、男女共同参画講座の内容充実を図る等普及啓発を図ります。平和施策では平和大使の広島派遣をはじめ、平和ポスター展及び戦後80年事業「原爆の図」展やユニセフ平和教室等により、次世代を担うこどもたちのみならず、幅広い世代と平和の尊さや命の大切さを共有します。人権に関する講演会等を開催するほか、小学生を対象とした人権教室や人権の花運動を通じて人権思想の普及啓発を図ります。

人権尊重・男女共同参画の社会づくり

人権啓発活動活性化事業

法務省の人権啓発活動活性化事業の一環として、松戸人権擁護委員協議会流山部会と連携しながら、人権に関する講演会等のイベントを開催します。また、小学生を対象とした「人権教室」及び「人権の花運動」を通じて人権思想の普及啓発を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
秘書広報課	0	0	0	853	853	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
各種啓発イベントや講演会等の実施回数（回）	3	-	3	人権フェスティバルの参加人数（人）	353	-	500
				人権フェスティバル来場者アンケートで人権への関心が深まったと回答した割合(%)	89.3	-	93.0

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 令和6年度は、本事業の実施がありませんでした。（県の補助金事業で松戸市と流山市で隔年実施の方式を採っているため。）	**・現状** 松戸人権擁護委員協議会流山部会と連携しながら、人権に関する講演会等のイベントを開催します。小学生を対象とした「人権教室」及び「人権の花運動」を通じて人権思想の普及啓発を図ります。また、12月の人権週間では、「人権フェスティバル」を開催します。
・評価 令和6年度は、本事業の実施がありませんでした。（県の補助金事業で松戸市と流山市で隔年実施の方式を採っているため。）	**・課題** 12月に開催する人権フェスティバルでは、市民等への人権思想の普及啓発が目的であることから、多くの来場者が期待できることを企画する必要があります。
・課題に対する改善点 令和6年度は、本事業の実施がありませんでした。（県の補助金事業で松戸市と流山市で隔年実施の方式を採っているため。）	**・取組** 多くの来場者が期待できる人権フェスティバルを開催するために、市民が注目するテーマを人権擁護委員と一緒に企画していきます。

人権尊重・男女共同参画の社会づくり

男女共同参画社会づくり事業

第5次男女共同参画プランに基づき、市民及び職員等の男女共同参画意識の向上を図るための各種講座を実施するとともに、様々な悩みを抱える女性を対象に自らの力で問題を解決できるよう相談業務を実施します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
企画政策課	4,366	3,934	13,194	3,930	0	3,930

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
男女共同参画啓発講座の実施回数（回）	18	20	14	「男は仕事、女は家事育児」という固定的な見方をしている市民の割合（%）	8.3	8.5	8.3
				審議会等（附属機関及び要綱、要領等による協議会等）への女性の登用率（%）	39.31	37.21	50.00

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 男女共同参画に関する講座・講演会を全20回開催しました。男女共同参画社会の実現に向けて第5次男女共同参画プランを策定しました。パートナーシップ・ファミリーシップ制度では、都市間連携に関する協定の締結及び自治体間連携ネットワークへの加入をしたほか、オンラインでの届出を可能としました。	**・現状** まちづくり達成度アンケートの結果、「男は仕事、女は家事育児」という固定的な性別役割分担意識の割合は、低い数値ではあるものの横ばいとなっています。また、審議会等委員に女性委員が占める割合も、30%台後半の数値のまま推移しています。
・評価 男女共同参画の推進及び多様性を理解するための啓発講座等では参加者から高い満足度が得られました。パートナーシップ・ファミリーシップ制度の都市間連携等により、制度利用者の負担軽減を図りました。第5次男女共同参画プランは、令和6年4月に施行された困難な問題を抱える女性への支援に関する法律の市町村基本計画と一体的に策定しています。	**・課題** 男女共同参画の推進及び多様性への理解を深めるための取組が必要です。第5次男女共同参画プランの目標及び成果指標を全庁で共有し、目標達成に向けて各担当課が着実に事業内容に取り組んでいく必要があります。
・課題に対する改善点 男女共同参画に関する周知啓発を継続するとともに、パートナーシップ・ファミリーシップ制度の講座の開催など多様性を理解するための普及啓発を行いました。審議会等委員の選任時には担当課で女性委員を増やす具体的な方策等を検討するほか、男女共同参画室からも目標を達成した他課の事例等を示すなど女性委員の比率向上に取り組みました。	**・取組** 第5次男女共同参画プランに基づき、引き続き市民、市内事業所及び市職員に向けて、男女共同参画の推進及び多様性を理解するための普及啓発を行います。また、審議会等委員の女性委員割合の向上に向けて、改選予定の審議会の担当課に女性委員の登用を働きかけます。

多文化共生社会づくり

多文化共生推進事業	多文化共生社会の実現を目指し、在住外国人が安心して暮らせるように相談窓口を設置するとともに、多文化共生意識の醸成を図るための講座を実施します。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
企画政策課	1,622		1,595	3,299	1,687	1,686	1
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
国際理解サポートセンターへの相談件数（件）	82	78	84	国籍や性別等にかかわらず平等に扱われていると思う市民の割合（%）	85.5	84.6	88.0
国際交流に関する啓発イベントや講座の実施回数（回）	3	4	5				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 在住外国人の相談窓口として、流山市国際理解サポートセンターを設置しています。同センターの運営業務を受託しているNPO法人流山市国際交流協会と協働し、相談窓口のほか、市民便利帳の翻訳、外国人の転入者向けの案内チラシの更新など、外国人住民が暮らしやすい環境整備に向けた取組を実施しました。	・現状 令和7年4月1日現在、在住外国人は4,225人、人口の2.0%です。流山市国際理解サポートセンターには、在住外国人から多くの相談が寄せられています。
・評価 国際理解サポートセンターでは、生活関連や公的手続など様々な相談に対し、寄り添った対応を行いました。共生理解促進講座として、世界の料理教室（ラトビア編）を実施し、参加者からは「外国の文化に触れる良い機会になった」などの好意的な声をいただきました。	・課題 市民が外国人住民に親しみを持ち、多文化共生を意識できる取組を実施する必要があります。市が情報を発信する際に使用してほしい言語として「やさしい日本語」を選ぶ在住外国人も多く、今後も「やさしい日本語」の普及を促進する必要があります。
・課題に対する改善点 令和5年度に市内1か所で開催したやさしい日本語ポスター展を、令和6年度では流山市役所ロビーと東部公民館の市内2か所で開催し、市民が「やさしい日本語」に触れる機会を増やしたほか、「やさしい日本語」講座を開催し、「やさしい日本語」の普及を促進しました。	・取組 在住外国人に寄り添った相談を行うことができるよう、流山市国際理解サポートセンター運営業務の受託者である流山市国際交流協会と連携します。外国の生活や文化を理解し、身近に感じることができる講座を実施するほか、「やさしい日本語」の普及を促進する取組を実施します。

平和施策の推進

平和施策事業	平和都市宣言に基づき、次世代に平和への想いを繋ぐための活動として、平和大使事業、平和ポスター展、ユニセフ平和教室、千羽鶴の募集などの事業を実施します。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
企画政策課	2,378		1,994	3,299	2,326	748	1,578
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
平和ポスター展及びユニセフ平和教室の実施回数（回）	4	4	4	平和施策に関するホームページの閲覧数（回）	1,624	939	1,750

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 平和大使広島派遣事業やユニセフ平和教室を通して、こどもたちが平和について学び、考える機会を提供しました。流山市役所ロビー及び東部公民館において、平和ポスター展を実施しました。	・現状 若い世代に平和の大切さや思いをつなぐことについて、平和大使事業や平和ポスター展、ユニセフ平和教室、千羽鶴の募集などに継続的に取り組んでいきます。
・評価 平和大使の広島派遣に参加した児童からは、「原爆の恐ろしさを理解し、平和大使として何ができるかについて考えることができた」等の好意的な意見をいただきました。	・課題 戦後80年の節目として、より一層、平和の大切さについて考える機会の確保が必要です。また、ウクライナ情勢において、武力衝突が長期化する中で、市としてできる平和への取組について検討を要します。
・課題に対する改善点 平和ポスター展では、原爆被害の実相や現在の核兵器の状況をわかりやすく説明した「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真パネル」を広島平和記念資料館から借用し展示したほか、平和大使の広島派遣の様子を動画で紹介しました。ウクライナ情勢において、武力衝突が長期化する中、避難民への支援を延長することとしました。	・取組 次世代に平和への思いをつなぐため、平和都市宣言に基づき、平和大使の広島派遣事業、ユニセフ平和教室等を実施します。併せて、戦後80年事業として、埼玉県東松山市の丸木美術館から原爆の図の複製画を借用して、昨年度より規模を拡大して平和ポスター展を実施します。

主管部局　子ども家庭部　　施策の目的　すべての子どもが健やかに育ち、地域全体で子育てできるまちをつくる

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
18歳未満の人口	住民基本台帳人口（市民課）各年4月1日	38,314	39,388	39,947	人	-
合計特殊出生率	15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が一生の間に生む平均子ども数を推計したもの（千葉県健康福祉部）※値はR3、R4、R5のもの	1.56(※)	1.50(※)	1.46（※）		↑
流山市は子育てがしやすいまちだと思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	67.2	66.4	66.8	%	↑

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 これまでの「子ども・子育て支援事業計画」、「次世代育成支援行動計画」、「子ども・若者育成支援計画」、「こどもの貧困の解消に向けた対策計画」を含む一体的な計画として、令和7年度から令和11年度までの5年間を計画期間とした「流山市こども計画」の策定に努めました。	**・現状** 「流山市こども計画」で掲げている基本目標ごとに各事業を位置付け、こども・子育て施策を総合的かつ計画的に推進します。
・評価 こどもや子育て家庭のライフステージに応じた切れ目ない支援や多様なニーズにきめ細かく適切に対応していけるよう、行政側の視点だけでなく、こどもや子育て当事者等の意見を取り入れた計画の策定が行えました。	**・課題** こどもを安心して育てていけるよう、子育て支援サービスの充実を図るだけでなく、今後はこどもや若者が主体的に参加するための仕組みづくりが必要だと考えています。また、増加する児童虐待に迅速かつ適切に対応するため、引き続き関係機関との連携強化を図る必要があります。
・改善点 計画の策定に当たっては、こどもや若者、保護者、関係団体にアンケートやヒアリングを行い、聴取した意見を取り入れながら、計画の策定に取り組むことができました。	**・取組内容** こどもや若者の成長を促すため、若者が気軽に立ち寄れ、安心して自由に過ごせる居場所づくりや、流山子ども食堂ネットワークと連携し、こどもの見守り体制の強化を図ります。また、引き続きこども家庭センター設置に向け、検討を進めます。

子どもを産み育てやすい環境づくり

地域子育て支援拠点事業

市内の地域子育て支援拠点事業を運営する社会福祉法人等に対し、運営費を補助します。令和6年度は、市内2箇所（北部地域・東部地域）で地域子育て支援拠点を新設しました。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
子ども家庭課	124,952	169,036	1,980	158,465	107,896	50,569

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
地域子育て支援センターの施設数（箇所）	11	13	15	職員に気兼ねなく相談ができ、子育てに必要なサポート体制があると回答した割合（%）	82.6	79.9	85.0
地域子育て支援センターの利用者数（人）	42,114	41,722	44,000				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 地域子育て支援拠点における事業の実施状況を確認する際の指導項目について、検討を進めました。	**・現状** 令和7年度についても、引き続き市内の地域子育て支援拠点事業を運営する社会福祉法人等に対し、運営費を補助します。また市内2箇所において必要とされる地域において、地域子育て支援拠点を新設します。
・評価 地域子育て支援拠点における事業の実施状況を確認する際の指導項目について、保育所等の監査項目を参考に、調査を進めました。	**・課題** 地域子育て支援拠点の運営内容等について、適切に指導できる体制の整備が必要となります。
・課題に対する改善点 地域子育て支援拠点の運営内容等について、適切に指導できる体制を整備するため、指導監査の実施方法・内容・実施時期等について、具体的に検討を進めました。	**・取組** 地域子育て支援拠点の実施状況の確認方法等について、実施要綱等の作成を検討します。

子どもを産み育てやすい環境づくり

ファミリーサポートセンター支援事業

ひとり親家庭等の就労の支援及び育児の負担の軽減を図るために、ファミリー・サポート・センターの援助活動を利用した場合に、その費用の一部を助成します。令和3年度からは、助成対象を未就学児2人以上の多胎児を養育する方にも拡大しています。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
子ども家庭課	19,145	18,948	1,980	19,951	13,000	6,951

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
ファミリー・サポート・センターの利用実績（件）	7,800	7,939	8,800	ファミリー・サポート・センターのマッチング件数（件）	301	269	340
ファミリー・サポート・センターの登録者数（人）	2,432	2,473	2,600				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 引き続き、申請漏れがないよう、請求期限の周知を徹底しました。	**・現状** 令和7年度も、ひとり親家庭及び3人以上の多子養育者、未就学児2人以上の多胎児を養育する方を対象に、育児の負担の軽減を図るため、ファミリー・サポートセンターを利用した場合、その利用料の半額を助成します。
・評価 窓口及びホームページにて周知したことで、利用者の申請漏れを防ぐことができました。	**・課題** 利用助成の請求については、利用後1年以内の請求としていることから、利用者の請求漏れが発生する可能性があります。
・課題に対する改善点 利用助成の請求については、利用後1年以内の請求としていることから、利用者の請求漏れが発生する可能性があるため、窓口での口頭説明だけでなく、再提出が必要な方への文書での周知を徹底しました。	**・取組** 引き続き、申請漏れがないよう、請求期限の周知を徹底します。

子どもを産み育てやすい環境づくり

育児支援等サービス事業	親族等から産前産後のサポートが受けられない妊産婦を対象に、市が委託する事業者が行う上限12時間分の育児支援や家事支援を自己負担なしで提供することにより、妊産婦の心身の負担の軽減を図るとともに、安心して出産及び育児ができる環境を確保します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
健康増進課	6,580	6,989	6,597	6,873	2,508	4,365

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
申請者数（人）	270	350	400	この地域で今後も子育てをしていきたい者の割合（%）	93.44	96.76	96.00
延べ利用時間（時間）	1,696	2,159	2,500				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 妊婦に対しては、母子健康手帳交付時面談で事業の周知を行うとともに、電話相談や妊娠7・8か月アンケートにて親族等からのサポートが得られない方を把握した際には、事前の申請を勧めました。産婦に対しては、産後の訪問等でサポート不足の方を把握した際に本事業を再度案内し申請を促しました。	・現状 親族等からのサポートが得られず、産前産後の生活に不安を感じる妊産婦が例年と同様に一定数いる状況です。
・評価 母子健康手帳交付時面談のほか、電話相談や妊産婦訪問、妊娠7・8か月アンケートの面談等の機会を利用して本事業を案内し、申請や利用につなげることができました。また、委託事業者と情報共有を行うこと等により、連携した支援を行うことができました。	・課題 申請をした妊産婦のうち、サービスを利用する事に対する不安や産後の忙しさ等から利用に至らない場合があるため、本事業についての具体的なイメージが持てるような案内や周知の工夫を行うこと等、利用につながる支援が必要です。
・課題に対する改善点 母子健康手帳交付時面談で本事業の周知を行うだけでなく、電話相談や妊産婦訪問等の様々な機会を利用し、個々の状況の把握に努め、状況に応じて必要な時期に、必要な社会資源やサービス等の案内を行いました。	・取組 本事業のイメージが持てるよう、ホームページの掲載内容を工夫するとともに、利用までの手続きが困難な場合には、事業者への連絡調整を一緒に行う等、利用者の不安や負担を軽減させ、利用につながる支援を行います。

子どもを産み育てやすい環境づくり

こども計画推進事業	「すべてのこども・若者の育ちや子育てを地域全体で支え こどもの権利を保障するための取組を進めこどもにやさしいまちづくり」の実現を目指し、流山市こども計画を推進します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
子ども家庭課	6,833	9,096	26,388	6,190	3,300	2,890

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
こどもワークショップの開催数（回）	-	1	-	こども会議の参加者数（人）	-	-	20
こども会議の開催数（回）	-	-	5	若者まちづくり事業への参加者数（人）	-	-	20

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 令和6年度は、ニーズ調査やこどもワークショップを実施し、こどもや若者、子育て当事者等の意見を取り入れながら、流山市こども計画を策定しました。	・現状 流山市こども計画に基づき、計画の進行管理を行っています。
・評価 アンケートでは把握できない、子育て支援施策に対するニーズを把握することができました。	・課題 こども・若者から提案のあった意見等について、こども施策への反映方法を検討します。
・課題に対する改善点 令和6年度は、流山市こども計画の策定にあたり、子ども・子育て会議の委員をはじめ、ニーズ調査やヒアリングなどを行い、より多くの方からの意見聴取をすることができました。	・取組 令和7年度は、高校生・大学生から施策提言をいただく、「若者まちづくり事業」を新たに始めます。

子どもを産み育てやすい環境づくり

私立幼稚園子育てのための施設等利用給付事業	令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化による給付費を支給する他、要配慮児童の受け入れ促進を図るため補助金を交付します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
保育課	840,915	787,310	13,194	807,517	544,390	263,127

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
医療的ケア児受け入れ施設数（か所）	-	-	1	要配慮児受入支援補助金対象者数（人）	-	-	123

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 幼児教育・保育の無償化による給付費を支給しました。	・現状 特別な支援が必要な児童の保護者が、希望する幼稚園に預けることができるよう受け皿を確保する必要があります。
・評価 子ども・子育て支援法に基づき円滑に支給することができました。	・課題 障害児や医療的ケア児等を受け入れる私立幼稚園の職員の加配や環境整備等に係る費用負担増が課題です。
・課題に対する改善点 幼稚園と連携し適正な支給を行いました。	・取組 職員の加配や環境整備に係る費用負担を軽減するため、既存の補助制度を拡充します。

子どもを産み育てやすい環境づくり

妊娠・出産・子育てサポート事業	子育てなんでも相談室として、妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援を実施します。母子健康手帳交付時の妊婦面談により情報把握を行い作成した支援プランをもとに安心して出産・育児に臨めるよう、妊娠早期から不安や困り事についての相談に応じ、支援を行います。各種事業を実施することで、子育ての負担感や孤立感からの不安解消を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
健康増進課	230,459	189,961	26,388	226,589	13,272	213,317

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
母子健康手帳交付時面談実施率（%）	100	100	100	この地域で今後も子育てをしていきたい者の割合（%）	93.44	96.76	98.00
				育てにくさを感じた時に対処できる親の割合（%）	79.46	80.73	84.00

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 産後ケア事業の対象者を拡充する等の支援の強化を図りました。また、妊産婦に対し各種の社会資源を案内・提供するために、情報の収集及び把握に努め、関係機関と連携して個々の状況に応じた支援を行いました。	**・現状** 妊産婦が支援を要する要因は、産前産後のサポート不足や、周囲に知り合いのいない孤立感、初めての育児に対する不安感など様々であることから、母子健康手帳交付時面談や電話相談、また、妊娠7・8か月アンケート後の電話や面談の相談において、個々の妊産婦の状況を把握し、妊産婦に対し必要な支援を行っています。
・評価 産後ケア事業の利用対象者の要件を産後4か月未満から産後1年未満に拡充したことで、産後4か月以降も支援を要する産婦が本事業の利用により子育ての負担や不安の解消につながりました。また、状況把握に努め、様々な社会資源を必要とする妊産婦に対しては、関係機関と連携し必要な時期に必要な支援を行うことができました。	**・課題** 子育ての負担感や孤立感からの不安解消を図るため、引き続き、妊産婦の個々の状況に応じた社会的資源の提供や支援を行う必要があります。また、産後ケアでは対象者の拡充に伴い、利用者の受け皿となる事業者の確保に努める必要があります。
・課題に対する改善点 妊産婦が支援を要する要因は様々であり、個々の状況に応じた支援を行うため、面談や電話相談等の機会を利用して状況把握に努め、必要な支援を行いました。	**・取組** 産後ケア事業では利用料の一部減額を実施する等の支援の強化を図ります。また、産後ケア実施施設や新規開院の産院・助産院等に本事業の説明を行い、事業者の確保に努めます。妊産婦に対しては、各種の社会資源を案内・提供するために、情報の収集及び把握に努め、関係機関と連携し、引き続き個々の状況に応じた支援を行います。

保育サービスの充実

送迎保育ステーション事業	流山おおたかの森駅前と南流山駅前の2か所の送迎保育ステーションから市内全域の保育所へ児童を送迎し、待機児童の解消及び児童の送迎に係る保護者の負担軽減を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
保育課	99,010	98,380	660	98,525	49,782	48,743

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
送迎保育ステーションの設置数（か所）	2	2	2	延べ利用数（人）	16,824	16,290	17,000
送迎バスの台数（台）	7	7	7	待機児童数（翌年度4月1日時点）（人）	-	-	-

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 流山おおたかの森駅前及び南流山駅前に送迎保育ステーションを設置し、バス7台で市内全域の保育所へ児童を送迎することにより、待機児童の解消及び児童の送迎に係る保護者の負担を軽減しました。	**・現状** 待機児童がゼロの状況を維持していますが、本事業が無ければ保育所への通所が難しい児童は存在しているため、引き続き事業が必要です。
・評価 本事業の実施により、増え続ける保育需要に対応するとともに保護者の送迎に係る負担軽減を図りました。	**・課題** 引き続き安全・安心な移送の確保と保護者の送迎における負担軽減が課題となります。
・課題に対する改善点 待機児童がゼロの状況になっているものの、引き続き一定数の利用が見込まれるため、安全・安心な移送の確保と保護者の送迎に係る負担軽減に努めました。	**・取組** 昨年と同様に市内2か所の送迎保育ステーションを起点とし、バス7台で市内全域の保育所へ児童を送迎します。

保育サービスの充実

病児保育事業	保育所等に通所中の児童が、病気中・病気回復期において集団保育が困難な期間に、当該児童の一時的な預かりを行います。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
保育課	67,723	67,712	660	69,247	31,490	37,757

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
病児及び病後児保育実施園数（園）	3	3	3	利用者数（年度ごと延人数）（人）	531	613	600

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 病気の状態（回復期も含む）の児童を一時的に預かることで、保護者の子育てと就労の両立を支援しました。	**・現状** 新型コロナウイルス感染症の影響による利用制限を令和5年度より解除したことや制度周知を図ったことにより、急な病気への備えとして利用に関する問い合わせが増加しています。
・評価 新型コロナウイルスによる制限を解除し、制度の周知を図ったことにより、前年度と比較して利用者数が約15%増加しました。	**・課題** 利用者は増加傾向にあるが、令和5年度のアンケートの際は、約20%の方が制度そのものを認知していない状況であったことからより一層の制度周知が求められると考えます。
・課題に対する改善点 ながれやま市子育てちゃんねる等、子育て世代に情報が届きやすい媒体を活用するなど、制度の周知を図りました。	**・取組** ホームページ、SNS、紙媒体など、それぞれの特性に応じた効果的な周知方法を研究していきます。

保育サービスの充実

保育所改修事業	老朽化している公立保育所5施設の長寿命化と入所児童や職員が安全かつ快適に保育できるよう施設改修を実施します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
保育課	19,000	15,455	1,320	10,692	8,500	2,192

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
改修箇所数（箇所）	2	2	2	公立保育所利用者数（4月1日）（人）	551	548	600

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 老朽化した空調機について、計画に沿って更新しました。	・現状 引き続き、老朽化した施設整備を行う必要があります。
・評価 平和台保育所及び向小金保育所の老朽化した空調機を更新し、安全かつ快適な保育ができる環境整備が図られました。	・課題 保育室のロッカー等が老朽化しており、児童や職員が怪我をする恐れがあります。
・課題に対する改善点 児童が安心安全な環境下で保育を受けられるよう、夏を迎える前に空調機を更新しました。	・取組 児童が安全安心な環境下で保育を受けられるよう施設整備を行います。

保育サービスの充実

私立保育所等運営補助事業	保育士の確保や保育の質の向上を図るため、認可保育施設を設置運営する社会福祉法人等に対し補助金を交付します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
保育課	2,719,521	2,918,088	19,791	2,920,439	813,913	2,106,526

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
補助施設数（件）	96	98	98	待機児童数（翌年度4月1日時点（人））	-	-	-

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 新たに要配慮児童受入促進事業を新設し、認可保育施設の運営を補助しました。	・現状 児童が保育中に微熱を出すなど「体調不良」となった場合に、看護師による安心かつ安全な体制確保と保健的な対応等ができるよう、看護師等の配置の促進を図る必要があります。
・評価 実績報告書を審査し、適正に補助金の交付を行いました。	・課題 看護師等の配置に係る認可保育施設運営法人の費用負担増が課題です。
・課題に対する改善点 重度障害児や医療的ケア児の受入れに当たり、施設や備品等の整備をするための補助を行いました。	・取組 看護師等の配置の促進を図るため、新たに病児保育事業（体調不良児型）を新設し、人件費の一部を補助します。

保育サービスの充実

私立保育所整備補助事業	保育所の受入児童数の増加等を図るため、市内に認可保育施設を整備する事業者に対して費用の一部を補助します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
保育課	507,179	208,642	13,194	437,842	312,313	125,529

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
整備箇所数（か所）	3	-	2	待機児童数（翌年度4月1日時点（人））	-	-	-
整備により増加した定員数（人）	138	-	160				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 認可保育施設の運営法人と協議をし、認可保育施設の修繕を進めました。	・現状 就学前児童数や認可保育施設への申込みの実績を踏まえ、区域毎の保育の必要量を精査した上で、必要な地域に保育の受け皿を確保する必要があります。
・評価 国の交付金を活用し、認可保育施設の大規模修繕を進めました。	・課題 北部地域の保育需要の増加が見込まれます。
・課題に対する改善点 安全な保育を提供するために、老朽化した認可保育施設の大規模修繕に係る補助を行いました。	・取組 北部地域の認可保育施設整備に係る補助を行います。

学童クラブの充実

学童保育運営事業	就労等の理由により、放課後家庭内で保育の困難な小学校児童を対象に、放課後の遊びや生活の場を提供し、健全育成を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
教育総務課	214,609	207,391	17,227	269,219	162,641	106,578

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
研修開催件数（件）	2	2	2	放課後児童支援員へ処遇改善のために支払った額（千円）	57,469	67,720	82,121
				学童クラブの延べ利用人数（人）	39,025	44,569	49,026

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 支援員や補助員に対する研修や処遇改善を通して、学童クラブ運営の質の向上に取り組みました。	・現状 学童クラブの利用者は増加傾向にあり、利用者のニーズも多様化しています。
・評価 1～2年目の支援員等を対象とした初任者研修と、配慮を要する児童への関わり方についての研修を実施し、支援員等のスキルアップを図りました。	・課題 ニーズの多様化に応えるため、更なる研修の必要があります。また、利用者数の増加に対応するため、支援員等を安定的に確保する必要があり、継続的な処遇改善を実施する必要があります。
・課題に対する改善点 研修内容について、事前に法人から要望を聞いたことで効果的な研修を行うことができました。また、支援員等の安定的な確保に資するため、継続して処遇改善を行いました。	・取組 引き続き、支援員等に対する必要な研修の実施と、処遇改善を通して、学童クラブ運営の質の向上に取り組みます。

学童クラブの充実

学童クラブ施設整備事業	児童数の増加に対応するため、おおぐろの森小学校区学童クラブの増設工事を行います。また、学童クラブを安心・安全に運営するための施設整備を進めます。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
教育総務課	30,403	30,349	6,597	187,942	148,866	39,076

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
学童クラブの整備後の定員数（人）	3,748	3,748	3,748	待機児童数(3月末)(人)	-	-	-
学童クラブの整備後の施設数（施設）	39	39	39				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 荒天時に水がたまりやすい箇所があることから、東小学校区学童クラブにおいて排水施設整備工事を実施しました。	・現状 おおぐろの森小学校区において、児童が増加していることから、学童クラブ増設工事が必要な状態です。
・評価 運営上、支障をきたしていた排水問題が解消できました。	・課題 学童クラブの運営に支障がないように、おおぐろの森小学校区学童クラブ増設工事を行う必要があります。
・課題に対する改善点 学童クラブの運営に支障がないように、関係機関と調整をとり、東小学校区学童クラブにおける排水施設の整備工事を予定どおり実施することができました。	・取組 令和9年度の供用開始に向け、おおぐろの森小学校区学童クラブ増設工事を実施します。

養育環境への配慮

ひとり親家庭等生活向上事業	こどもの貧困の連鎖を防止するため、生活困窮者世帯の中学校3年生のこどもが学習塾へ通えるよう支援します。令和3年度からは、助成対象を中学校3年生のみから中学校2年生も対象とし、範囲を拡大しています。また、令和7年度からは、助成対象に中学校1年生を追加しました。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
子ども家庭課	60,086	54,127	2,639	76,139	57,104	19,035

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
利用者数(人)	120	115	150	学習の習慣がついたと回答した児童数（%）	52.17	61.76	80.00
協力塾数(件)	67	70	75	希望通りの高校に進学できたと回答した児童数（%）	60.87	71.43	90.00

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 報告書等の簡素化に努めるとともに、積極的に市内学習塾に対し、当該事業への協力を呼び掛けました。	・現状 こどもの貧困の連鎖を防止するため、生活困窮者世帯の中学生のこどもが学習塾に通えるよう支援します。また、夏期期間及び冬期期間の講習についても、支援しています。
・評価 市内学習塾に対し、当該事業への協力を積極的に呼び掛けるとともに、当該事業の理解促進に努めました。	・課題 利用できるこどもを増やすために、協力塾を増やします。
・課題に対する改善点 利用できるこどもを増やすために、協力塾への丁寧な説明を行い、塾数の維持・増加に努めました。	・取組 報告書等の簡素化に努めるとともに、積極的に市内学習塾に対し、当該事業への協力を呼び掛けていきます。

養育環境への配慮

要保護児童対策事業	要保護児童等の早期発見や適切な保護を図るため、児童相談所、警察、医療機関などの関係機関等との情報共有と連携を強化し、こどもや家庭に迅速・適切なサポートを図ります。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
子ども家庭課	12,127		10,652	105,552	21,268	8,188	13,080
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
安全確認件数（%）	99	99	99	研修アンケートによる参加者の理解度（%）	100	100	100
研修開催回数(回)	2	3	3				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 こどもや保護者の様々なニーズに即した支援を実施するため専門職を配置するとともに、研修会等への積極的な参加により、職員の相談支援技術等の向上を図りました。地域でのこどもの見守りや支援が適切に行われるよう、関係機関との情報共有・連携のための研修会と適宜個別支援会議を開催しました。	・現状 児童虐待通告は増加傾向にあり、こどもの安全を守るための緊急介入と虐待の予防的な介入とを迅速かつ適切に対応する必要があります。
・評価 こどもやその家庭の見守りや支援が迅速かつ適切に行えるように、こどもに接する機会の多い保育園や学校関係等の職員向けに連携強化のための研修会を実施しました。また、こどもや家庭への様々ニーズに対する支援を迅速に行えるよう、社会福祉士・保健師等の専門職を増員し、研修等へ積極的に参加して相談支援技術の向上に努めました。	・課題 増加する児童虐待通告に迅速かつ適切に対応するために、職員の相談支援技術等の向上及び地域でのこどもの見守りや支援が適切に行われるために関係機関との情報共有・連携の強化を図っていく必要があります。
・課題に対する改善点 増加する児童虐待通告に迅速かつ適切に対応しこどもの権利を守るとともに、家庭のニーズに即した支援を提供するため、専門職を増員し、研修会への参加等により職員の相談支援技術等の向上を図りました。	・取組 こどもや家庭への様々なニーズに即した支援が行えるよう専門職を配置するとともに、研修会等への積極的な参加により、職員の相談支援技術等の向上を図ります。地域でのこどもの見守りや支援が適切に行われるよう、引き続き関係機関との連携強化を進めるとともに、子ども食堂と連携し、地域の見守り体制を強化していきます。

養育環境への配慮

こどものための養育費確保等支援事業	離婚後の生活や子育てに関する不安を解消するため、養育費等の取り決めを記載した公正証書の作成費用や裁判外紛争手続きに係る費用の助成を行います。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
子ども家庭課	0		0	0	240	120	120
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
公正証書作成費用の助成件数（件）	-	-	7				
裁判外紛争手続費用の助成件数（件）	-	-	62				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 令和6年度は事業の実施がありませんでした。	・現状 公正証書の作成費用の助成や、弁護士があっせん人となり養育費等の協議を行う裁判外紛争手続きに係る費用の助成を行います。
・評価 令和6年度は事業の実施がありませんでした。	・課題 事業開始年度であるため、事業の周知が必要となります。
・課題に対する改善点 令和6年度は事業の実施がありませんでした。	・取組 窓口や電話等での相談の際に、当該事業についてご案内するとともに、チラシ等を作成し、周知に努めます。

青少年の健全育成の促進

青少年相談事業	青少年やその保護者が一人で悩むことがないよう、青少年専門相談員による電話及び相談室での相談を充実します。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
文化芸術・生涯学習課	6,546		6,532	0	7,393	0	7,393
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
相談件数（件）	61	80	-				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 スキットメールの活用やポスターを作成し、相談室の周知に努めました。また、県や関連機関が開催する研修会へ積極的に参加し、青少年専門相談員の相談力の向上に努めました。	・現状 平日、月曜日から金曜日の午前9時30分から午後4時30分まで相談室を開設し、これに加え6回平日の時間外に特別相談窓口を開設しています。また、スキットメールの活用により、相談件数が増加傾向にあります。
・評価 スキットメールを活用し小・中学校の保護者に直接情報提供を行った結果、相談件数が前年度よりも増加しました。	・課題 より多くの市民に利用していただけるよう、引き続き相談しやすい雰囲気づくりと周知の必要があります。また、相談内容に応じて、適切な相談窓口への案内ができるよう、関係機関との連携を強化する必要があります。
・課題に対する改善点 より多くの市民に利用していただけるよう、相談しやすい雰囲気づくりと周知を行いました。また、相談内容に応じた窓口を適切に案内できるよう、青少年専門相談員の相談力を向上させました。	・取組 引き続き、学校や他機関との連携を図ることで、きめ細やかな対応に努めます。また、広報ながれやま、市ホームページに加え、相談室だよりなどを積極的に活用し、通常の相談や特別相談窓口の周知に努めます。

主管部局　学校教育部　　施策の目的　学びに向かう力と自立する子どもを育む

まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
全国学力・学習調査平均正答率（目指す方向：全国平均、県平均を上回る）	全国学力・学習状況調査（文部科学省）※小学校、中学校	67.0 58.3	68.0 60.3	69.0 59.0	%	全国平均、県平均を上回る
児童・生徒数	学校基本調査（文部科学省）※児童、生徒　5月1日時点	12,979 4,915	13,512 5,121	13,909 5,285	人	-
いじめの認知件数	いじめの教師認知件数調査（市）※小学校、中学校	4,954 475	4,427 407	4,381 353	件	↓

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 いじめアンケート等の実施を通じて、いじめの積極的な認知と状況把握を図るとともに、小学校、中学校においていじめについての特別授業を行うほか、教職員に対する研修の実施を通じて、学校現場におけるいじめ対応の理解向上に努めました。全国学力・学習状況調査については、教務主任、研究主任を対象に分析や活用に関する研修会を開催したり、学校間でカリキュラムについて情報共有を行ったりしました。	**・現状** いじめの認知件数が減少傾向にある中、重大事態に至る件数は依然横ばいで推移していることから、認知したいじめが重大化・深刻化・長期化しないよう、早期発見と早期対応を徹底していく事が必要です。令和7年度は、国語、算数・数学の他に、理科の調査も行われます。
・評価 いじめをはじめ、児童生徒が抱える多様な課題に対して適切に対応するため、スクールロイヤー等の専門性の高い人材を活用しながら、児童生徒、保護者、学校への支援体制の強化に努めました。全国学力・学習状況では、小中学校共に、国語、算数、数学の平均正答率が、全国・県平均を上回りました。	**・課題** いじめは初期対応が何よりも重要であるため、学校現場においていじめの未然防止と早期発見に一層努めるとともに、いじめを認知した際の対応が適切に行われるよう、教職員のいじめ対応に係る理解を深めるとともに、生徒指導力の向上を図っていく必要があります。全国学力・学習状況調査について、平均正答率は高いものの無回答率が高い解答があることから、普段の授業の中で自分の考えや意見をもって学習する必要があります。
・改善点 いじめは早期発見・早期対応が肝要であることから、小さなトラブルであってもいじめの根源を考え、積極的に認知を行うとともに、被害児童生徒と保護者に寄り添った対応を心掛け、トラブル解消に努めました。全国学力・学習状況調査については無回答率が高いことから、主体的・対話的で深い学びに向けて、指導主事による授業参観や研修を行いました。	**・取組内容** いじめ事案が重大化・深刻化・長期化しないよう、学校を支援していきます。また、学校だけでは解決が困難な事案への対応に当たっては、生徒指導アドバイザーやスクールソーシャルワーカー等の専門性の高い人材を活用し、関係機関とも連携しながら解決に向け取り組んでいきます。若手教員を対象とする教師力アップ講座や、指導主事による授業参観を通して、市内小中学校の授業改善に取り組んでいきます。

確かな学力の育成

小中学校外国語教育推進事業

小中学校外国語教育の推進のために、英語に堪能で外国の文化や生活に精通した英語活動指導員及び外国語指導助手（ALT）を配置します。小学3年生から6年生までの授業で学級担任とのティームティーチングができる体制を整え、教育内容の充実と向上を図ります。中学校には、全10中学校に1名ずつALTを配置します。（令和6年度から小中学校の同事業を統合し、「小中学校外国語教育推進事業」としました。令和5年度までは、「小学校英語活動推進事業」の実績が記載されています。）

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
指導課	108,406	107,360	6,597	109,586	0	109,586

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
小中学校ALT配置数（人）	10	20	20	ALT等の活用状況（%）	98.0	75.8	78.0
英語活動指導員の指導時間の合計（時間）	11,620	12,180	12,635				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 授業参観や研修会を通じて、ALT等の効果的な活用を図りながら、学習のねらいに即した質の高い授業づくりに取り組みました。	**・現状** 小学校では、英語活動指導員スーパーバイザーの授業参観等をとおして、市内統一した授業の型ができつつあり、活動が充実してきました。中学校では、ALTとの生きたコミュニケ―ションを通じて聞く、話す力を伸ばしました。
・評価 小学校では、英語活動指導員スーパーバイザーの授業参観等をとおして、市内統一した授業の型ができつつあり、活動が充実してきました。中学校では、ALTとの生きたコミュニケ―ションを通じて聞く、話す力を伸ばしました。	**・課題** 小学校では、ALT等と連携しながら、学習のねらいに即した授業づくりを行うことが課題です。中学校では、ALTの効果的な活用を図るとともに、小中連携の視点を持ち、質の高い授業づくりを行うことが課題です。
・課題に対する改善点 学習課題に対する適切な活動の設定と評価についての理解が深まりました。	**・取組** 授業参観や研修会を通じて、ALT等の効果的な活用を図りながら、学習のねらいに即した質の高い授業づくりに取り組んでいきます。また、新規でALT等として勤務される職員と共に、市内統一した授業の型が継続できるよう、研修を積み重ねていきます。

確かな学力の育成

小学校教育指導運営事業

児童の読書活動推進のため、学校図書館の充実に努めます。また、学校図書館を運営していくために必要な専門性や技術を備えた学校図書館司書を配置します。探究的な学習を進めるため、タブレット端末から閲覧可能なインターネット百科事典を導入します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
指導課	33,662	33,048	6,597	38,513	0	38,513

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
学校図書館司書配置数（1人あたり担当校数）（校）	1.5	1.3	1.2	小学校図書貸出冊数（R7.3月）（冊）	320,000	475,051	498,803

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 図書の充実や学校図書館司書の研修等の充実を図ることで、学校図書館の活用率や貸出冊数のさらなる増加を目指しました。	**・現状** 図書館司書の増員や、学校図書館の環境整備を進めることにより、充実した学校図書館教育を目指しています。
・評価 インターネット百科事典の活用事例研修を各校のICT教育推進リーダーに実施した結果活用が向上しました。また、R1グランプリ等の実施により、1人当たりの貸出冊数が増加しました。	**・課題** さらなる読書推進や探究的な学習の実現を目指し、図書の充実、学校図書館司書の増員を図る必要があります。
・課題に対する改善点 貸出冊数を増加させるため、さらなる読書推進や探究的な学習の実現を目指し、図書の充実を図りました。	**・取組** 学校図書館の充実や学校図書館司書の研修等の充実を図ることで、学校図書館の活用率や貸出冊数のさらなる増加を目指します。

確かな学力の育成

中学校教育指導運営事業	生徒の読書活動推進のため、学校図書館の充実に努めます。また、学校図書館を運営していくために必要な専門性や技術を備えた学校図書館司書を配置します。探求的な学習を進めるため、タブレット端末から閲覧可能なインターネット百科事典を導入します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
指導課	19,977	19,273	6,597	21,204	0	21,204

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
学校図書館司書配置数（1人あたり担当校数）（校）	1.5	1.5	1.4	中学校図書貸出冊数（R7.3月）（冊）	35,000	39,363	40,543

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 図書の充実や学校図書館司書の研修等の充実を図ることで、学校図書館の活用率や貸出冊数のさらなる増加を目指しました。	・現状 学校図書館司書増員等、より充実した学校図書館教育を目指しています。
・評価 前年度比で貸出冊数を増加させることができました。未読者も一定数いるため、学校図書館の活用促進を進めました。	・課題 未読者への対応や学校図書館の環境充実を図る必要があります。
・課題に対する改善点 貸出冊数を増加させるため、読書推進や探究的な学習の実現を目指し、図書の充実、学校図書館司書の増員を図りました。	・取組 学校図書館環境の充実や学校図書館司書の研修等の充実を図ることで、学校図書館の活用率向上、未読者の減少を目指します。

確かな学力の育成

幼児教育支援センター運営事業	関連機関との連携を図り、幼児教育から学校教育への滑らかな移行を支援するとともに、幼児教育相談の充実を図り、家庭教育や園における就学前教育を推進します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
指導課	11,720	10,889	13,194	14,128	0	14,128

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
巡回相談件数（件）	21	66	70	「幼保小連携の日」参加人数（人）	-	-	60

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 巡回相談の対象を3歳から5歳児を担当する幼児教育・保育施設の職員に拡大して、幼児教育支援センターの職員及びスクールカウンセラーを園に派遣し、教育・保育内容及び環境構成について助言を行ってきました。	・現状 「架け橋期カリキュラム推進会議」での議論を踏まえ、流山市版架け橋期カリキュラム作成の手引き（初版）」を作成して、市内の全幼稚園・保育所（園）・認定こども園及び小学校に配付しました。
・評価 広報の方法や仕組みを変更し、3期にわたり希望を募り、複数回の相談を可能としたことで、相談件数が大きく伸びました。その中で、幼児の実態に合った教育・保育や支援方法等について、幼児教育・保育施設の職員とともに考えることができ、幼児教育・保育の質の向上に寄与することができました。	・課題 これまでも、幼保小の職員の合同研修や見学会等は行ってきましたが、各担当職員のみの交流にとどまっていました。今後、市教育委員会としても、幼保小連携の体制構築を支援していく必要があります。
・課題に対する改善点 幼児教育・保育施設からのつながりある教育の実現については、小学校教育との連携が不可欠です。幼保小の教職員が架け橋期（5歳児から小学校1年生）の教育について話し合うための体制を構築できるよう、公私や施設類型の垣根を超えた各施設の代表者による「架け橋期カリキュラム推進会議」を立ち上げました。	・取組 幼保小連携の必要性について、「流山市版架け橋期カリキュラム作成の手引き」を活用しながら各種研修会で啓発するとともに、市内の全小学校で「幼保小連携の日」を開催し、顔の見える関係性の構築を図っていきます。

確かな学力の育成

地域による学校支援事業	中学校区に地域学校協働本部を設置し、各学校に配置したコーディネーターが、中学校区の学校（小学校2校または1校、中学校1校）とボランティアを希望する地域住民との調整を図りながら、学校支援ボランティアを派遣し、児童生徒の教育活動の充実を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
指導課	9,534	8,424	13,194	9,503	5,566	3,937

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
市内各中学校区本部設置数（校）	10	10	10	地域による学校支援年間参加延べ人数（1月まで）（人）	58,550	60,000	70,000

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 学校や地域の実態を把握している学校運営協議会委員を任命することで、地域の特色を生かした実現可能な取組への協議を実施しました。	・現状 令和7年度に全10中学校区への学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）の導入が完了したことにより、学校の実情や地域の特色を生かした活動を目指しています。
・評価 各学校に配置したコーディネーターが中心となり、学校とボランティアを希望する地域住民との調整を図りながら、学校支援ボランティアを派遣し、児童生徒の教育活動の充実を図ることができました。	・課題 児童生徒が主体となって学校生活を送るためには、活動や協議が必要であるため、そのニーズに合った活動やボランティアを設定することに課題があります。
・課題に対する改善点 学校運営協議会において、学校の実情や地域の特色を生かした熟議というところまで進まなかったため、それを踏まえた持続可能な活動の実現に努めました。	・取組 児童生徒のさらなる学校生活の充実を目指し、協議会やボランティア活動を実施するうえで、そのニーズを生かした具体的な活動となるように実態把握及び持続可能な活動の実現に努めていきます。

確かな学力の育成

学校水泳指導等支援事業	児童の体育の授業における水泳指導について、業務委託することによりプール施設、指導業務、移動手段を確保し、円滑な水泳指導に資することを目的として実施します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
指導課	47,123	47,115	6,597	53,895	0	53,895

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
民間委託実施校数（校）	7	13	13	一人当たりの実施回数（回）	3	3	3

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 天候に左右されず実施でき、インストラクターの専門的な指導を受けられるという民間委託のメリットを活用し、こどもたちの充実した学習につなげていきました。	・現状 当事業は4年目となり軌道に乗ってきたため、こどもたちも教職員も移動や授業においてスムーズに実施できています。
・評価 民間事業所のインストラクターからの専門的な指導を受けられたことによって、泳力技術の向上につながりました。	・課題 一つの民間事業所に複数校を委託する場合もあるため、期間の観点から学校の要望に応えることが難しい状況にあります。
・課題に対する改善点 各学校からより近い委託業者を開拓するなどして、移動時間の短縮に努めました。	・取組 新たな民間事業所を開拓することも検討し、学校のニーズに合った事業を実施していきます。

教育環境の整備

ＩＣＴ学習空間整備事業	児童生徒の情報活用能力の育成を図るために、GIGAスクール構想に伴うタブレット端末、校内ネットワーク環境及びその他ICT機器を整備します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
指導課	409,710	479,121	6,597	378,076	0	378,076

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
市内児童・生徒用のコンピュータ数（台）	18,471	19,185	19,820	教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数（人/台）（人）	1	1	1

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 ICT教育推進リーダー研修会を年度内に3回実施しました。また、通常のICT支援員に加え、課題解決までの時間短縮を狙い、オンラインのICT支援員を配置しました。ICT環境整備として、電子黒板を八木中学校、西初石中学校に整備し、活用研修を実施しました。	・現状 若年層の教職員や他市からの異動者が増えています。各校のICT教育推進リーダーの育成は引き続き必要です。
・評価 各校の効果的なICT活用実践例を研修会で共有し、各校で広げるだけでなく、講師を招聘し、専門的な活用法の理解を深めました。オンラインのICT支援員の配置により、相談がしやすい環境を構築しました。電子黒板を設置した学校は、学習指導等の活用が進みました。	・課題 プログラミング教育や校務支援アプリといった本市のICT教育の実情や活用方法について理解を深める必要があります。
・課題に対する改善点 ICT機器を活用するだけでなく、効果的な活用方法やICT教育の目的に目を向け、理解を深めました。	・取組 プログラミングや校務支援アプリ等のニーズに合ったICT研修を夏休み中に企画しています。令和7年度もICT教育推進リーダー研修会の実施を予定しています。

教育環境の整備

小学校設備改修事業	小学校施設において、経年による設備の損耗箇所を改修し、教育環境の向上を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
学校施設課	28,371	34,513	10,556	3,866	3,866	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
設備点検による不具合数（件）	-	5	4	改修工事による是正率（%）	-	100	100

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 発注者、施工者及び学校と協議の上、改修工事を進めました。	・現状 西深井小学校消火ポンプ、長崎小学校揚水ポンプ及び避難器具に不具合が生じています。
・評価 各工事において、夏休み中に工事を終わらせ、9月より供用開始することができました。	・課題 西深井小学校消火ポンプ、長崎小学校揚水ポンプ及び避難器具の不具合箇所について早急に対応する必要があります。
・課題に対する改善点 学校運営に支障がないよう、調整を行いながら改修工事を行いました。	・取組 国庫補助を活用し、令和7年度予算を一部令和6年度に前倒しして実施することにより、早期に不具合を解消します。

教育環境の整備

中学校設備改修事業	中学校施設において、経年による設備の損耗箇所を改修し、教育環境の向上を図ります。						
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源	
学校施設課	59,890	59,582	7,257	4,015	4,015	0	
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
設備点検による不具合件数（件）	-	5	3	改修工事による是正率（%）	-	100	100

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 発注者、施工者及び学校と協議の上、改修工事を進めました。	・現状 東深井中学校の受水槽や給水系統に不具合が生じています。
・評価 夏休み、冬休みに工事を集中させ、学校運営を止めることなく工事を完了させました。	・課題 東深井中学校の受水槽や給水系統の不具合箇所について早急に対応する必要があります。
・課題に対する改善点 学校運営に支障がないよう、調整を行いながら改修工事を行いました。	・取組 国庫補助を活用し、令和7年度予算を一部令和6年度に前倒しして実施することにより、早期に不具合を解消します。

教育環境の整備

小学校校舎等改修事業	小学校施設において、経年による建物の損耗により、機能低下が発生している箇所を改修し、教育環境の向上を図ります。						
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源	
学校施設課	14,515	218,705	15,174	0	0	0	
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
ロッカー改修を要する教室数（室）	304	267	228	ロッカー改修教室数（室）	42	37	39

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 複数年事業ではありますが、早期完了を目指して学校との調整を進めました。	・現状 教室ロッカーの改修は、児童不在の夏休み期間中に実施することから、実施教室数に限度があります。
・評価 ロッカーの工事において、夏休み中に工事を終わらせ、9月より共用開始することができました。	・課題 改修を要するロッカーの全てを早期に完了させる必要があります。
・課題に対する改善点 改修を要するロッカーの全てを、優先順位の高いものから改修を行いました。	・取組 複数年事業ではありますが、早期完了を目指して学校との調整を進めます。

教育環境の整備

中学校校舎等改修事業	中学校施設において、経年による建物の損耗により、機能低下が発生している箇所を改修し、教育環境の向上を図ります。						
担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源	
学校施設課	0	93,918	1,980	6,108	6,108	0	
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
ロッカー改修を要する教室数(室)	-	-	123	ロッカー改修教室数(室)	-	-	18

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 国庫補助を活用し、西初石中学校の外壁及び屋上防水機能の劣化について早急に改修を図りました。	・現状 教室ロッカーの改修は、生徒不在の夏休み期間中に実施することから、実施教室数に限度があります。
・評価 安全を優先し工程管理を行い、工事を遅滞なく完了させました。	・課題 改修を要するロッカー全てを早期に完了させる必要があります。
・課題に対する改善点 早急に設計・発注を行い、外壁及び屋上防水改修工事を行いました。	・取組 複数年事業ではありますが、早期完了を目指して学校との調整を進めます。

教育環境の整備

給食室等改修事業	学校給食施設において、経年による建物及び設備の損耗、機能低下が発生している箇所を改修し、調理環境の向上を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
学校施設課	0	54,733	5,938	3,707	3,707	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
設備点検による不具合件数（件）	-	1	1	改修工事による是正率（%）	-	100	100
屋上・外壁改修を要する学校数	-	4	-	屋上・外壁改修工事の進捗率（%）	-	100	-

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 発注者、施工者及び学校と協議の上、改修工事を進めました。なお、令和6年度実施予定事業の全予算を令和5年度に前倒し工事を進めました。	・現状 向小金小学校グリストラップに不具合が生じています。
・評価 屋上防水、外壁改修工事を遅滞なく完了させました。	・課題 向小金小学校グリストラップの不具合箇所について早急に対応する必要があります。
・課題に対する改善点 食品へ雨水が混入する危険や、漏電による機器故障などの恐れがあるため、対策を行いながら改修工事を行いました。	・取組 発注者、施行者及び学校と協議の上、改修工事を進めます。

教育環境の整備

おおぐろの森小学校校舎増築事業	児童数の増加傾向にある「おおぐろの森小学校」について、令和9年度から増築棟の供用開始を目指します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
学校施設課	47,740	18,940	6,597	190,388	190,388	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
				設計業務の進捗率（%）	-	60	100
				工事の進捗率（%）	-	-	10

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 諸条件を整理し、増築校舎の設計を進めました。	・現状 順調に進捗しています。
・評価 滞りなく設計を進めました。	・課題 児童の安全を確保しながら、滞りなく工事を進める必要があります。
・課題に対する改善点 増築校舎の規模や構造などを検討し、設計を進めました。	・取組 関係者間で密に調整を行い、安全を確保しながら円滑な事業進捗に努めます。

教育環境の整備

南流山第二小学校改修事業	南流山地区の児童数増加に対応するため、南流山中学校を小学校仕様へと改修して、令和6年4月から南流山第二小学校として開校しましたが、体育館のみ、中学生の活動に配慮して令和6年の夏休み期間中に改修するものです。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
学校施設課	0	28,930	1,809	0	0	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
				設計業務の進捗率（%）	-	-	-
				改修工事の進捗率（%）	90	100	-

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 体育館の改修を行いました。	・現状 令和6年度で事業は終了しました。
・評価 夏休みを中心に工事を行い、学校と調整しながら滞りなく工事を完了させることができました。	・課題 令和6年度で事業は終了しました。
・課題に対する改善点 バスケットゴールやステージ舞台機構の改修工事を行いました。	・取組 令和6年度で事業は終了しました。

教育環境の整備

担任サポート教員配置事業

学級編制において、国の学級編制標準を適用する学級に対し、担任業務をサポートする教員を配置します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
学校教育課	30,577	21,581	1,980	0	0	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
担任サポート教員配置数（人）	9	7	-				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 児童生徒数推計及び想定値から各学校の1学級あたりの児童・生徒数を見定め、適正な人員配置に努めました。	・現状 令和6年度で事業は終了しました。
・評価 適正な人員配置を行うことができたことにより、児童・生徒の教育活動を十分に支援することができました。	・課題 令和6年度で事業は終了しました。
・課題に対する改善点 令和7年度から、国の学級基準の35人学級を実施するために、児童生徒数推計値の学級数に対応する適切な人員配置を行いました。	・取組 令和6年度で事業は終了しました。

教育環境の整備

常盤松中学校校舎増築事業

生徒数の増加傾向にある「常盤松中学校」について、令和8年度から増築棟の供用開始を目指します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
学校施設課	170,403	64,558	12,438	25,740	25,740	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
				設計業務の進捗率（%）	-	100	-
				工事の進捗率（%）	-	10	100

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 増築工事の基本設計及び実施設計を行いました。グラウンド面積を確保するため、プールの解体を行いました。	・現状 順調に進捗しています。
・評価 滞りなく、設計業務及びプール解体を完了させることができました。	・課題 生徒の安全を確保しながら、工事を滞りなく進める必要があります。
・課題に対する改善点 増築校舎の規模や構造、仕様などを検討しました。	・取組 関係者間で密に調整を行い、安全を確保しながら円滑な事業進捗に努めます。増築棟については、賃貸借契約を締結します。

教育環境の整備

小学校校舎等リニューアル事業

老朽化の進んだ小学校をリニューアルすることで、建て替えることなく供用を継続するものです。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
学校施設課	0	346,129	13,194	42,878	42,878	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
				江戸川台小学校リニューアル事業の進捗率(%)	2	32	64
				東小学校リニューアル事業の進捗率(%)	-	-	2

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 管理・普通教室棟及び特別教室棟の改修が完了しました。（江戸川台小学校）	・現状 順調に進捗しています。（江戸川台小学校）
・評価 夏休みを中心に工事を行い、学校と調整しながら滞りなく予定範囲の工事を完了させることができました。（江戸川台小学校）	・課題 児童の安全を確保しながら、滞りなく工事を進捗させる必要があります。（江戸川台小学校）
・課題に対する改善点 児童・教職員の安全を優先して工事を行いました。	・取組 関係者間で密に調整を行い、安全を確保しながら円滑な事業進捗に努めます。（江戸川台小学校）リニューアル設計に着手します。（東小学校）

教育環境の整備

小学校施設管理業務委託事業	小学校における学校施設管理業務を業務委託し、実施することで安定的な人員及び質の確保と直接任用に係る人件費及び事務量の軽減を図ります。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
学校教育課	4,046		3,339	660	12,768	0	12,768
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
学校用務員派遣（学校数）	-	2	6	学校用務員派遣（用務員人工数）	-	2	6

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 安定的な人員及び質の確保と直接任用に係る人件費及び事務量の軽減を図り、さらなる教育環境の充実に向けた検討を進めました。	・現状 令和6年度の導入実績をもとに、令和7年度からは新たに小学校4校を委託導入するなど事業拡充を図り、さらなる教育環境の充実や教職員の働き方改革向上に努めています。
・評価 学校施設管理業務について、安定的な人員を確保するとともに、用務業務の質的向上を図ることで、教育環境のさらなる充実や教職員の働き方改革の一助になりました。	・課題 令和7年度は既存学校への導入初年度に当たることから、学校への委託導入の効果検証を十分検証しつつ、学校からの意見等も伺いながら、今後の事業拡充に向けて、さらなる検討を進めます。
・課題に対する改善点 学校への委託導入の効果について検証を行うとともに、委託先の人員確保が可能かどうかなどを含め、他学校への拡充を検討しました。	・取組 学校への委託導入の効果評価や、委託先の人員確保が可能かどうかなどを確認しながらさらなる委託へ切り替えなどを含め、引き続き学校の意見も伺いながら検討を前に進めます。

教育環境の整備

中学校施設管理業務委託事業	中学校における学校施設管理業務を業務委託し、実施することで安定的な人員及び質の確保と直接任用に係る人件費及び事務量の軽減を図ります。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
学校教育課	6,068		3,488	660	8,512	0	8,512
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
学校用務員派遣（学校数）	-	1	3	学校用務員派遣（用務員人工数）	-	2	4

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 安定的な人員及び質の確保と直接任用に係る人件費及び事務量の軽減を図り、さらなる教育環境の充実に向けた検討を進めました。	・現状 令和6年度の導入実績をもとに、令和7年度からは新たに中学校2校を委託導入するなど事業拡充を図り、さらなる教育環境の充実や教職員の働き方改革向上に努めています。
・評価 学校施設管理業務について、安定的な人員を確保するとともに、用務業務の質的向上を図ることで、教育環境のさらなる充実や教職員の働き方改革の一助になりました。	・課題 令和7年度は既存学校への導入初年度に当たることから、学校への委託導入の効果を十分検証しつつ、学校からの意見も伺いながら、今後の事業拡充に向けて、さらなる検討を進めます。
・課題に対する改善点 学校への委託導入の効果について検証を行うとともに、委託先の人員確保が可能かどうかなどを含め、他学校への拡充を検討しました。	・取組 学校への委託導入の効果評価や、委託先の人員確保が可能かどうかなどを確認しながらさらなる委託へ切り替えなどを含め、引き続き学校の意見も伺いながら検討を前に進めます。

教育環境の整備

不登校児童生徒支援事業	バーチャル空間や公的施設等を居場所とした不登校児童生徒への支援を実施します。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
指導課	0		4,631	6,597	5,786	1,928	3,858
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
長期欠席児童生徒率（市内小中学校）	5.27	4.19	-	フレンドステーション利用者数（定期的な利用者数）	45	39	-
不登校児童生徒率（市内小中学校）	2.53	2.21	-	教育相談件数（保護者、児童生徒の総計）	2,249	2,317	-

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 令和6年度は新たな取り組みとしてオンラインの教育支援センターを立ち上げました。また、校内教育支援センターを八木北小学校に設置し、児童生徒の新たな居場所づくりに努めました。また、教育支援センターの機能を強化できるよう、有識者や民間支援団体、公民館等公的機関の人を交えて協議会を行いました。	・現状 令和6年度については不登校児童生徒数の減少傾向がみられたものの、引き続き不登校児童生徒の居場所を拡充していく必要があります。
・評価 教育支援センターや校内教育支援センターの機能を充実させ、こどもの居場所づくりに努めました。令和6年度は前年度よりも不登校児童生徒率が減少しました。	・課題 不登校児童生徒の居場所として、様々な選択肢を提示できるよう、教育支援センターのさらなる充実や、民間支援団体との連携を図る必要があります。
・課題に対する改善点 昨年度からの改善点として不登校児童生徒に対しオンラインフレンドという新しい居場所づくりに努めました。また、専門機関につながっていない児童生徒の実態を把握し、支援につなげていくための手立ての検証をしました。	・取組 教育支援センターや校内教育支援センターの機能を充実させていきます。児童生徒が学校以外の居場所を見つけるきっかけとなるよう、バーチャル空間による不登校児童生徒への支援をさらに充実させていきます。

児童・生徒の安全確保と健康増進

小中学生専用なやみホットライン相談事業	いじめや学校生活で悩む児童生徒からの相談に、専門相談員が電話やメールで対応し、いじめの早期発見・早期解決を図ります。また、中学生には「いじめ報告・相談アプリSTANDBY」を活用し、相談環境の充実に努めます。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
指導課	7,211	6,500	3,959	8,244	0	8,244

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
「小中学生専用なやみホットライン」の相談数（件）	15	37	-	小学校「いじめアンケート」調査の結果（解消件数÷認知件数）（%）	89.76	91.19	100.00
「いじめ報告・相談アプリ」の相談数（件）	62	65	-	中学校「いじめアンケート」調査の結果（解消件数÷認知件数）（%）	92.38	88.10	100.00

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 小中学生専用なやみホットライン周知のため、連絡先が記載されたカードを市内全小中学生に配付するとともに、中学生には相談アプリを提供し、複数の相談先・相談方法を確保することで悩みや困りごとを抱える児童生徒の早期発見と早期対応に努めました。	**・現状** 生涯学習センター内に常駐する相談員が相談を受ける小中学生専用なやみホットラインを設置するとともに、中学生には匿名での相談が可能なアプリを提供しています。いじめの相談だけでなく、こどもたちが抱える多様な悩みや想いを受け止め、必要な支援に繋がるよう対応しています。
・評価 対応した相談の中には「誰にも相談できない」「誰に相談したらいいか分からない」といった児童生徒や匿名での相談を希望するケースもあったことから、こうしたニーズも含め、悩みや困りごとを抱える児童生徒の相談に幅広く対応することができました。	**・課題** 児童生徒が抱える不安や悩み、困りごとは多様化しており、こうした児童生徒の早期発見・早期対応に向け、悩みを持った児童生徒が迷わず相談できる環境を整えるとともに、適切な支援に繋がるよう関係部局・関係機関との連携を一層強化していく必要があります。
・課題に対する改善点 児童生徒が迷わず、安心して相談できるよう、相談窓口の周知に努めるとともに、相談を受けた際には、思い切って相談してきた児童生徒が、自身の想いを吐き出せるよう、まずは傾聴に努めるとともに、相談内容に応じて、適切な支援に繋げるよう努めました。	**・取組** 令和7年度も引き続き、ポスターやリーフレット等を作成しこどもたちへの周知に努め、幅広く相談を受け止めるとともに、教育委員会内の各専門職の知見を活かしながらこどもたちが抱える悩みや困りごとの解決に向け支援していきます。

児童・生徒の安全確保と健康増進

いじめ等防止対策推進事業	いじめ、不登校、児童虐待など児童生徒が置かれた環境への働き掛けや関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整を行うスクールソーシャルワーカーを配置します。また、いじめや不登校などの予防と対策のためにWEBQU（学級集団アセスメント）検査を実施します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
指導課	32,773	25,578	9,236	35,498	0	35,498

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
小学校いじめ認知件数（件）	4,427	4,381	-	小学校「いじめアンケート」調査の結果（解消件数÷認知件数）（%）	89.76	91.19	100.00
中学校いじめ認知件数（件）	407	353	-	中学校「いじめアンケート」調査の結果（解消件数÷認知件数）（%）	92.38	88.10	100.00

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 いじめアンケートを行うほか、一人一台端末を活用した心の天気やWEBQU等を通じて児童生徒の状況把握に努めました。また、スクールロイヤー、生徒指導アドバイザー、スクールソーシャルワーカーといった専門性の高い人材を配置し、関係機関と連携しながら、多様な課題を抱える児童生徒の支援体制構築に努めました。	**・現状** いじめの認知件数は減少傾向にありますが、重大事態に至る件数は依然横ばいで推移しています。児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、いじめ等の事案に対して、学校現場において適切な対応を徹底し、早期発見・早期対応に努めるとともに、未然防止に取り組んでいく必要があります。
・評価 スクールロイヤー等による教職員研修を通じて、学校現場において、いじめ等の事案を早期に発見し、適切に対応できる体制の推進を図るとともに、事案を認知した場合には、被害児童生徒及びその保護者に寄り添った対応を心掛け、安心して学校生活を送ることができる環境の確保に努めました。	**・課題** いじめの未然防止、早期発見・早期解決していくためには、学校現場における適切な対応を徹底するとともに、児童生徒のいじめの問題への理解を深めていく必要があります。また、いじめ等の事案の背景として、多様な要因が存在することも想定されるため、様々な専門職や関係機関と連携した対応が求められます。
・課題に対する改善点 いじめ防止相談対策室にスクールロイヤー、生徒指導アドバイザー、スクールソーシャルワーカーといった専門職を配置し、児童生徒、保護者、学校への支援体制強化に努めました。	**・取組** いじめをはじめ、認知した事案が重大化・深刻化しないよう学校を支援していきます。また、学校だけでは解決が困難な事案への対応に当たっては、生徒指導アドバイザー、スクールソーシャルワーカーといった専門性の高い人材を活用し、関係機関と連携しながら解決に向け取り組んでいきます。

児童・生徒の安全確保と健康増進

学校給食公会計化事業	私会計である学校給食費の徴収及び食材費の支払いについて、市一般会計で取り扱う公会計化をはかり、教職員の負担軽減と、支出の透明性確保を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
学校教育課	1,048,957	1,122,021	19,791	1,307,541	1,256,833	50,708

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
収納率（%）	99.29	99.30	99.30				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 第3子以降無償化制度や就学支援制度、生活保護制度など様々な制度啓発を併せて取り組みました。	**・現状** 現在の価格で安心・安全な学校給食が提供できるよう、食材提供事業者を増やすとともに、第3子以降無償化制度等の保護者負担軽減施策について積極的な啓発に取組んでいます。
・評価 保護者負担の軽減について、積極的啓発を行い、きめ細かな対応を行うことができました。	**・課題** 物価高騰の中でも、規定の予算内で安心安全な学校給食の提供ができるよう、きめ細かな対応が求められています。
・課題に対する改善点 物価高騰の影響により、適正額の徴収と負担軽減政策等の啓発が課題となっていました。第3子以降無償化制度や就学援助制度について、全員ちらし配布と広報掲載、メール配信により積極的周知を行い対象世帯から申請をいただくことができました。	**・取組** 食材を安価で安定的に供給が可能な事業者との取引ができるよう、様々な事業者と協議の上、食材の共同発注等に積極的に取り組んでいきます。

主管部局　　施策の目的　総合計画の着実な推進を図るため、社会経済情勢の変化や情勢の変化や市民ニーズなどをとらえた持続的な市政経営を行う

財政運営

税収納事業

電算システムの活用により事務の効率化を図り、迅速な滞納整理を行うものです。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
税制課	70,176	68,854	5,278	72,732	276	72,456

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
				年度末までのウェブによる口座振替申込件数（件）	-	-	1,440

令和6年度の取組みと評価・改善点

・取組
各種電算システムの委託契約を締結し、市税等の迅速な滞納整理及び適切な収納管理事務を効率的に処理することができました。

・評価
内部事務処理としては、市税等の迅速な滞納整理及び適切な収納管理事務を効率的に処理することができ一定の成果がありましたが、外部に目を向けると納税者のさらなる利便性向上に課題があると考えました。

・課題に対する改善点
納税者のさらなる利便性向上を図るため、令和7年10月から、ウェブ口座振替申し込み受付サービスの開始に向けて、令和7年度予算に必要な諸経費を計上しました。

令和7年度の現状・課題・取組み

・現状
口座振替を希望する場合は、現状金融機関等に足を運び申し込む必要があります。

・課題
納税者のさらなる利便性向上のため、口座振替希望者が金融機関の窓口等に行かなくても、パソコンやスマートホンでインターネットを利用した口座振替依頼の申請をできるようにする必要があると考えます。

・取組
令和7年度中にウェブ口座振替を導入し、納税者に周知を図ります。

財政運営

市税等納付コールセンター事業

現年度課税の滞納整理を強化し徴収率の向上及び累積滞納を防止し、安定した財源確保を図るため、現年度課税分に特化し電話や文書等による催告業務を民間委託により行います。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
税制課	4,583	4,122	1,320	7,925	0	7,925

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
電話催告件数（件）	8,330	7,878	-	催告後2か月以内に納付された件数（件）	4,815	3,323	-
文書催告件数（件）	4,832	4,081	-	現年度課税の徴収率（%）（参考値）※ R6実績は4月末時点	99.58	99.51	99.30

令和6年度の取組みと評価・改善点

・取組
委託業務の仕様を見直し契約を締結しました。

・評価
現年度の滞納者に対して電話等による催告業務を実施のほか、受電業務を委託することにより、納付書再発行などの軽微な問い合わせに対応することにより職員が徴税吏員としての滞納整理業務に極力集中できるようにしました。

・課題に対する改善点
電話一次受付を業務委託をすることにより事務の効率化に努めました。

令和7年度の現状・課題・取組み

・現状
人口増加に伴い、滞納者数が増加傾向となっています。

・課題
払い忘れなどの軽微な理由による催告対象者が反復的に現れるため対象者数が横ばい状態となっています。

・取組
令和7年4月から、コールセンターで問い合わせの初動対応を行い職員の負担軽減を図っています。

資産活用

ファシリティマネジメント事務管理事業	各種FM施策を実施することで、市全体の資産の質を向上させ、最適化を図るとともに、施設の改修等営繕に関する設計・監督を行い、長寿命化を図ります。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
財産活用課	2,340		1,937	26,388	2,664	2,412	252
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
ファシリティマネジメント施策の実施件数（件）	26	26	26	ファシリティマネジメント施策による歳入（千円）	7,194	7,501	6,776
改修等営繕に係る設計・監督実施件数（件）	24	22	17				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 各種FM事業及び個別施設計画における簡易劣化調査の実施及び施設所管課から依頼のあった営繕工事を実施しました。	・現状 各種FM事業を継続的に実施し、市の資産を十分に活用していく他、公共施設の改修を行うことで維持管理と長寿命化を図っていきます。
・評価 各種ファシリティマネジメント施策を予定通り実施したほか、予定された営繕工事を実施しました。	・課題 個別施設計画における簡易劣化調査の結果を施設所管課と共有し、施設の改修計画に反映させていく必要があります。
・課題に対する改善点 個別施設計画のおける劣化度調査を行い、その内容を施設所管課と共有しました。	・取組 個別施設計画における簡易劣化調査の結果を施設所管課へフィードバックし、公共施設の維持管理に反映させていきます。

資産活用

本庁舎施設管理計画事業	本庁舎が老朽化していることから、長寿命化を図るものです。また、劣化が著しい設備等を改修し、災害時の活動拠点となる本庁舎を良好な状態に保ちます。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
財産活用課	11,000		7,755	6,597	32,940	28,700	4,240
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
改修にかかる費用（千円）	22,399	7,755	32,940	改修等必要箇所数（件）	2	1	2

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 安全対策及び周辺環境に配慮するため法面に擁壁を設置しました。	・現状 月次、定期点検により供給停止部品があることがわかったことから第一庁舎エレベーター改修工事の実施と消防設備点検等により第1庁舎1階エレベーター前の防火防煙スクリーンに作動不良があるため改良工事を行います。
・評価 工事の際には駐車場利用者に配慮し、安全対策を講じながら実施しました。	・課題 エレベーター利用者に負担をかけないよう工事を行う必要があります。
・課題に対する改善点 工事完了までの進捗状況について、事業者や技術者と連絡をとり確認をしながら進めました。	・取組 工事業者とスケジュールを確認し、できる限り利用者に負担がないよう工事を進めていきます。

資産活用

通訳タブレット導入事業	南流山出張所及び江戸川台駅前出張所に外国語及び手話（日本手話）通訳タブレットを配備し、インターネットを通して通訳士と会話形式または手話形式で通訳を行うことで、円滑かつ快適な窓口サービスを提供します。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
市民課	317		317	660	581	0	581
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
来庁した外国人等の人数（人）	467	272	275	通訳タブレット使用した外国人等の人数（人）	160	132	133

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 令和7年6月からの新たな契約について、適切な仕様書の作成、予算策定を行いました。	・現状 江戸川台駅前出張所及び南流山出張所に1台ずつタブレットを設置し、日本語での意思疎通が困難な外国人や聴覚障害者が意思疎通を行いやすい窓口環境を提供しています。
・評価 利用者のニーズに応えた仕様であると考えます。	・課題 対象言語が適切であるか、検証が必要です。
・課題に対する改善点 令和7年度6月からの新たな契約について、利用状況等から設置台数や設置場所については、現行契約と同じ、南流山出張所及び江戸川台駅前出張所の2か所へ各1台ずつとしました。	・取組 利用状況や、ニーズを把握し対象言語について検討を行います。

組織・人材

職員研修事業	職員一人ひとりの資質の向上や専門知識の習得を図るため、担当部門や勤続年数に応じた研修を実施します。また、組織外からの知識や情報を組織内に吸収し、組織としての創造性を高める効果的な方策として政策自主研修を行う職員に研修助成し、意欲のある職員を育成します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
人材育成課	23,605	20,770	3,299	25,294	334	24,960

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
集合研修実施件数（件）	26	28	30	職員自主研修助成者数（人）	25	22	27
				派遣研修派遣職員数（人）	71	64	64

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 入庁時から段階的・計画的に仕事の基礎能力を習得し、モチベーションを高め、組織に定着させるため、研修計画を見直しました。令和6年度から若年層・中堅層に対してモチベーション向上研修、チームワーク強化研修等、新規の研修を実施しました。	**・現状** 引き続き、職員の能力水準を総合的に上げ、市民サービスの更なる向上を図るため、人材育成基本方針に従い、職員研修事業を進めます。
・評価 若年層に対して入庁後のフォローをするとともに、組織のマネジメント、各業務の遂行に影響が大きい中堅層の職員を対象に研修を実施することで、組織全体の能力の底上げを図ることができました。	**・課題** それぞれの立場・職責を認識し、必要となる知識やスキルを理解・習得できるように、適切なタイミングで適切な研修を実施するため、階層別研修を充実させていきます。
・課題に対する改善点 職員のキャリア形成を支援するため、中長期におけるスキルアップが見込めるような研修を計画し、実施しました。	**・取組** 前年度までの研修をブラッシュアップして引き続き実施するとともに、若年層の更なる育成を目的に、新しい研修を取り入れていきます。

組織・人材

政策法務推進事業	政策法務推進計画に従い、政策法務研修計画に基づく研修の実施等の人材の育成、政策法務主任の設置等の組織の充実、法令・判例の解説等の入手を容易にする環境の整備、行政リーガル・ドック事業等の予防法務の実施により政策法務を推進します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
総務課	6,694	5,829	7,917	7,150	0	7,150

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
研修受講者数（人）	133	136	142	自治体法務検定シルバークラス以上取得者累計数（人）	194	220	231

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 行政リーガル・ドック事業における指摘事項の改善対応について、政策法務室が担当課と協同して行いました。	**・現状** 改善が完了していない担当課の事務があります。また令和4年度以前の指摘事項の改善状況については、政策法務室において未確認です。
・評価 政策法務室において指摘事項の改善状況を確認したところ、前年度診査を行った4課中3課において、指摘事項の改善対応が完了しました。	**・課題** 改善が未了の担当課の事務の改善を行う必要があります。過年度の指摘事項の改善状況についても、政策法務室で確認します。
・課題に対する改善点 行政リーガル・ドック事業における指摘事項の改善を政策法務室で把握し、確実に実施しました。	**・取組** 引き続き政策法務室が担当課と協同することにより、行政リーガル・ドック事業における指摘事項の改善を徹底していきます。

行政経営

広聴活動事業	書簡や電子メールにより市民の意見等を幅広く収集するほか、定期的にタウンミーティングを開催して市民の声を直接伺います。頂戴した意見等については所管課と連携して対応を行い市政へと反映させます。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
秘書広報課	17,165	16,601	11,215	19,059	0	19,059

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
タウンミーティング開催回数（回）	9	8	8	市に意見を言える機会に満足している市民の割合（%）	84.5	85.8	85.0
				住民の声が市政に反映されていると感じる市民の割合（%）	81.2	82.0	85.0

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 引き続き、地区別タウンミーティングは、東西南北の4地区で開催をしました。応募者が多い無作為抽出型タウンミーティングは年1回から2回へ、応募者が少ないオンラインタウンミーティングは年2回から1回へ開催回数を変更しました。	**・現状** 引き続き、市議会日程を考慮した上で、市の幹部職員の日程調整を行い、市民が直接幹部職員に意見を言える機会を創出していきます。
・評価 無作為抽出型タウンミーティングを１回増やしたことにより、参加者が増加しました。	**・課題** オンラインタウンミーティングの参加者が減少傾向であるため、開催方法を見直す必要があります。
・課題に対する改善点 多様な意見を聴取できるように、開催方法を見直しました。	**・取組** 令和7年度は、応募者が多い無作為抽出型タウンミーティングの定員を増やします。

行政経営

広報発行事業	広報ながれやま（月3回。年間37回のうち4回は特集号、年1回の号外特集号）をよりタイムリーな紙面構成で発行し配布（新聞折り込みや宅配など）します。また、市LINE公式アカウントや市ホームページ、携帯電話のメール、スマートフォンのアプリなどを活用した情報サイト、各メディアへのパブリシティ（マスメディアへの情報提供）などを通じて市政情報を広く発信します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
秘書広報課	50,308	40,698	19,791	51,671	0	51,671

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
LINE登録者数のうち、広報ながれやまのセグメント登録者数（人）	5,120	11,684	15,000	広報ながれやまを読んでいる人の割合（%）	74.6	74.6	75.0
職員研修（回）	2	2	2	広報ながれやまの内容や情報量に満足している人の割合（%）	85.9	81.1	85.0

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 市ホームページや広報紙等で市LINE公式アカウントの登録を呼びかける記事の掲載を行いました。また、広報ながれやまの内容や情報量に満足いただけるよう職員を対象とした研修を実施し、情報発信の媒体と特性の理解を促すことで、広報力の底上げを図りました。	・現状 広報ながれやまを読んでいる人の割合は横ばいの中、市LINE公式アカウントの登録者数のうち、広報ながれやまのセグメントの登録者数は増加しています。
・評価 LINE登録者数のうち、広報ながれやまのセグメント登録者数が約6,000人増えました。	・課題 広報ながれやまを読んでいる人の割合を増加させるために、内容や情報量の満足度を向上させる必要があります。
・課題に対する改善点 広報ながれやまの内容や情報量に満足いただけるよう庁内職員を対象とした研修を実施し、情報発信の媒体と特性の理解を促すことで、広報力の底上げを図りました。	・取組 引き続き、市ホームページや広報紙等で市LINE公式アカウントの登録を呼びかけます。また、広報ながれやまを読んでいる人の割合や満足度向上のため、職員研修を実施します。

行政経営

市民向け電子化事業	市民の方が自宅のパソコン等から行政手続きや情報取得ができる環境を整備します。また、令和4年度からLINEを活用して利用者の希望する情報を提供するセグメント配信や自動会話プログラム「チャットボット」などのサービスを提供しています。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
情報政策・改革改善課	14,256	10,560	12,535	10,565	1	10,564

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
電子申請手続き数（件）	250	285	300	電子申請利用件数（件）	19,415	22,923	30,000
LINEによるセグメント配信件数（件）	924	1,130	1,870	LINE登録者数（人）	19,592	38,638	44,000

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 「行かない窓口」実現のため、電子申請システムの改修を行いました。また、LINE公式アカウントの機能において市民の利便性を高めるための更なる活用を進めました。	・現状 電子申請システムやLINE公式アカウントの利用環境を整備し、更に利便性の高いものとし、利用者を拡大する必要があります。
・評価 「行かない窓口」は、既存の電子申請システムに、本人確認機能及びキャッシュレス決済機能を搭載することにより、令和6年8月から開始しました。また、LINE公式アカウントから電子申請システムへのアクセスも可能とし、市民の利便性向上に寄与しました。	・課題 関係部署や開発事業者との協議によりシステムの改修や運用の構築を円滑に進める必要があります。また、市民の方への周知を行い、利用者を拡大する必要があります。
・課題に対する改善点 関係部署や開発事業者との協議によりシステムの改修や運用の構築を円滑に進めることができました。また、ホームページやチラシのほかデジタルサイネージを活用し、市民の方への周知を行い、利用者が増加しています。	・取組 電子申請手続き数を拡大するほか、LINE公式アカウントの機能において市民の利便性を高めるための更なる活用を進めていきます。

行政経営

全庁ＬＡＮ整備事業	職員利用のパソコン・プリンタ・通信機器、ファイルサーバ・グループウェア・統合型GIS等の各システム、ネットワーク環境の整備及び情報セキュリティ対策を実施します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
情報政策・改革改善課	313,964	303,816	22,430	476,703	130,533	346,170

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
全庁LANパソコン整備台数（台）	1,275	1,295	1,295	配備に対する全庁LANパソコン不足台数（台）	0	0	0
自治体セキュリティクラウドマルウエア等検知件数（件）	207,283	957,894	1,000,000	ウイルス感染件数（件）	0	0	0

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 情報システムの標準化では、引き続き機能の選定や業務フローの見直し、データ連携について検討し、令和7年度末までの移行に向けて準備を行いました。また、老朽化したパソコンを300台更新しました。	・現状 情報システムの標準化については、令和7年度に国が策定した仕様書へ準拠したシステムを、国のクラウド環境へ移行させる必要があります。またランサムウェア等のウイルスメールの検知件数が増加しています。
・評価 情報システムの標準化は関係部署との検討部会を実施し、課題の共有や作業について確認をしながら進めることができました。また、老朽化したパソコン300台は円滑に更新作業を進めることができました。	・課題 情報システムの標準化については円滑な移行に向け、関係部署及びシステム事業者間との調整やスケジュール管理について綿密な調整を行う必要があります。
・課題に対する改善点 情報システムの標準化については円滑な移行に向け、システム事業者間との調整やスケジュール管理及びコスト管理を行いました。また、庁内パソコンはOSやOfficeのサポート期限を考慮したリプレイスを実施しました。セキュリティ訓練や最新のインシデント事例を踏まえた研修等の情報セキュリティ対策も実施できました。	・取組 情報システムの標準化では、クラウド環境への移行と標準準拠システムのテスト運用及び本番導入を円滑に進め、令和7年度末までに対応を終了します。また、市民の利便性向上のため「書かない窓口」を導入するほか、老朽化しているパソコン130台を更新します。

行政経営

インターネット議会中継システム事業	流山市議会のホームページ上で本会議の映像を公開し、市民などに対して情報の共有化を図ります。併せて、手話同時通訳中継を行い、より分かりやすく市民に開かれた市議会を目指します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
議会事務局	6,433	5,946	6,597	6,189	0	6,189

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
インターネット配信回数（回）	25	24	25	インターネット配信閲覧者延人数　ライブ中継（人）	30,733	29,734	30,000
				インターネット配信閲覧者延人数　録画中継（人）	8,115	7,137	7,500

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 安定したインターネット中継を実施し、手話同時通訳の同時中継を継続しました。また、インターネット配信閲覧を積極的に選択いただけるよう、さらなる周知に努めました。	・現状 本会議の様子をインターネット中継し、広く市民の皆様に議会の様子を伝えています。本会議の手話同時通訳をインターネットで同時中継することで、より多くの方々に議会の様子をお伝えします。
・評価 導入から5年目となった手話同時通訳も大変好評をいただいており、評価すべき取り組みと考えます。インターネット配信のライブ中継及び録画中継の視聴者が前年度と比較し減少しているのは、臨時会の開催がない年であったことが要因であると分析しています。	・課題 今後も引き続き適切に運用・保守し、安定した配信環境を整える必要があります。
・課題に対する改善点 市議会ホームページや市議会だよりにおける告知や、SNSによる発信など、PRに努めた結果、インターネット配信のライブ中継及び録画中継の閲覧者数はほぼ横ばいで推移しました。	・取組 引き続き安定したインターネット中継を実施し、手話同時通訳の同時中継を継続します。また、より多くの方にインターネット配信閲覧を積極的に選択いただけるよう、さらなる周知に努めます。

行政経営

議会ＩＣＴ推進事業	流山市議会ICT推進基本計画に基づき、議会独自のホームページを運営するとともに、議員へ情報端末を配付しICT環境を整えます。市議会ホームページの充実とセキュリティの強化により、各種議会行事の周知や情報共有を図り、一層市民に開かれた議会の実現を目指します。また、情報端末の配付により、ペーパレス化を促進します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
議会事務局	3,089	3,084	3,959	3,089	0	3,089

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
Facebookコラム掲載数（回）	12	12	12	流山市議会ICT推進基本計画に基づく実施計画事業数に対する実施事業割合（%）	91.67	98.15	99.00

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 議会のICT化とペーパレス化を推進するため、議員にタブレットを配付し特に委員会での活用を推進しました。	・現状 独自ドメインを取得していることから、市議会の情報発信を議会独自に迅速に行っています。また、暗号化の更新手続きを行い、セキュリティ確保に努めています。さらに、市議会データの活用を図るため、オープンデータの掲載を行っています。
・評価 令和6年6月以降、会議資料はペーパレス化を基本とすることを決定し、紙媒体の資料は各議員の希望により配付することとしたため、紙媒体の資料を削減できました。タブレット利用状況は、前年度比で本会議平均120.4%、常任委員会平均272.7%、全員協議会110.0%といずれも増加しました。	・課題 さらなるICT化とペーパレス化を推進する必要があります。
・課題に対する改善点 議会を身近に感じてもらうため、SNSの市議会公式アカウントを活用し、タイムリーな情報発信に努めました。	・取組 利用者によりタブレットやアプリケーションの習熟度に差があることから、議員全体向けの研修会を再度実施するほか、必要に応じて個別に利用方法を説明します。また、ペーパーレス化により紙媒体の資料の削減を推進し、A4換算で約56,000枚、スギの木約4.5本分のCO2削減を目指します。

行政経営

キャッシュレス決済導入事業	市民課、出張所の窓口にキャッシュレス決済を導入し、窓口利用者の支払方法の選択肢を増やし、利便性の向上を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
市民課	2,343	1,739	1,980	0	0	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
キャッシュレス決済の利用件数（件）	9,885	26,106	-	キャッシュレスサービスアンケート満足度（5段階評価）	4.7	4.8	-

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 お客様をお待たせすることのないよう、端末操作について指導を行いました。	・現状 住民基本台帳事務管理事業に統合したことにより事業終了
・評価 お客様をお待たせすることはなく決済業務を行えました。	・課題 住民基本台帳事務管理事業に統合したことにより事業終了
・課題に対する改善点 利用状況を踏まえ、設置台数の見直しについて、検討をしましたが、設置台数は適切でありました。	・取組 住民基本台帳事務管理事業に統合したことにより事業終了

行政経営

新川耕地地区の字の区域及び名称変更事業	大規模な市街化区域編入に伴い、字の区域及び名称の変更を実施することで、地域の価値を高めて魅力のある街づくりを推進します。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
総務課	7,319	6,875	5,278	0	0	0

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
字変更業務の進捗状況(%)	-	100	-				

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 魅力ある街づくりのために、地域の特性を表した名称に変更しました。また、対象区域の事業者の皆様へ、新しい所在地や変更に伴う手続きについて、適切な時期にお知らせしました。	・現状 令和6年度で事業は終了しました。
・評価 関係機関との連絡調整を綿密に行い、遅滞なく業務を遂行することができました。また、所在地変更手続きの手引きの掲載内容を充実させたことや町名変更の概要資料を対象区域内の事業者へ早めに配付したことにより、分かりやすいご案内をすることができました。	・課題 令和6年度で事業は終了しました。
・課題に対する改善点 対象区域の事業者の方が、所在地の変更に関する手続きを滞りなく行えるよう、分かりやすいご案内を行いました。	・取組 令和6年度で事業は終了しました。

マーケティング

流山市ブランド確立と住民誘致の推進事業	「住み続ける価値の高いまち」としての流山市の都市ブランド確立を推進します。市の知名度とイメージの向上を図るための情報発信とイベントを行い、住民誘致の促進と市民満足度を高める活動を行います。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
マーケティング課	15,772	7,191	13,194	14,701	3,300	11,401

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
ブランド確立用動画表示回数（オーガニック投稿+広告配信）（回）	818,046	2,042,446	1,000,000	市ブランディングサイト新規訪問者数（人）	22,295	57,262	34,000
				イベント来場者数（人）	104,800	84,500	104,800

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 流山市在住の方に、在住者の考える流山市の良いところを率直に回答いただく、また、その他ご自身が取り組んでいる活動やパーソナルな部分についても深掘りして市民のホンネを引き出すインタビュー動画を20本制作し、市の魅力発信用のSNSに投稿、広告配信し、流山市ブランディングサイト「ながれやまStyle」への誘引を推進しました。	・現状 令和4年度に実施したブランド認知度調査では、メディアや身の回りの方からの情報により認知度が上がっていることがうかがえたため、引き続き流山市ブランディングサイトを起点とした、WEB広告等のPRを実施します。
・評価 流山市ブランディングサイトを起点としたPRを実施し、新規閲覧者が57,262アクセスを超え、目標を達成することができました。	・課題 「流山市」の名称の知名度は向上していますが、市に紐づく具体的なイメージや好意、興味にはつながっていません。また、転入者数がゆるやかな増加傾向にあるなか、今後も一定の人口を維持するためには、中長期的に市のブランド価値を高め、市への転入・定住に対する意識や街への愛着などの「心理的価値」へアプローチしていく必要があります。
・課題に対する改善点 押しの強いプッシュ型広告展開ではなく、流山市在住の方のホンネを引き出したインタビューを動画にして情報発信することにより、流山市のブランディング対象である首都圏域に在住の30～40代共働き子育て世代からの市ブランド資源への共感・好感度の向上を図りました。	・取組 市への愛着度を高めるための市民のつながりを創出し、そのつながりや活動を動画に展開することで、市外へのプロモーションへとつなげ、流山市ブランディングサイトへ誘引し、流山市ブランドを構築していきます。また、ブランド認知度調査を実施し、今後のブランド推進業務戦略の礎とします。

マーケティング

流山市ふるさと納税事業	流山市に対する寄附者の思いに対して、魅力ある特産品等を贈呈し、寄附額の増加を図ります。

担当課	R6当初予算	R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
マーケティング課	18,779	67,779	1,320	78,128	0	78,128

主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
返礼品事業者数（件）	46	53	58	寄附件数（件）	2,058	9,666	9,666
				寄附額（千円）※個人からの全ての寄附金。	50,577	156,222	156,222

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組 より事業者のこだわりや想いが伝わるよう、返礼品の魅力がわかる写真の枚数を増やす、返礼品の種類を工夫するなど、ポータルサイトへの掲載内容を工夫しました。	・現状 返礼品を提供していただける事業者や返礼品の種類、ふるさと納税ポータルサイトを増やしたことにより、寄附額、寄附件数ともに増加しています。
・評価 寄附額及び寄附件数が増加し、市内産業の活性化に寄与しました。	・課題 寄附の申込が特定の返礼品に偏っています。
・課題に対する改善点 返礼品を提供していただける事業者や返礼品の種類を増やし、ふるさと納税ポータルサイトを5サイト追加することにより、寄附額の増加につなげました。	・取組 返礼品の見せ方の工夫や返礼品の種類を増やすことにより、寄附の申し込みが集中しやすい特定の返礼品以外にも幅広くアクセスされ、申し込みにつなげられるよう取り組んでまいります。

令和７年度版　流山市まちづくり報告書（流山市総合計画進捗状況報告）
企画・編集　流山市役所　企画政策課／情報政策・改革改善課
住所　流山市平和台１丁目１番地の１
電話　０４－７１５０－６０６４／０４－７１５０－６０７８